
Ⅱ 健康科学部

1. 学年暦	1
2025年度 健康科学部 学年暦	1
2. カリキュラム	3
2. 1 カリキュラムの概要	3
1) 教育課程の構成	3
2) 授業の方法	5
(1) 少人数制の実践	5
(2) セメスター制の採用	5
(3) 多彩な専門家の招聘	5
3) 実習教育の重視	5
2. 2 教育課程表（授業科目・単位数）	6
1) リハビリテーション学科／理学療法学科	6
(1) リハビリテーション学科 理学療法学コース 2025年度以降入学生適用	6
(2) リハビリテーション学科 理学療法学コース 2023年度から2024年度入学生適用	9
(3) 理学療法学科 2020年度から2022年度入学生適用	12
(4) 理学療法学科 2016年度から2019年度入学生適用	15
2) リハビリテーション学科／作業療法学科	18
(1) リハビリテーション学科 作業療法学コース 2025年度以降入学生適用	18
(2) リハビリテーション学科 作業療法学コース 2024年度入学生適用	21
(3) リハビリテーション学科 作業療法学コース 2023年度入学生適用	24
(4) 作業療法学科 2020年度から2022年度入学生適用	27
3) 人間コミュニケーション学科	30
(1) 2025年度以降入学生・2025年度1年次転学科生適用	30
(2) 2024年度以前入学生・2024年度以前転学科生／2025年度2, 3年次転学科生適用 ..	33
(3) 編入学生適用	36
2. 3 進級・卒業・学位	39
1) 単位	39
(1) 単位とは	39
(2) 単位の算定基準	39
2) 進級	39
(1) 進級要件	39
i リハビリテーション学科	39
ii 理学療法学科	40
iii 作業療法学科	41
iv 人間コミュニケーション学科	42

3) 卒業	43
(1) リハビリテーション学科	43
i 2023年度以降入学生適用	43
(2) 理学療法学科	44
i 2020年度から2022年度入学生適用	44
ii 2016年度から2019年度入学生適用	44
(3) 作業療法学科 (2020年度から2022年度入学生適用)	44
(4) 人間コミュニケーション学科	45
① 2025年度入学生・1年次転学科生適用	45
② 2022年度から2024年度入学生・2024年度以前1年次転学科生適用	45
③ 2年次転学科生適用	45
④ 3年次転学科生適用	46
⑤ 編入学生適用	46
4) 学位	47
5) 目標とする資格	47
2. 4 資格指定科目等と健康科学部開講授業科目	48
1) 理学療法士養成施設「指定基準科目」と健康科学部の開講授業科目対照表	48
(1) リハビリテーション学科 理学療法学コース 2025年度以降入学生適用	48
(2) リハビリテーション学科 理学療法学コース 2023年度から2024年度入学生適用 ..	51
(3) 理学療法学科 2020年度から2022年度入学生適用	54
(4) 理学療法学科 2016年度から2019年度入学生適用	57
2) 作業療法士養成施設「指定基準科目」と健康科学部の開講授業科目対照表	60
(1) リハビリテーション学科 作業療法学コース 2025年度以降入学生適用	60
(2) リハビリテーション学科 作業療法学コース 2023年度から2024年度入学生適用 ..	63
(3) 作業療法学科 2020年度から2022年度入学生適用	66
3) 社会福祉士受験「指定科目」と健康科学部の開講授業科目対照表	69
※人間コミュニケーション学科入学生 (2022年度から2024年度)・転学科生 (2024年度以前/2025年度2, 3年次)・編入学生	69
4) 精神保健福祉士受験「指定科目」と健康科学部の開講授業科目対照表	70
※人間コミュニケーション学科入学生 (2022年度から2024年度)・転学科生 (2024年度以前/2025年度2, 3年次)・編入学生	70
5) 公認心理師受験「指定科目」(学部要件)と健康科学部の開講授業科目対照表	71
※人間コミュニケーション学科入学生 (2022年度から2024年度)・転学科生 (2024年度以前/2025年度2, 3年次)・編入学生	71
3. 履修の手引き	73
3. 1 授業実施に関する事項	73
1) 学期	73
2) 授業時間	73
3) 各種必要事項の伝達方法	73
4) 休講	73
5) 補講	74
6) 閉講	74
7) 授業の出席基準	74
8) 欠席等の取り扱い	74

(1) 遅刻	74
(2) 早退	74
(3) 1 週間以上の欠席	74
(4) 公欠となる欠席	74
9) オフィスアワー	76
10) 授業中における注意事項	76
3. 2 授業科目の履修	77
1) 履修登録の方法	77
(1) 履修登録とは	77
(2) 履修登録の流れ	77
(3) 履修放棄	77
(4) 履修取消	77
2) 履修要件	78
(1) 授業科目	78
(2) 必修・選択の別	78
(3) 配当年次	78
(4) 履修登録の制限 (CAP 制)	78
(5) 他学科授業科目の受講	78
3) 履修モデル (参考例)	79
(1) リハビリテーション学科 理学療法学コース／理学療法学学科	80
i リハビリテーション学科 理学療法学コース 2023 年度以降入学生適用	80
ii 理学療法学学科 2020 年度から 2022 年度入学生適用	81
iii 理学療法学学科 2016 年度から 2019 年度入学生適用	82
(2) リハビリテーション学科 作業療法学コース／作業療法学学科	83
i リハビリテーション学科 作業療法学コース 2024 年度以降入学生適用	83
ii リハビリテーション学科 作業療法学コース 2023 年度入学生適用	84
iii 作業療法学学科 2020 年度から 2022 年度入学生適用	85
(3) 人間コミュニケーション学科	86
i 2025 年度入学生・1 年次転学科生適用	86
ii 2022 年度から 2024 年度入学生・転学科生 (2024 年度以前／2025 年度 2, 3 年次) 適用 ..	87
iii 編入学生適用	88
4) 既修得単位の認定	89
(1) 教育課程の所要単位への包括的な単位認定	89
(2) 授業科目別の単位認定	89
5) 授業科目の履修に伴う前提条件	90
(1) リハビリテーション学科 理学療法学コース／理学療法学学科	90
i 2020 年度以降入学生適用	90
ii 2016 年度から 2019 年度入学生適用	91
(2) リハビリテーション学科 作業療法学コース／作業療法学学科 (2020 年度以降入学生適用) ..	91
(3) 人間コミュニケーション学科 2024 年度以前入学生・2024 年度以前転学科生／2025 年度 2, 3 年次転学科生適用 ..	92

6) カリキュラムの変更に伴う旧カリキュラムの対応	97
(1) 適用するカリキュラム・卒業要件	97
(2) 旧カリキュラムの対応	97
(3) 旧カリキュラムが適用される学生の履修上の注意事項	97
① リハビリテーション学科 理学療法学コース	100
② 理学療法学科	100
③ リハビリテーション学科 作業療法学コース	100
④ 人間コミュニケーション学科 (入学生 (2024年度以前)・転学科生 (2024年度以前/2025年度2, 3年次) 適用)	101
3. 3 試験	102
1) 試験の種類、方法	102
(1) 試験の種類	102
(2) 試験の方法	102
2) 定期試験	102
(1) 受験資格	102
(2) 実施時期：学期末	102
3) 追試験	102
(1) 対象試験	102
(2) 受験資格	103
(3) 実施時期	103
(4) 受験手続	103
(5) 提出書類	103
4) 再試験	103
(1) 受験資格	103
(2) 実施時期	103
(3) 受験手続	103
5) 試験における注意事項	103
(1) 試験室への入室・退室	103
(2) 受験者の義務	104
(3) 不正行為	104
3. 4 成績	104
1) 成績評価	104
2) GPAによる成績評価	104
3) 成績の通知	105
4) 特待生制度	105
(1) 選考基準	105
(2) 対象学年	105
4. 学生生活の手引き	106
4. 1 学生生活	106
1) 学籍関係	106
(1) 学籍・学籍番号・学生証	106
(2) 修業年限・在学期間	107

(3) 学籍異動と手続き	107
i 休 学	107
ii 復 学	107
iii 転学部・転学科	108
iv 転 学	108
v 退 学	108
vi 除 籍	108
2) 学費	109
3) 各種必要事項の伝達方法	109
4) 通学	110
(1) 車両通学	110
(2) バス通学	111
5) 健康管理	111
6) 奨学金	113
(1) 日本学生支援機構奨学金制度	113
(2) 自治体奨学金・修学資金制度	113
(3) 医療法人等の奨学金制度	113
7) 学生保険	113
(1) 補償の範囲	113
(2) 保険金請求手続き方法	114
8) 学生支援	114
(1) 学生相談	114
(2) 就職相談	114
(3) クラス担任制	114
9) 学生意見箱	114
10) 表彰・懲戒	115
(1) 表 彰	115
(2) 懲 戒	115
11) 学生生活における注意事項	115
1) キャンパス案内	117
(1) 窓口案内	119
(2) 窓口受付時間	119
3) 施設利用上の注意事項	119
4) 教室・備品	119
(1) 手続方法	119
(2) 使用上の注意	119
5) ロッカー	120
(1) 手続方法	120
(2) 使用上の注意	120
6) 図書館	120
(1) 開館時間	120

(2) 休館日	120
(3) 利用資格	120
(4) 入退館	120
(5) 貸出冊数・期間	120
(6) 貸出・返却	120
(7) 貸出禁止資料	121
(8) 視聴覚資料の利用	121
(9) コピー機の利用	121
(10) 図書館利用に際しての注意事項	121
7) 保健室	121
8) 食堂・売店	121
4. 3 各種証明書・願届等諸手続	122
1) 各種証明書・願届等諸手続一覧	122
2) 実習用通学定期券について	123
4. 4 課外活動	123
1) 学生団体の設立	123
2) 体育館、グラウンド、テニスコートの使用	124
3) 学外活動	124
4) 課外活動に係る掲示・配布物	124
(1) 手続方法	124
(2) 掲示場所	124
(3) 掲示期間	124
(4) 注意事項	124
4. 5 その他	124
1) 宿舎	124
2) アルバイト	124

1. 学年曆

1. 学年暦

2025年度 健康科学部 学年暦

2025年4月					2025年5月					2025年6月					2025年7月					2025年8月					2025年9月					
日付	行事	講義回数			日付	行事	講義回数			日付	行事	講義回数			日付	行事	講義回数			日付	行事	講義回数			日付	行事	講義回数			
		通常	前半	後半			通常	前半	後半			通常	前半	後半			通常	前半	後半			通常	前半	後半			通常	前半	後半	
1 日 (火)	ガイダンス				1 日 (木)	開学記念日 ※振替休日				1 日 (日)				1 日 (火)		12	5	1	1 日 (金)	前期 期間	定期試験 期間		試	試	1 日 (月)					
2 日 (水)	ガイダンス 履修登録期間				2 日 (金)	昭和の日 ※振替休日				2 日 (月)		7	7	2 日 (水)		12	5	2	2 日 (土)						2 日 (火)	後期講義開始 履修登録修正 期間		1	1	
3 日 (木)	入学式				3 日 (土)	憲法記念日				3 日 (火)		8	8	1	3 日 (木)		12	5	3	3 日 (日)					3 日 (水)	履修登録修正 期間		1	1	
4 日 (金)	ガイダンス 履修登録期間				4 日 (日)	みどりの日				4 日 (水)		8	8	1	4 日 (金)		12	5	4	4 日 (月)	前期 期間	定期試験 期間		試	試	4 日 (木)	履修登録修正 期間		1	1
5 日 (土)					5 日 (月)	こどもの日				5 日 (木)		8	1	5 日 (土)			5	5	5 日 (火)	前期 予備日 (補講・定期試験 等)					5 日 (金)	履修登録修正 期間		1	1	
6 日 (日)					6 日 (火)	みどりの日 (振替)				6 日 (金)		8	1	6 日 (日)			6	6	6 日 (水)	前期 予備日 (補講・定期試験 等)					6 日 (土)					
7 日 (月)	ガイダンス(健康 診断) 履修登録期間				7 日 (水)	海の日 ※振替休日				7 日 (土)				7 日 (月)		12	5	7	7 日 (木)	前期 予備日 (補講・定期試験 等)					7 日 (日)					
8 日 (火)	前期授業開始 履修登録期間	1	1		8 日 (木)		4	4		8 日 (日)				8 日 (火)		13	6	8	8 日 (金)						8 日 (月)	履修登録修正 期間		1	1	
9 日 (水)	開学記念日 ※通常開講 履修登録期間	1	1		9 日 (金)		4	4		9 日 (月)		8	8	1	9 日 (水)		13	6	9 日 (土)						9 日 (火)			2	2	
10 日 (木)	履修登録期間	1	1		10 日 (土)					10 日 (火)		9	試	2	10 日 (木)		13	6	10 日 (日)	大学 夏季休日					10 日 (水)			2	2	
11 日 (金)	履修登録期間	1	1		11 日 (日)					11 日 (水)		9	試	2	11 日 (金)		13	6	11 日 (月)	山の日 大学 夏季休日					11 日 (木)			2	2	
12 日 (土)					12 日 (月)		4	4		12 日 (木)		9	試	2	12 日 (土)			12 日 (火)	山の日 ※振替 大学 夏季休日					12 日 (金)			2	2		
13 日 (日)					13 日 (火)		5	5		13 日 (金)		9	試	2	13 日 (日)			13 日 (水)	大学 夏季休日					13 日 (土)						
14 日 (月)	履修登録期間	1	1		14 日 (水)		5	5		14 日 (土)				14 日 (月)		13	6	14 日 (木)	大学 夏季休日					14 日 (日)						
15 日 (火)		2	2		15 日 (木)		5	5		15 日 (日)				15 日 (火)		14	7	15 日 (金)	大学 夏季休日					15 日 (月)	敬老の日 ※通常開講		2	2		
16 日 (水)		2	2		16 日 (金)		5	5		16 日 (月)		9	試	2	16 日 (水)		14	7	16 日 (土)	大学 夏季休日					16 日 (火)			3	3	
17 日 (木)		2	2		17 日 (土)					17 日 (火)		10	3	17 日 (木)		14	7	17 日 (日)	大学 夏季休日					17 日 (水)			3	3		
18 日 (金)		2	2		18 日 (日)					18 日 (水)		10	3	18 日 (金)		14	7	18 日 (月)						18 日 (木)			3	3		
19 日 (土)					19 日 (月)		5	5		19 日 (木)		10	3	19 日 (土)				19 日 (火)	追試験・再試験 期間					19 日 (金)			3	3		
20 日 (日)					20 日 (火)		6	6		20 日 (金)		10	3	20 日 (日)				20 日 (水)	追試験・再試験 期間					20 日 (土)						
21 日 (月)		2	2		21 日 (水)		6	6		21 日 (土)				21 日 (月)	海の日 ※通常開講	14	7	21 日 (木)	追試験・再試験 期間					21 日 (日)						
22 日 (火)		3	3		22 日 (木)		6	6		22 日 (日)				22 日 (火)		15	8	22 日 (金)	追試験・再試験 期間					22 日 (月)			3	3		
23 日 (水)		3	3		23 日 (金)		6	6		23 日 (月)		10	3	23 日 (水)		15	8	23 日 (土)						23 日 (火)	秋分の日					
24 日 (木)		3	3		24 日 (土)					24 日 (火)		11	4	24 日 (木)		15	8	24 日 (日)						24 日 (水)	敬老の日 ※振替休日					
25 日 (金)		3	3		25 日 (日)					25 日 (水)		11	4	25 日 (金)		15	8	25 日 (月)						25 日 (木)			4	4		
26 日 (土)					26 日 (月)		6	6		26 日 (木)		11	4	26 日 (土)				26 日 (火)						26 日 (金)			4	4		
27 日 (日)					27 日 (火)		7	7		27 日 (金)		11	4	27 日 (日)				27 日 (水)						27 日 (土)						
28 日 (月)		3	3		28 日 (水)		7	7		28 日 (土)				28 日 (月)		15	8	28 日 (木)						28 日 (日)						
29 日 (火)	昭和の日 ※通常開講	4	4		29 日 (木)		7	7		29 日 (日)				29 日 (火)	前期 定期試験 期間	試	試	29 日 (金)						29 日 (月)			4	4		
30 日 (水)		4	4		30 日 (金)		7	7		30 日 (月)		11	4	30 日 (水)	前期 定期試験 期間	試	試	30 日 (土)						30 日 (火)			4	4		
					31 日 (土)									31 日 (木)	前期 定期試験 期間	試	試	31 日 (日)												

- ※1 大学の休日は、土曜日・日曜日・祝日・振替休業日・夏期休日・年末年始休日です。
 ※2 夏期・冬期・春期休業中に学外実習・集中講義・補講等が実施される場合があります。
 ※3 授業の日程等は変更される場合があります。

Ⅱ 健康科学部 [1. 学年暦]

2025年10月				2025年11月				2025年12月				2026年1月				2026年2月		2026年3月	
日付	行事	講義回数 通常 前半	後半	日付	行事	講義回数 通常 前半	後半	日付	行事	講義回数 通常 前半	後半	日付	行事	講義回数 通常 前半	後半	日付	行事	日付	行事
1 日 (水)		4	4	1 日 (土)				1 日 (月)		13	6	1 日 (木)	元日 大学 年始休日			1 日 (日)		1 日 (日)	
2 日 (木)		5	5	2 日 (日)				2 日 (火)		13	6	2 日 (金)	大学 年始休日			2 日 (月)		2 日 (月)	
3 日 (金)		5	5	3 日 (月)	文化の日 ※通常開講	9	2	3 日 (水)		13	6	3 日 (土)	大学 年始休日			3 日 (火)		3 日 (火)	
4 日 (土)				4 日 (火)		9	2	4 日 (木)		14	7	4 日 (日)	大学 年始休日			4 日 (水)		4 日 (水)	
5 日 (日)				5 日 (水)		9	2	5 日 (金)		14	7	5 日 (月)	大学 年始休日			5 日 (木)		5 日 (木)	
6 日 (月)		5	5	6 日 (木)		10	3	6 日 (土)				6 日 (火)	大学 年始休日			6 日 (金)		6 日 (金)	
7 日 (火)		5	5	7 日 (金)		10	3	7 日 (日)				7 日 (水)				7 日 (土)		7 日 (土)	
8 日 (水)		5	5	8 日 (土)				8 日 (月)		14	7	8 日 (木)	後期 予備日 (補講・定期試験等)			8 日 (日)		8 日 (日)	
9 日 (木)		6	6	9 日 (日)				9 日 (火)		14	7	9 日 (金)	スポーツの日 ※振替休日			9 日 (月)		9 日 (月)	
10 日 (金)		6	6	10 日 (月)		10	3	10 日 (水)		14	7	10 日 (土)				10 日 (火)		10 日 (火)	
11 日 (土)				11 日 (火)		10	3	11 日 (木)		15	8	11 日 (日)				11 日 (水)	建国記念の日	11 日 (水)	
12 日 (日)				12 日 (水)		10	3	12 日 (金)		15	8	12 日 (月)	成人の日			12 日 (木)		12 日 (木)	
13 日 (月)	スポーツの日 ※通常開講	6	6	13 日 (木)		11	4	13 日 (土)				13 日 (火)	追試験・再試験 期間			13 日 (金)		13 日 (金)	
14 日 (火)		6	6	14 日 (金)		11	4	14 日 (日)				14 日 (水)	追試験・再試験 期間			14 日 (土)		14 日 (土)	
15 日 (水)		6	6	15 日 (土)				15 日 (月)		15	8	15 日 (木)	追試験・再試験 期間			15 日 (日)		15 日 (日)	
16 日 (木)		7	7	16 日 (日)				16 日 (火)		15	8	16 日 (金)	追試験・再試験 期間			16 日 (月)		16 日 (月)	
17 日 (金)		7	7	17 日 (月)		11	4	17 日 (水)		15	8	17 日 (土)				17 日 (火)		17 日 (火)	
18 日 (土)				18 日 (火)		11	4	18 日 (木)	後期 定期試験 期間	試	試	18 日 (日)				18 日 (水)		18 日 (水)	
19 日 (日)				19 日 (水)		11	4	19 日 (金)	後期 定期試験 期間	試	試	19 日 (月)	文化の日 ※振替休日			19 日 (木)		19 日 (木)	
20 日 (月)		7	7	20 日 (木)		12	5	20 日 (土)				20 日 (火)				20 日 (金)		20 日 (金)	春分の日
21 日 (火)		7	7	21 日 (金)		12	5	21 日 (日)				21 日 (水)				21 日 (土)		21 日 (土)	
22 日 (水)		7	7	22 日 (土)				22 日 (月)	後期 定期試験 期間	試	試	22 日 (木)				22 日 (日)		22 日 (日)	
23 日 (木)		8	8	23 日 (日)	勤労感謝の日			23 日 (火)	後期 定期試験 期間	試	試	23 日 (金)				23 日 (月)	天皇誕生日	23 日 (月)	
24 日 (金)		8	8	24 日 (月)	勤労感謝の日 (振替) ※通常開講	12	5	24 日 (水)	後期 定期試験 期間	試	試	24 日 (土)				24 日 (火)		24 日 (火)	
25 日 (土)				25 日 (火)		12	5	25 日 (木)	後期 予備日 (補講・定期試験等)			25 日 (日)				25 日 (水)		25 日 (水)	
26 日 (日)				26 日 (水)		12	5	26 日 (金)	後期 予備日 (補講・定期試験等)			26 日 (月)	勤労感謝の日 (振替) ※振替休日			26 日 (木)		26 日 (木)	
27 日 (月)		8	8	27 日 (木)		13	6	27 日 (土)	大学 年末休日			27 日 (火)				27 日 (金)		27 日 (金)	
28 日 (火)		8	8	28 日 (金)		13	6	28 日 (日)	大学 年末休日			28 日 (水)				28 日 (土)		28 日 (土)	
29 日 (水)		8	8	29 日 (土)				29 日 (月)	大学 年末休日			29 日 (木)						29 日 (日)	
30 日 (木)		9	2	30 日 (日)				30 日 (火)	大学 年末休日			30 日 (金)						30 日 (月)	
31 日 (金)		9	2					31 日 (水)	大学 年末休日			31 日 (土)						31 日 (火)	

- ※1 大学の休日は、土曜日・日曜日・祝日・振替休業日・夏期休日・年末年始休日です。
 ※2 夏期・冬期・春期休業中に学外実習・集中講義・補講等が実施される場合があります。
 ※3 授業の日程等は変更される場合があります。

2. カリキュラム

2. カリキュラム

2. 1 カリキュラムの概要

1) 教育課程の構成

健康科学部のカリキュラムは、豊かな人間力を養う「総合基礎科目領域」、専門的な知識・技術力を身につける「専門科目領域」によって構成されています。とくに、専門科目領域の「専門基礎科目群」は時代の要請と人間性に根ざした臨床知を提供し、開かれた共創力を養います。

① 総合基礎科目領域

人間や社会に関する科学的理解を深め、生命の尊厳と人権の尊重に根ざした高い倫理観を養成し、社会人・職業人としての基礎力・自己研さんする力、他者と共働するためのコミュニケーション能力を培います。

【共通基礎科目群】

医療・福祉・心理の専門科目習得の基礎となる「人間についての基礎的理解」とその応用を可能にする「科学的思考力」「情報リテラシー」を修得するとともに、近代社会が開示した基礎的学問（医療史、心理学、社会学、倫理学など）を学び、今日の医療・福祉・心理の基礎となる「人間学」について学修します。

【人間基礎科目群】

今日の「健康と福祉」の理念および人間関係の基礎を学習するとともに、多文化共生社会における医療・福祉・心理を活かした人材としての認識と教養を養い、異文化間コミュニケーションの能力を身につける本学独自の科目を用意しています。

【外国語科目群】

医療・福祉・心理を活かした人材として、グローバル化社会に対応できる語学力と実践的コミュニケーション能力を身につけます。

② 専門科目領域

【専門基礎科目群】

医療・保健・福祉・心理のみならず、その関連領域と連携できる高い教養と専門関連知識を身につけます。また、差別や偏見にとらわれない専門職者・職業人としての見識を養います。

<基礎医学系>

基礎医学系では、医学の基礎を修得するための授業科目が設置されています。解剖学、生理学、運動学、病理学など、理学療法・作業療法を学ぶ上での基盤となる医学知識を身につけるために、演習や実習も取り入れ段階的学べるように科目を構成しています。同時に、福祉や心理の領域を学ぶ学生が人体の構造と機能についてより深く学ぶことができるようになっています。

II 健康科学部 [2. カリキュラム]

<臨床医学系>

臨床医学系では、理学療法・作業療法を修得する上での基本的素養となる病態・診断・治療についての科目が設置されています。また福祉・心理の領域を学ぶ学生に対しては福祉と医療または心理と医療の密接な関係を理解できるように、臨床医学全般について広く学べるような授業科目を設置しています。作業療法の専門職者や福祉・心理を活かした職業人には精神疾患に関する知識も有益となるため、精神医学や精神疾患に係る科目も設置しています。

<福祉学系>

福祉学系では、社会福祉学を中心とし、現代社会の課題を理解する授業科目で構成されています。具体的には少子高齢化が進む社会に対応するための社会保障の課題、高齢者や障害者などの生活弱者の理解、さらにはメンタルヘルス問題に関する授業科目を設置しています。それにより、今日的課題である地域共生社会の実現における医療専門職や地域社会に貢献できる人材の位置づけや役割に関する幅広い知識を身につけることができます。

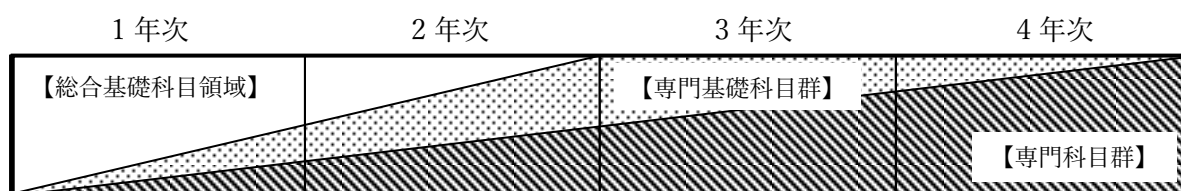
<臨床人間学系>

医療・福祉・心理領域における専門職者・職業人は、高い専門的知識や技術力と同時に、人間を理解するための新たな知見（心理学、社会学、生命学やジェンダー論など）を得ることが必須です。本学は臨床現場や地域社会において自ら思考し自立した専門家や有為な人材を育てるために、臨床人間学系の科目を充実させています。

【専門科目群】

医療・福祉・心理を活かした専門職者・職業人が必要とする高度な知識や技術・技能、さらに人間学に基づく臨床の知を身につけられる講義や実習を用意しています。また、リハビリテーション学科においては、国家試験受験資格取得に関わる指定科目等が無理なく履修できるように、科目の学年配当や必修科目・選択科目の配置を工夫しています。

健康科学部では、「総合基礎科目領域」の講義（授業）科目と「専門科目領域」の講義（授業）科目を4年間にわたってバランスよく履修できるように、また、両領域を有機的に結びつける臨床人間学系科目を「専門基礎科目群」に配置しました。これは本学部の独創的な科目配置です。



2) 授業の方法

(1) 少人数制の実践

各種演習系の授業科目においては、受講人数を制限して少人数での授業を行っています。中でも、総合基礎科目領域における外国語科目、基礎演習や専門科目領域における演習系の授業科目等については、少人数教育を主体とし、クラス編成やグループ編成を行い効果的にかつきめ細かい教員指導が徹底できるように配慮しています。

(2) セメスター制の採用

教育効果を高めることを目的に、年間の講義期間を前期と後期に分け、学期ごとに完結させて評価を行うセメスター制を採用しています。

(3) 多彩な専門家の招聘

施設・病院・公共団体・他大学・地元企業等から実務の最前線で活躍されている専門家を招聘し、より実践的な教育を展開しています。

3) 実習教育の重視

リハビリテーション学科の医療の専門技術者は、豊かな情操と確かな倫理観を持ち、豊富な教養と専門的な知識に基づいて、医療サービスを現に実践する能力が必須です。そのために健康科学部の4年間の大学教育を通じてその知識と技術を深めるとともに、その能力を養っていきます。その中でも実習は、講義や演習等で学んだ原理や方法論を模擬的又は実際にリハビリテーションに活用することを通して、さらに深い知識と高度な技術へと発展させていく機会となります。

そのため、1年次から実習系の授業科目がカリキュラムに組み込まれています。学内における実習では、教員の指導のもと学生同士で模擬的に患者役になったりして、講義や演習等で学んだ知識を基に互いに疑似体験をしながら技術を身に付けるとともに、さらに知識を深めていきます。学外における実習では、学内で学習した基本的な知識と技術を病院や施設等の現場で実践することを通じて、より専門的な知識と技術を身に付けるとともに、職業人としての資質を養います。また、この学外における実習は、医療の専門技術者としての自覚を喚起するとともに、自己を見つめて成長する機会ともなり、専門職養成の教育においては欠くことのできない重要な位置を占めています。

また、人間コミュニケーション学科では、多文化・多様性共生社会で有為に活躍できる人材として、コミュニケーション力の素地を培うと同時に、専門的なコミュニケーションの知識・技術を駆使できることが必要です。そして、深い相互理解に基づいたコミュニケーションの実践には、多様な疑問や価値観に対して、多角的な視点から問題解決に取り組む自律的な思考が必須となります。

そのため、1年次から多様な社会貢献のあり方を理解するため、地元産業に貢献を果たす幅広い企業活動を紹介する講義が用意されています。学内における実習としては、自己表現とコミュニケーション分析を実践的に培う講義・演習が段階的に提供されており、多様なキャリア展開を可能とする各演習との相乗効果にて、豊かで自分らしい職業選択を深めていきます。さらに、学外の実習では、プロジェクト科目やインターンシップ科目が豊富に用意されており、実際の社会貢献の現場を体験したり、興味・関心のある企業で社会人体験を行い、地域に貢献する人材としての自分を誠実に描くことができる工夫を施しています。

II 健康科学部 [2. カリキュラム]

2. 2 教育課程表 (授業科目・単位数)

1) リハビリテーション学科/理学療法学学科

(1) リハビリテーション学科 理学療法学コース 2025年度以降入学生適用

科目区分			科目名	配当年次	単位数			備 考
					必修	選択 必修	選択	
総合基礎科目領域	共通基礎科目群		基礎演習Ⅰ	1	1			【卒業所要単位】 □総合基礎科目領域(25単位以上) ①共通基礎科目群(必修) 8単位 ②人間基礎科目群(必修) 2単位 ③外国語科目群(必修) 4単位 ④外国語科目群(選択必修) 1単位(外国語科目群の選択必修科目から選択) ⑤自由選択 10単位以上(総合基礎科目領域の選択科目及び選択必修科目から選択) □専門科目領域(105単位以上) ①専門基礎科目群(必修) 35単位 ②専門基礎科目群(選択必修) 1単位(専門基礎科目群の選択科目から選択) ③専門科目群(必修) 64単位 ④自由選択 5単位以上(専門科目領域の選択科目から選択)
			基礎演習Ⅱ	1	1			
			人権と法	1・2			2	
			教育原理	1・2			2	
			経済と経営	1・2			2	
			現代医療史	1・2			1	
			宗教学	1・2			1	
			現代社会と倫理	1・2			1	
			情報リテラシー	1	1			
			基礎数学演習	1	1			
			物理基礎	1	1			
			化学基礎	1	1			
			統計学	1	2			
			心理学と心理的支援(心理学概論)	1・2			2	
			人間学	1・2			1	
			生命学	1・2			1	
			比較行動学	1・2			2	
			山梨の自然と文化・産業	1・2			2	
			富士山と環境	1・2			2	
			生活健康学	1・2			2	
			日本語表現法	1			1	
			スポーツの理論と実際	1・2			1	
	人間基礎科目群		健康科学論	1	1			
			発達心理学	1			2	
			人間関係論	1	1			
			コミュニケーション論	1・2			1	
			世界の福祉	1・2			2	
			点字の理論と実際	1・2			2	
			手話の理論と実際	1・2			2	
			異文化比較論	1・2			1	
			共生学	1・2			1	
			世界と対話	2			2	
			地域連携の理論と実際	1・2			2	
			ボランティア活動の実際	1・2			1	
			リハビリテーション特別講義Ⅰ	1・2			1	
			リハビリテーション特別講義Ⅱ	1・2			1	
	外国語科目群		英語Ⅰ-1	1	1			
			英語Ⅰ-2	1	1			
			英語Ⅱ-1	2	1			
			英語Ⅱ-2	2	1			
			英語リーディング・ライティング	1・2		1		
			英語リーディング・ライティング(advanced)	1・2・3・4		1		
			英会話	1・2		1		
			英会話(advanced)	1・2・3・4		1		
専門科目領域	専門基礎科目群	基礎医学系	解剖学Ⅰ	1	2			④自由選択 5単位以上(専門科目領域の選択科目から選択)
			解剖学Ⅱ	1	2			
			解剖学演習	1・2・3・4			1	
			解剖学実習	1	1			
			生理学	1	2			
			生理学演習	1	2			
			生理学実習	2	1			
			運動学Ⅰ	1	2			
			運動学Ⅱ	1	2			

科目区分			科目名	配当年次	単位数			備考
					必修	選択必修	選択	
専門科目領域	専門基礎科目群	基礎医学系	運動学実習	2	1			
			人間発達学	1	2			
			病理学	1	1			
			薬学	2	1			
			栄養学	2	2			
			公衆衛生学	2			1	
			バイオメカニクス	2			2	
			微生物学・免疫学	2・3			2	
		臨床医学系	臨床医学総論	2	1			
			整形外科科学	2	2			
			神経内科学	2	2			
			小児科学	2	1			
			内科学	2	2			
			精神医学	2	2			
			リハビリテーション医学	2	1			
		福祉学系	現代社会と福祉Ⅰ	1			2	
			社会理論と社会システム	1・2			2	
			社会保障論Ⅰ	1・2			2	
			就労支援サービス	2	2			
			精神保健学Ⅰ	2・3			2	
			精神保健学Ⅱ	2・3			2	
			高齢者福祉	2・3			2	
			介護福祉	2・3			2	
			障害者福祉	2・3			2	
		臨床人間学系	臨床心理学	2			2	
			神経心理学	2			2	
			児童青年心理学	2・3			2	
			障害者心理学	2・3			2	
			社会心理学	2・3			2	
			臨床人間学スタディーズ	2・3		2		
			臨床社会学スタディーズ	2・3		2		
			ジェンダースタディーズ	2・3		1		
			コミュニケーションスタディーズ	2・3		1		
			チーム医療演習	4	1			
			理学療法概論	1	2			
	専門科目群		理学療法演習Ⅰ・1	1	1			
			理学療法演習Ⅰ・2	1	1			
			運動解剖学	2	2			
			臨床運動学	2	2			
			理学療法研究法	3	1			
			卒業研究	4			4	
			理学療法管理学	3	2			
			理学療法評価学	2	2			
			理学療法評価学実習	2	1			
			理学療法演習Ⅱ・1	2	1			
			理学療法演習Ⅱ・2	2	1			
			運動器系理学療法評価学演習	2	1			
			神経系理学療法評価学演習	2	1			
			内部障害系理学療法評価学演習	2	1			
			クリニカルリーズニング	3	1			
			理学療法治療学	3	2			
			運動療法学	3	2			
			理学療法演習Ⅲ	3	1			
			運動器系理学療法学実習	3	1			
			神経系理学療法学実習	3	1			
			内部障害系理学療法学実習	3	1			
			日常生活活動学	2	2			
			日常生活活動学実習	3	1			
			義肢装具学	2	2			
			義肢装具学実習	3	1			

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

科目区分		科目名	配当年次	単位数			備考
				必修	選択必修	選択	
専門科目領域	専門科目群	物理療法学	3	2			
		小児理学療法学	3	2			
		理学療法演習Ⅳ	4	1			
		理学療法特論	4	2			
		マニュアルセラピー	3			2	
		地域生活支援学	3			2	
		高次脳機能障害治療学	3			2	
		スポーツリハビリテーション学	4			2	
		スポーツ医学	4			1	
		地域理学療法学	2	2			
		予防理学療法学	3	1			
		見学実習	1	1			
		地域理学療法学実習	2	1			
		検査測定実習	2	1			
		評価実習	3	6			
		総合臨床実習	4	11			

(2) リハビリテーション学科 理学療法学コース 2023年度から2024年度入学生適用

科目区分		科目名	配当年次	単位数			備 考
				必修	選択必修	選択	
総合基礎科目領域	共通基礎科目群	基礎演習Ⅰ	1	1			【卒業所要単位】 □総合基礎科目領域(25単位以上) ①共通基礎科目群(必修) 8単位 ②人間基礎科目群(必修) 2単位 ③外国語科目群(必修) 4単位 ④外国語科目群(選択必修) 1単位(外国語科目群の選択必修科目から選択) ⑤自由選択 10単位以上(総合基礎科目領域の選択科目及び選択必修科目から選択)
		基礎演習Ⅱ	1	1			
		人権と法	1・2			2	
		教育原理	1・2			2	
		経済と経営	1・2			2	
		現代医療史	1・2			1	
		宗教学	1・2			1	
		現代社会と倫理	1・2			1	
		情報リテラシー	1	1			
		基礎数学演習	1	1			
		物理基礎	1	1			
		化学基礎	1	1			
		統計学	1	2			
		心理学と心理的支援(心理学概論)	1・2			2	
		人間学	1・2			1	
		生命学	1・2			1	
		比較行動学	1・2			2	
		山梨の自然と文化・産業	1・2			2	
		富士山と環境	1・2			2	
		生活健康学	1・2			2	
		スポーツの理論と実際	1・2			1	
	人間基礎科目群	健康科学論	1	1			□専門科目領域(105単位以上) ①専門基礎科目群(必修) 35単位 ②専門基礎科目群(選択必修) 1単位(専門基礎科目群の選択科目から選択) ③専門科目群(必修) 64単位 ④自由選択 5単位以上(専門科目領域の選択科目から選択)
		発達心理学	1			2	
		人間関係論	1	1			
		コミュニケーション論	1・2			1	
		世界の福祉	1・2			2	
		点字の理論と実際	1・2			2	
		手話の理論と実際	1・2			2	
		異文化比較論	1・2			1	
		共生学	1・2			1	
		世界と対話	2			2	
		地域連携の理論と実際	1・2			2	
		ボランティア活動の実際	1・2			1	
	外国語科目群	英語Ⅰ・1	1	1			
		英語Ⅰ・2	1	1			
		英語Ⅱ・1	2	1			
		英語Ⅱ・2	2	1			
		英語リーディング・ライティング	1・2		1		
		英語コミュニケーション	1・2		1		
		英語会話	1・2		1		
		基礎韓国語	1・2		1		
		基礎中国語	1・2		1		
		はじめての韓国語会話	1・2		1		
		はじめての中国語会話	1・2		1		
専門科目領域	基礎医学系 専門基礎科目群	解剖学Ⅰ	1	2			
		解剖学Ⅱ	1	2			
		解剖学演習	1・2・3・4			1	
		解剖学実習	1	1			
		生理学	1	2			
		生理学演習	1	2			
		生理学実習	2	1			
		運動学Ⅰ	1	2			
		運動学Ⅱ	1	2			

Ⅱ 健康科学部〔2. カリキュラム〕

科目区分	科 目 名	配当年次	単位数			備 考
			必修	選択必修	選択	
専門科目領域	基礎医学系	運動学実習	2	1		
		人間発達学	1	2		
		病理学	1	1		
		薬学	2	1		
		栄養学	2	2		
		公衆衛生学	2			1
		バイオメカニクス	2			2
		微生物学・免疫学	2・3			2
	臨床医学系	臨床医学総論	2	1		
		整形外科学	2	2		
		神経内科学	2	2		
		小児科学	2	1		
		内科学	2	2		
		精神医学	2	2		
		リハビリテーション医学	2	1		
	福祉学系	現代社会と福祉Ⅰ	1			2
		社会理論と社会システム	1・2			2
		社会保障論Ⅰ	1・2			2
		就労支援サービス	2	2		
		精神保健学Ⅰ	2・3			2
		精神保健学Ⅱ	2・3			2
		高齢者福祉	2・3			2
		介護福祉	2・3			2
		障害者福祉	2・3			2
	臨床人間学系	臨床心理学	2			2
		神経心理学	2			2
		児童青年心理学	2・3			2
		障害者心理学	2・3			2
		社会心理学	2・3			2
		臨床人間学スタディーズ	2・3		2	
		臨床社会学スタディーズ	2・3		2	
		ジェンダースタディーズ	2・3		1	
		コミュニケーションスタディーズ	2・3		1	
	専門科目群	チーム医療演習	4	1		
		理学療法概論	1	2		
		理学療法演習Ⅰ・1	1	1		
		理学療法演習Ⅰ・2	1	1		
		運動解剖学	2	2		
		臨床運動学	2	2		
		理学療法研究法	3	1		
		卒業研究	4			4
		理学療法管理学	3	2		
		理学療法評価学	2	2		
		理学療法評価学実習	2	1		
		理学療法演習Ⅱ・1	2	1		
		理学療法演習Ⅱ・2	2	1		
		運動器系理学療法評価学演習	2	1		
		神経系理学療法評価学演習	2	1		
		内部障害系理学療法評価学演習	2	1		
		クリニカルリーズニング	3	1		
		理学療法治療学	3	2		
		運動療法学	3	2		
		理学療法演習Ⅲ	3	1		
		運動器系理学療法学実習	3	1		
		神経系理学療法学実習	3	1		
		内部障害系理学療法学実習	3	1		
		日常生活活動学	2	2		
		日常生活活動学実習	3	1		
		義肢装具学	2	2		
		義肢装具学実習	3	1		

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

科目区分		科目名	配当年次	単位数			備考
				必修	選択必修	選択	
専門科目領域	専門科目群	物理療法学	3	2			
		小児理学療法学	3	2			
		理学療法演習Ⅳ	4	1			
		理学療法特論	4	2			
		マニュアルセラピー	3			2	
		地域生活支援学	3			2	
		高次脳機能障害治療学	3			2	
		スポーツリハビリテーション学	4			2	
		スポーツ医学	4			1	
		地域理学療法学	2	2			
		予防理学療法学	3	1			
		見学実習	1	1			
		地域理学療法学実習	2	1			
		検査測定実習	2	1			
		評価実習	3	6			
		総合臨床実習	4	11			

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

(3) 理学療法学科 2020年度から2022年度入学生適用

科目区分	科目名	配当年次	単位数			備 考
			必修	選択必修	選択	
総合基礎科目領域	共通基礎科目群	基礎演習Ⅰ	1			【卒業所要単位】 □総合基礎科目領域(25単位以上) ①共通基礎科目群(必修) 8単位 ②人間基礎科目群(必修) 2単位 ③外国語科目群(必修) 4単位 ④外国語科目群(選択必修) 1単位(外国語科目群の選択必修科目から選択) ⑤自由選択 10単位以上(総合基礎科目領域の選択科目及び選択必修科目から選択)
		基礎演習Ⅱ	1			
		人権と法	1・2		2	
		教育原理	1・2		2	
		経済と経営	1・2		2	
		現代医療史	1・2		1	
		宗教学	1・2		1	
		現代社会と倫理	1・2		1	
		情報リテラシー	1	1		
		基礎数学演習	1	1		
		物理基礎	1	1		
		化学基礎	1	1		
		統計学	1	2		
		心理学	1・2		2	
		人間学	1・2		1	
		生命学	1・2		1	
		比較行動学	1・2		2	
		山梨の自然と文化・産業	1・2		2	
		富士山と環境	1・2		2	
		生活健康学	1・2		2	
		スポーツの理論と実際	1・2		1	
	人間基礎科目群	健康科学論	1	1		□専門科目領域(105単位以上) ①専門基礎科目群(必修) 35単位 ②専門基礎科目群(選択必修) 1単位(専門基礎科目群の選択科目から選択) ③専門科目群(必修) 64単位 ④自由選択 5単位以上(専門科目領域の選択科目から選択)
		発達心理学	1		2	
		人間関係論	1	1		
		コミュニケーション論	1・2		1	
		世界の福祉	1・2		2	
		点字の理論と実際	1・2		2	
		手話の理論と実際	1・2		2	
		異文化比較論	1・2		1	
		共生学	1・2		1	
		世界と対話	2		2	
		地域連携の理論と実際	1・2		2	
		ボランティア活動の実際	1・2		1	
	外国語科目群	英語Ⅰ-1	1	1		
		英語Ⅰ-2	1	1		
		英語Ⅱ-1	2	1		
		英語Ⅱ-2	2	1		
		英語リーディング・ライティング	1・2		1	
		英語コミュニケーション	1・2		1	
		英語会話	1・2		1	
		基礎韓国語	1・2		1	
		基礎中国語	1・2		1	
		はじめての韓国語会話	1・2		1	
		はじめての中国語会話	1・2		1	
専門科目領域	基礎医学系 専門基礎科目群	解剖学Ⅰ	1	2		
		解剖学Ⅱ	1	2		
		解剖学演習	1・2・3・4		1	
		解剖学実習	1	1		
		生理学	1	2		
		生理学演習	1	2		
		生理学実習	2	1		
		運動学Ⅰ	1	2		
		運動学Ⅱ	1	2		

科目区分			科目名	配当年次	単位数			備考
					必修	選択必修	選択	
専門科目領域	専門基礎科目群	基礎医学系	運動学実習	2	1			
			人間発達学	1	2			
			病理学	1	1			
			薬学	2	1			
			栄養学	2	2			
			公衆衛生学	2			1	
			バイオメカニクス	2			2	
			微生物学・免疫学	2・3			2	
		臨床医学系	臨床医学総論	2	1			
			整形外科学	2	2			
			神経内科学	2	2			
			小児科学	2	1			
			内科学	2	2			
			精神医学	2	2			
			リハビリテーション医学	2	1			
		福祉学系	現代社会と福祉Ⅰ	1			2	
			社会理論と社会システム	1・2			2	
			社会保障論Ⅰ	1・2			2	
			就労支援サービス	2	2			
			精神保健学Ⅰ	2・3			2	
			精神保健学Ⅱ	2・3			2	
			高齢者福祉	2・3			2	
			介護福祉	2・3			2	
			障害者福祉	2・3			2	
		臨床人間学系	臨床心理学	2			2	
			神経心理学	2			2	
			児童青年心理学	2・3			2	
			障害者心理学	2・3			2	
			社会心理学	2・3			2	
			臨床人間学スタディーズ	2・3		2		
			臨床社会学スタディーズ	2・3		2		
			ジェンダースタディーズ	2・3		1		
			コミュニケーションスタディーズ	2・3		1		
			チーム医療演習	4	1			
	専門科目群		理学療法概論	1	2			
			理学療法演習Ⅰ・1	1	1			
			理学療法演習Ⅰ・2	1	1			
			運動解剖学	2	2			
			臨床運動学	2	2			
			理学療法研究法	3	1			
			卒業研究	4			4	
			理学療法管理学	3	2			
			理学療法評価学	2	2			
			理学療法評価学実習	2	1			
			理学療法演習Ⅱ・1	2	1			
			理学療法演習Ⅱ・2	2	1			
			運動器系理学療法評価学演習	2	1			
			神経系理学療法評価学演習	2	1			
			内部障害系理学療法評価学演習	2	1			
			クリニカルリーズニング	2	1			
			理学療法治療学	2	2			
			運動療法学	2	2			
			理学療法演習Ⅲ	3	1			
			運動器系理学療法学実習	3	1			
			神経系理学療法学実習	3	1			
			内部障害系理学療法学実習	3	1			
			日常生活活動学	2	2			
			日常生活活動学実習	3	1			
			義肢装具学	2	2			
			義肢装具学実習	3	1			

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

科目区分		科 目 名	配当年次	単位数			備 考
				必修	選択必修	選択	
専門科目領域	専門科目群	物理療法学	3	2			
		小児理学療法学	3	2			
		理学療法演習Ⅳ	4	1			
		理学療法特論	4	2			
		マニュアルセラピー	3			2	
		地域生活支援学	3			2	
		高次脳機能障害治療学	3			2	
		スポーツ理学療法学	4			2	
		スポーツ医学	4			1	
		地域理学療法学	2	2			
		予防理学療法学	3	1			
		見学実習	1	1			
		地域理学療法学実習	2	1			
		検査測定実習	2	1			
		評価実習	3	6			
		総合臨床実習	4	11			

(4) 理学療法学科 2016年度から2019年度入学生適用

科目区分		科目名	配当年次	単位数			備 考
				必修	選択必修	選択	
総合基礎科目領域	共通基礎科目群	基礎演習Ⅰ	1	1			【卒業所要単位】 □総合基礎科目領域(25単位以上) ①共通基礎科目群(必修) 8単位 ②人間基礎科目群(必修) 2単位 ③外国語科目群(必修) 4単位 ④外国語科目群(選択必修) 1単位(外国語科目群の選択必修科目から選択) ⑤自由選択 10単位以上(総合基礎科目領域の選択科目及び選択必修科目から選択) □専門科目領域(105単位以上) ①専門基礎科目群(必修) 32単位 ②専門科目群(必修) 61単位 ③自由選択 12単位以上(専門科目領域の選択科目から選択)
		基礎演習Ⅱ	1	1			
		日本語演習	1			1	
		コンピュータリテラシー	1			1	
		健康と運動	1・2			2	
		生活健康学	1・2・3			2	
		スポーツの理論と実際	1・2・3			1	
		基礎数学演習	1			1	
		統計学	1・2	2			
		生活と物理	1・2	2			
		生命科学	1・2			2	
		心理学	1・2	2			
		生命倫理学	1・2・3			2	
		哲学	1・2・3			2	
		山梨の自然と文化・産業	1			2	
		富士山と環境	1・2・3			2	
	人間基礎科目群	健康とリハビリテーション	1	2			
		医療と福祉	3・4			2	
		発達心理学	1・2			2	
		国際福祉論	1・2			2	
		高齢者と生活の歴史	2・3			1	
		ユニバーサル環境論	2・3			1	
		点字の理論と実際	1・2・3			2	
		手話の理論と実際	1・2・3			2	
		ボランティア論	1・2・3			2	
		ボランティア活動の実際	1・2・3・4			1	
		地域連携の理論と実際	1・2・3・4			2	
		リハビリテーション特別講義Ⅰ	1・2・3・4			1	
		リハビリテーション特別講義Ⅱ	1・2・3・4			1	
	外国語科目群	英語Ⅰ-1	1	1			
		英語Ⅰ-2	1	1			
		英語Ⅱ-1	2	1			
		英語Ⅱ-2	2	1			
		英語リーディング・ライティング	1・2・3		1		
		英語コミュニケーション	1・2・3		1		
		英語会話	1・2・3		1		
		基礎中国語	1・2・3		1		
		基礎韓国語	1・2・3		1		
専門科目領域	基礎医学系 専門基礎科目群	解剖学Ⅰ	1	2			
		解剖学Ⅱ	2	2			
		解剖学演習	1・2・3・4			1	
		解剖学実習	1	1			
		生理学	1	2			
		生理学演習	1	2			
		生理学実習	2	1			
		運動学Ⅰ	1	2			
		運動学Ⅱ	1	2			
		運動学実習	2	1			
		運動生理学	1	2			
		人間発達学	1	2			
		病理学	1	2			
		薬理学	2・3			2	
		微生物学・免疫学	2・3			2	
		公衆衛生学	1・2			1	
		栄養学	2・3・4			2	

Ⅱ 健康科学部〔2. カリキュラム〕

科目区分		科目名	配当年次	単位数			備考
				必修	選択必修	選択	
専門基礎科目群	臨床医学系	臨床医学総論	1	1			
		整形外科学	2	2			
		内科学	2	2			
		神経内科学	2	2			
		小児科学	2	1			
		リハビリテーション医学	2・3	1			
		精神医学Ⅰ	2	2			
		精神医学Ⅱ	2・3			2	
	福祉学系	社会理論と社会システム	1・2			2	
		社会保障論Ⅰ	1・2			2	
		現代社会と福祉Ⅰ	1			2	
		福祉用具論	2・3			2	
		精神保健学Ⅰ	2・3			2	
		精神保健学Ⅱ	2・3			2	
		高齢者福祉	2・3			2	
		介護福祉	2・3			2	
	心理学系	障害者福祉	2・3			2	
		心理学理論と心理的支援	1・2・3・4			2	
		児童心理学	2・3			2	
		青年心理学	1・2・3			2	
		高齢者心理学	2・3			2	
		障害者心理学	2・3			2	
		社会心理学	2・3			2	
		神経心理学	2・3			2	
専門科目領域	専門科目群	理学療法演習Ⅰ-1	1	1			
		理学療法演習Ⅰ-2	1	1			
		理学療法概論	1	2			
		臨床実習Ⅰ	1	1			
		理学療法用語論	1			2	
		理学療法演習Ⅱ-1	2	1			
		理学療法演習Ⅱ-2	2	1			
		理学療法診断学	2	2			
		理学療法評価学	2	2			
		理学療法評価学実習	2	1			
		運動療法学	2	2			
		運動解剖学	2	2			
		臨床実習Ⅱ	2	2			
		バイオメカニクス	2			2	
		バイオメカニクス演習	2			1	
		理学療法演習Ⅲ-1	3	1			
		理学療法演習Ⅲ-2	3	1			
		物理療法学	3	1			
		内部障害系理学療法学	3	2			
		内部障害系理学療法学実習	3	1			
		義肢装具学	3	2			
		義肢装具学実習	3	1			
		理学療法治療学	3	2			
		運動器系理学療法学	3	2			
		運動器系理学療法学実習	3	1			
		神経系理学療法学	3	2			
		神経系理学療法学実習	3	1			
		日常生活活動学	3	2			
		日常生活活動学実習	3	1			
		臨床運動学	3	2			
		理学療法マネジメント	3	1			
		高齢者理学療法学	3	1			
		地域理学療法学	3	1			
		臨床実習Ⅲ	3	5			
		理学療法研究法	3			1	
		神経筋促通治療学	3			1	

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

科目区分		科 目 名	配当年次	単位数			備 考
				必修	選択 必修	選択	
専門科目領域	専門科目群	小児理学療法学	3			2	
		スポーツ医科学	3			1	
		スポーツ理学療法学	3			2	
		マニュアルセラピー	3			2	
		高次脳機能障害治療学	3			1	
		職業関連活動学	3			1	
		理学療法特論	4	2			
		理学療法演習Ⅳ	4	1			
		臨床実習Ⅳ	4	10			
		卒業研究	4			4	

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

2) リハビリテーション学科/作業療法学科

(1) リハビリテーション学科 作業療法学コース 2025年度以降入学生適用

科目区分	科目名	配当年次	単位数			備 考
			必修	選択必修	選択	
総合基礎科目領域	共通基礎科目群	基礎演習Ⅰ	1	1		【卒業所要単位】 □総合基礎科目領域(25単位以上) ①共通基礎科目群(必修) 8単位 ②人間基礎科目群(必修) 2単位 ③外国語科目群(必修) 4単位 ④外国語科目群(選択必修) 1単位(外国語科目群の選択必修科目から選択) ⑤自由選択 10単位以上(総合基礎科目領域の選択科目及び選択必修科目から選択) □専門科目領域(105単位以上) ①専門基礎科目群(必修) 37単位 ②専門基礎科目群(選択必修) 1単位(専門基礎科目群の選択科目から選択) ③専門科目群(必修) 66単位 ④自由選択 1単位以上(専門科目領域の選択科目から選択)
		基礎演習Ⅱ	1	1		
		人権と法	1・2		2	
		教育原理	1・2		2	
		経済と経営	1・2		2	
		現代医療史	1・2		1	
		宗教学	1・2		1	
		現代社会と倫理	1・2		1	
		情報リテラシー	1	1		
		基礎数学演習	1	1		
		物理基礎	1	1		
		化学基礎	1	1		
		統計学	1	2		
		心理学と心理的支援(心理学概論)	1・2		2	
		人間学	1・2		1	
		生命学	1・2		1	
		比較行動学	1・2		2	
		山梨の自然と文化・産業	1・2		2	
		富士山と環境	1・2		2	
		生活健康学	1・2		2	
		日本語表現法	1		1	
		スポーツの理論と実際	1・2		1	
	人間基礎科目群	健康科学論	1	1		
		発達心理学	1		2	
		人間関係論	1	1		
		コミュニケーション論	1・2		1	
		世界の福祉	1・2		2	
		点字の理論と実際	1・2		2	
		手話の理論と実際	1・2		2	
		異文化比較論	1・2		1	
		共生学	1・2		1	
		世界と対話	2		2	
		地域連携の理論と実際	1・2		2	
		ボランティア活動の実際	1・2		1	
	外国語科目群	リハビリテーション特別講義Ⅰ	1・2		1	
		リハビリテーション特別講義Ⅱ	1・2		1	
		英語Ⅰ-1	1	1		
		英語Ⅰ-2	1	1		
		英語Ⅱ-1	2	1		
		英語Ⅱ-2	2	1		
		英語リーディング・ライティング	1・2		1	
		英語リーディング・ライティング(advanced)	1・2・3・4		1	
専門科目領域	基礎医学系 専門基礎科目群	英会話	1・2		1	③専門科目群(必修) 66単位 ④自由選択 1単位以上(専門科目領域の選択科目から選択)
		英会話(advanced)	1・2・3・4		1	
		解剖学Ⅰ	1	2		
		解剖学Ⅱ	1	2		
		解剖学演習	1・2・3・4		1	
		解剖学実習	1	1		
		生理学	1	2		
		生理学演習	1	2		
		生理学実習	2	1		
		運動学Ⅰ	1	2		
		運動学Ⅱ	1	2		

科目区分			科目名	配当年次	単位数			備考
					必修	選択必修	選択	
専門科目領域	専門基礎科目群	基礎医学系	運動学実習	2	1			
			人間発達学	1	2			
			病理学	1	1			
			薬学	2	1			
			栄養学	2	2			
			公衆衛生学	1・2			1	
			微生物学・免疫学	2・3			2	
		臨床医学系	臨床医学総論	2	1			
			整形外科学	2	2			
			神経内科学	2	2			
			小児科学	2	1			
			内科学	2	2			
			精神医学	2	2			
			リハビリテーション医学	2	1			
		福祉学系	現代社会と福祉Ⅰ	1			2	
			社会理論と社会システム	1・2			2	
			社会保障論Ⅰ	1・2			2	
			就労支援サービス	2	2			
			精神保健学Ⅰ	2・3			2	
			精神保健学Ⅱ	2・3			2	
			高齢者福祉	2・3			2	
			介護福祉	2・3			2	
			障害者福祉	2・3			2	
		臨床人間学系	臨床心理学	2			2	
			神経心理学	2	2			
			児童青年心理学	2・3			2	
			障害者心理学	2・3			2	
			社会心理学	2・3			2	
			臨床人間学スタディーズ	2・3		2		
			臨床社会学スタディーズ	2・3		2		
			ジェンダースタディーズ	2・3		1		
			コミュニケーションスタディーズ	2・3		1		
			チーム医療演習	4	1			
	専門科目群		作業療法概論	1	2			
			基礎作業学	1	2			
			作業療法演習Ⅰ・1	2	1			
			研究法概論	2	1			
			基礎作業学演習	3	1			
			卒業研究	4			4	
			作業療法管理学	3	2			
			作業療法評価学	1	2			
			身体作業療法評価学演習	2	2			
			精神作業療法評価学演習	2	2			
			発達作業療法評価学演習	2	1			
			日常生活評価学演習	2	1			
			作業療法演習Ⅰ・2	2	1			
			身体障害作業療法治療学	2	2			
			精神障害作業療法治療学	2	2			
			老年期作業療法学	3	2			
			発達障害作業療法治療学演習	3	1			
			高次脳機能障害治療学	3	2			
			身体障害作業療法治療学演習	3	2			
			精神障害作業療法治療学演習	3	2			
			日常生活活動学演習	3	1			
			作業療法演習Ⅱ・1	3	1			
			作業療法演習Ⅱ・2	3	1			
			義肢装具学	3	2			
			作業療法学特論	4	1			
			スポーツ医学	3			1	
			スポーツリハビリテーション学	3			2	

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

科目区分		科 目 名	配当年次	単位数			備 考
				必修	選択 必修	選択	
専門科目領域	専門科目群	マニュアルセラピー	3			2	
		地域生活支援学	3	2			
		地域作業療法学	3	2			
		生活環境学演習	3			1	
		臨床実習Ⅰ（見学実習）	1	1			
		臨床実習Ⅱ（地域実習）	3	1			
		臨床実習Ⅲ（評価実習）	3	5			
		臨床実習Ⅳ（総合実習）	4	9			
		臨床実習Ⅴ（総合実習）	4	9			

(2) リハビリテーション学科 作業療法学コース 2024年度入学生適用

科目区分		科目名	配当年次	単位数			備 考
				必修	選択必修	選択	
総合基礎科目領域	共通基礎科目群	基礎演習Ⅰ	1	1			【卒業所要単位】 □総合基礎科目領域(25単位以上) ①共通基礎科目群(必修) 8単位 ②人間基礎科目群(必修) 2単位 ③外国語科目群(必修) 4単位 ④外国語科目群(選択必修) 1単位(外国語科目群の選択必修科目から選択) ⑤自由選択 10単位以上(総合基礎科目領域の選択科目及び選択必修科目から選択)
		基礎演習Ⅱ	1	1			
		人権と法	1・2			2	
		教育原理	1・2			2	
		経済と経営	1・2			2	
		現代医療史	1・2			1	
		宗教学	1・2			1	
		現代社会と倫理	1・2			1	
		情報リテラシー	1	1			
		基礎数学演習	1	1			
		物理基礎	1	1			
		化学基礎	1	1			
		統計学	1	2			
		心理学と心理的支援(心理学概論)	1・2			2	
		人間学	1・2			1	
		生命学	1・2			1	
		比較行動学	1・2			2	
		山梨の自然と文化・産業	1・2			2	
		富士山と環境	1・2			2	
		生活健康学	1・2			2	
		スポーツの理論と実際	1・2			1	
	人間基礎科目群	健康科学論	1	1			□専門科目領域(105単位以上) ①専門基礎科目群(必修) 37単位 ②専門基礎科目群(選択必修) 1単位(専門基礎科目群の選択科目から選択) ③専門科目群(必修) 66単位 ④自由選択 1単位以上(専門科目領域の選択科目から選択)
		発達心理学	1			2	
		人間関係論	1	1			
		コミュニケーション論	1・2			1	
		世界の福祉	1・2			2	
		点字の理論と実際	1・2			2	
		手話の理論と実際	1・2			2	
		異文化比較論	1・2			1	
		共生学	1・2			1	
		世界と対話	2			2	
		地域連携の理論と実際	1・2			2	
		ボランティア活動の実際	1・2			1	
	外国語科目群	英語Ⅰ・1	1	1			
		英語Ⅰ・2	1	1			
		英語Ⅱ・1	2	1			
		英語Ⅱ・2	2	1			
		英語リーディング・ライティング	1・2		1		
		英語コミュニケーション	1・2		1		
		英語会話	1・2		1		
		基礎韓国語	1・2		1		
		基礎中国語	1・2		1		
		はじめての韓国語会話	1・2		1		
		はじめての中国語会話	1・2		1		
専門科目領域	基礎医学系 専門基礎科目群	解剖学Ⅰ	1	2			
		解剖学Ⅱ	1	2			
		解剖学演習	1・2・3・4			1	
		解剖学実習	1	1			
		生理学	1	2			
		生理学演習	1	2			
		生理学実習	2	1			
		運動学Ⅰ	1	2			
		運動学Ⅱ	1	2			

Ⅱ 健康科学部〔2. カリキュラム〕

科目区分	科目名	配当年次	単位数			備考
			必修	選択必修	選択	
専門科目領域	基礎医学系	運動学実習	2	1		
		人間発達学	1	2		
		病理学	1	1		
		薬学	2	1		
		栄養学	2	2		
		公衆衛生学	1・2			1
		微生物学・免疫学	2・3			2
	臨床医学系	臨床医学総論	2	1		
		整形外科学	2	2		
		神経内科学	2	2		
		小児科学	2	1		
		内科学	2	2		
		精神医学	2	2		
		リハビリテーション医学	2	1		
	福祉学系	現代社会と福祉Ⅰ	1			2
		社会理論と社会システム	1・2			2
		社会保障論Ⅰ	1・2			2
		就労支援サービス	2	2		
		精神保健学Ⅰ	2・3			2
		精神保健学Ⅱ	2・3			2
		高齢者福祉	2・3			2
		介護福祉	2・3			2
		障害者福祉	2・3			2
	臨床人間学系	臨床心理学	2			2
		神経心理学	2	2		
		児童青年心理学	2・3			2
		障害者心理学	2・3			2
		社会心理学	2・3			2
		臨床人間学スタディーズ	2・3		2	
		臨床社会学スタディーズ	2・3		2	
		ジェンダースタディーズ	2・3		1	
		コミュニケーションスタディーズ	2・3		1	
	専門科目群	チーム医療演習	4	1		
		作業療法概論	1	2		
		基礎作業学	1	2		
		作業療法演習Ⅰ-1	2	1		
		研究法概論	2	1		
		基礎作業学演習	3	1		
		卒業研究	4			4
		作業療法管理学	3	2		
		作業療法評価学	1	2		
		身体作業療法評価学演習	2	2		
		精神作業療法評価学演習	2	2		
		発達作業療法評価学演習	2	1		
		日常生活評価学演習	2	1		
		作業療法演習Ⅰ-2	2	1		
		身体障害作業療法治療学	2	2		
		精神障害作業療法治療学	2	2		
		老年期作業療法学	3	2		
		発達障害作業療法治療学演習	3	1		
		高次脳機能障害治療学	3	2		
		身体障害作業療法治療学演習	3	2		
		精神障害作業療法治療学演習	3	2		
		日常生活活動学演習	3	1		
		作業療法演習Ⅱ-1	3	1		
		作業療法演習Ⅱ-2	3	1		
		義肢装具学	3	2		
		作業療法学特論	4	1		
		スポーツ医学	3			1
		スポーツリハビリテーション学	3			2

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

科目区分		科目名	配当年次	単位数			備 考
				必修	選択 必修	選択	
専門科目領域	専門科目群	マニュアルセラピー	3			2	
		地域生活支援学	3	2			
		地域作業療法学	3	2			
		生活環境学演習	3			1	
		臨床実習Ⅰ（見学実習）	1	1			
		臨床実習Ⅱ（地域実習）	3	1			
		臨床実習Ⅲ（評価実習）	3	5			
		臨床実習Ⅳ（総合実習）	4	9			
		臨床実習Ⅴ（総合実習）	4	9			

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

(3) リハビリテーション学科 作業療法学コース 2023年度入学生適用

科目区分	科目名	配当年次	単位数			備 考
			必修	選択 必修	選択	
総合基礎科目領域	共通基礎科目群	基礎演習Ⅰ	1			【卒業所要単位】 □総合基礎科目領域(25単位以上) ①共通基礎科目群(必修) 8単位 ②人間基礎科目群(必修) 2単位 ③外国語科目群(必修) 4単位 ④外国語科目群(選択必修) 1単位(外国語科目群の選択必修 科目から選択) ⑤自由選択 10単位以上(総合基礎科目領域 の選択科目及び選択必修科目か ら選択) □専門科目領域(105単位以上) ①専門基礎科目群(必修) 37単位 ②専門基礎科目群(選択必修) 1単位(専門基礎科目群の選択 科目から選択) ③専門科目群(必修) 66単位 ④自由選択 1単位以上(専門科目領域の選択 科目から選択)
		基礎演習Ⅱ	1			
		人権と法	1・2		2	
		教育原理	1・2		2	
		経済と経営	1・2		2	
		現代医療史	1・2		1	
		宗教学	1・2		1	
		現代社会と倫理	1・2		1	
		情報リテラシー	1	1		
		基礎数学演習	1	1		
		物理基礎	1	1		
		化学基礎	1	1		
		統計学	1	2		
		心理学と心理的支援(心理学概論)	1・2		2	
		人間学	1・2		1	
		生命学	1・2		1	
		比較行動学	1・2		2	
		山梨の自然と文化・産業	1・2		2	
		富士山と環境	1・2		2	
		生活健康学	1・2		2	
		スポーツの理論と実際	1・2		1	
	人間基礎科目群	健康科学論	1	1		
		発達心理学	1		2	
		人間関係論	1	1		
		コミュニケーション論	1・2		1	
		世界の福祉	1・2		2	
		点字の理論と実際	1・2		2	
		手話の理論と実際	1・2		2	
		異文化比較論	1・2		1	
		共生学	1・2		1	
		世界と対話	2		2	
		地域連携の理論と実際	1・2		2	
		ボランティア活動の実際	1・2		1	
	外国語科目群	英語Ⅰ-1	1	1		
		英語Ⅰ-2	1	1		
		英語Ⅱ-1	2	1		
		英語Ⅱ-2	2	1		
		英語リーディング・ライティング	1・2		1	
		英語コミュニケーション	1・2		1	
		英語会話	1・2		1	
		基礎韓国語	1・2		1	
		基礎中国語	1・2		1	
		はじめての韓国語会話	1・2		1	
		はじめての中国語会話	1・2		1	
専門科目領域	基礎医学系 専門基礎科目群	解剖学Ⅰ	1	2		1単位以上(専門科目領域の選択 科目から選択)
		解剖学Ⅱ	1	2		
		解剖学演習	1・2・3・4		1	
		解剖学実習	1	1		
		生理学	1	2		
		生理学演習	1	2		
		生理学実習	2	1		
		運動学Ⅰ	1	2		
		運動学Ⅱ	2	2		

科目区分			科目名	配当年次	単位数			備考
					必修	選択必修	選択	
専門科目領域	専門基礎科目群	基礎医学系	運動学実習	2	1			
			人間発達学	2	2			
			病理学	1	1			
			薬学	2	1			
			栄養学	2	2			
			公衆衛生学	1・2			1	
			微生物学・免疫学	2・3			2	
		臨床医学系	臨床医学総論	2	1			
			整形外科科学	2	2			
			神経内科学	2	2			
			小児科学	2	1			
			内科学	2	2			
			精神医学	2	2			
			リハビリテーション医学	2	1			
		福祉学系	現代社会と福祉Ⅰ	1			2	
			社会理論と社会システム	1・2			2	
			社会保障論Ⅰ	1・2			2	
			就労支援サービス	2	2			
			精神保健学Ⅰ	2・3			2	
			精神保健学Ⅱ	2・3			2	
			高齢者福祉	2・3			2	
			介護福祉	2・3			2	
			障害者福祉	2・3			2	
		臨床人間学系	臨床心理学	2			2	
			神経心理学	2	2			
			児童青年心理学	2・3			2	
			障害者心理学	2・3			2	
			社会心理学	2・3			2	
			臨床人間学スタディーズ	2・3		2		
			臨床社会学スタディーズ	2・3		2		
			ジェンダースタディーズ	2・3		1		
			コミュニケーションスタディーズ	2・3		1		
			チーム医療演習	4	1			
	専門科目群		作業療法概論	1	2			
			基礎作業学	1	2			
			作業療法演習Ⅰ・1	2	1			
			研究法概論	2	1			
			基礎作業学演習	3	1			
			卒業研究	4			4	
			作業療法管理学	3	2			
			作業療法評価学	1	2			
			身体作業療法評価学演習	2	2			
			精神作業療法評価学演習	2	2			
			発達作業療法評価学演習	2	1			
			日常生活評価学演習	2	1			
			作業療法演習Ⅰ・2	2	1			
			身体障害作業療法治療学	2	2			
			精神障害作業療法治療学	2	2			
			老年期作業療法学	3	2			
			発達障害作業療法治療学演習	3	1			
			高次脳機能障害治療学	3	2			
			身体障害作業療法治療学演習	3	2			
			精神障害作業療法治療学演習	3	2			
			日常生活活動学演習	3	1			
			作業療法演習Ⅱ・1	3	1			
			作業療法演習Ⅱ・2	3	1			
			義肢装具学	3	2			
			作業療法学特論	4	1			
			スポーツ医学	3			1	
			スポーツリハビリテーション学	3			2	

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

科目区分		科 目 名	配当年次	単位数			備 考
				必修	選択 必修	選択	
専門科目領域	専門科目群	マニュアルセラピー	3			2	
		地域生活支援学	3	2			
		地域作業療法学	3	2			
		生活環境学演習	3			1	
		臨床実習Ⅰ（見学実習）	1	1			
		臨床実習Ⅱ（地域実習）	3	1			
		臨床実習Ⅲ（評価実習）	3	5			
		臨床実習Ⅳ（総合実習）	4	9			
		臨床実習Ⅴ（総合実習）	4	9			

(4) 作業療法学科 2020年度から2022年度入学生適用

科目区分		科目名	配当年次	単位数			備 考
				必修	選択必修	選択	
総合基礎科目領域	共通基礎科目群	基礎演習Ⅰ	1	1			【卒業所要単位】 □総合基礎科目領域(25単位以上) ①共通基礎科目群(必修) 8単位 ②人間基礎科目群(必修) 2単位 ③外国語科目群(必修) 4単位 ④外国語科目群(選択必修) 1単位(外国語科目群の選択必修科目から選択) ⑤自由選択 10単位以上(総合基礎科目領域の選択科目及び選択必修科目から選択)
		基礎演習Ⅱ	1	1			
		人権と法	1・2			2	
		教育原理	1・2			2	
		経済と経営	1・2			2	
		現代医療史	1・2			1	
		宗教学	1・2			1	
		現代社会と倫理	1・2			1	
		情報リテラシー	1	1			
		基礎数学演習	1	1			
		物理基礎	1	1			
		化学基礎	1	1			
		統計学	1	2			
		心理学	1・2			2	
		人間学	1・2			1	
		生命学	1・2			1	
		比較行動学	1・2			2	
		山梨の自然と文化・産業	1・2			2	
		富士山と環境	1・2			2	
		生活健康学	1・2			2	
		スポーツの理論と実際	1・2			1	
	人間基礎科目群	健康科学論	1	1			□専門科目領域(105単位以上) ①専門基礎科目群(必修) 37単位 ②専門基礎科目群(選択必修) 1単位(専門基礎科目群の選択科目から選択) ③専門科目群(必修) 66単位 ④自由選択 1単位以上(専門科目領域の選択科目から選択)
		発達心理学	1			2	
		人間関係論	1	1			
		コミュニケーション論	1・2			1	
		世界の福祉	1・2			2	
		点字の理論と実際	1・2			2	
		手話の理論と実際	1・2			2	
		異文化比較論	1・2			1	
		共生学	1・2			1	
		世界と対話	2			2	
		地域連携の理論と実際	1・2			2	
		ボランティア活動の実際	1・2			1	
	外国語科目群	リハビリテーション特別講義Ⅰ	1・2			1	
		リハビリテーション特別講義Ⅱ	1・2			1	
		英語Ⅰ・1	1	1			
		英語Ⅰ・2	1	1			
		英語Ⅱ・1	2	1			
		英語Ⅱ・2	2	1			
		英語リーディング・ライティング	1・2		1		
		英語コミュニケーション	1・2		1		
		英語会話	1・2		1		
		基礎韓国語	1・2		1		
		基礎中国語	1・2		1		
		はじめての韓国語会話	1・2		1		
		はじめての中国語会話	1・2		1		
専門科目領域	基礎医学系 専門基礎科目群	解剖学Ⅰ	1	2			
		解剖学Ⅱ	1	2			
		解剖学演習	1・2・3・4			1	
		解剖学実習	1	1			
		生理学	1	2			
		生理学演習	1	2			
		生理学実習	2	1			
		運動学Ⅰ	1	2			
		運動学Ⅱ	2	2			

Ⅱ 健康科学部〔2. カリキュラム〕

科目区分	科目名	配当年次	単位数			備考
			必修	選択必修	選択	
専門科目領域	基礎医学系	運動学実習	2	1		
		人間発達学	2	2		
		病理学	1	1		
		薬学	2	1		
		栄養学	2	2		
		公衆衛生学	1・2			1
		微生物学・免疫学	2・3			2
	臨床医学系	臨床医学総論	2	1		
		整形外科学	2	2		
		神経内科学	2	2		
		小児科学	2	1		
		内科学	2	2		
		精神医学	2	2		
		リハビリテーション医学	2	1		
	福祉学系	現代社会と福祉Ⅰ	1			2
		社会理論と社会システム	1・2			2
		社会保障論Ⅰ	1・2			2
		就労支援サービス	2	2		
		精神保健学Ⅰ	2・3			2
		精神保健学Ⅱ	2・3			2
		高齢者福祉	2・3			2
		介護福祉	2・3			2
		障害者福祉	2・3			2
	臨床人間学系	臨床心理学	2			2
		神経心理学	2	2		
		児童青年心理学	2・3			2
		障害者心理学	2・3			2
		社会心理学	2・3			2
		臨床人間学スタディーズ	2・3		2	
		臨床社会学スタディーズ	2・3		2	
		ジェンダースタディーズ	2・3		1	
		コミュニケーションスタディーズ	2・3		1	
	専門科目群	チーム医療演習	4	1		
		作業療法概論	1	2		
		基礎作業学	1	2		
		作業療法演習Ⅰ-1	2	1		
		研究法概論	2	1		
		基礎作業学演習	3	1		
		卒業研究	4			4
		作業療法管理学	3	2		
		作業療法評価学	1	2		
		身体作業療法評価学演習	2	2		
		精神作業療法評価学演習	2	2		
		発達作業療法評価学演習	2	1		
		日常生活評価学演習	2	1		
		作業療法演習Ⅰ-2	2	1		
		身体障害作業療法治療学	2	2		
		精神障害作業療法治療学	2	2		
		老年期作業療法学	3	2		
		発達障害作業療法治療学演習	3	1		
		高次脳機能障害治療学	3	2		
		身体障害作業療法治療学演習	3	2		
		精神障害作業療法治療学演習	3	2		
		日常生活活動学演習	3	1		
		作業療法演習Ⅱ-1	3	1		
		作業療法演習Ⅱ-2	3	1		
		義肢装具学	3	2		
		作業療法学特論	4	1		
		スポーツ医学	3			1
		スポーツ理学療法学	3			2

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

科目区分		科目名	配当年次	単位数			備 考
				必修	選択 必修	選択	
専門科目領域	専門科目群	マニュアルセラピー	3			2	
		地域生活支援学	3	2			
		地域作業療法学	3	2			
		生活環境学演習	3			1	
		臨床実習Ⅰ（見学実習）	1	1			
		臨床実習Ⅱ（地域実習）	3	1			
		臨床実習Ⅲ（評価実習）	3	5			
		臨床実習Ⅳ（総合実習）	4	9			
		臨床実習Ⅴ（総合実習）	4	9			

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

3) 人間コミュニケーション学科

(1) 2025年度以降入学生・2025年度1年次転学科生適用

科目区分		科目名	配当年次	単位数			備 考
				必修	選択必修	選択	
総合基礎科目領域	共通基礎科目群	基礎演習Ⅰ	1	1			【卒業所要単位】 総合基礎科目領域(25単位以上) ①共通基礎科目群(必修) 5単位 ②人間基礎科目群(必修) 5単位 ③人間基礎科目群(選択必修) 1単位(人間基礎科目群の選択必修科目から選択) ④外国語科目群(必修) 4単位 ⑤外国語科目群(選択必修) 1単位(外国語科目群の選択必修科目から選択) ⑥自由選択 9単位以上(総合基礎科目領域の選択科目及び選択必修科目から選択)
		基礎演習Ⅱ	1	1			
		人権と法	1・2			2	
		教育原理	1・2			2	
		経済と経営	1・2			2	
		現代医療史	1・2			1	
		宗教学	1・2			1	
		現代社会と倫理	1・2			1	
		情報リテラシー	1	1			
		基礎数学演習	1			1	
		物理基礎	1			1	
		化学基礎	1			1	
		統計学	1			2	
		心理学概論	1	2			
		人間学	1・2			1	
		生命学	1・2			1	
		比較行動学	1・2			2	
		山梨の自然と文化・産業	1・2			2	
		富士山と環境	1・2			2	
		生活健康学	1・2			2	
		日本語表現法	1			1	
		スポーツの理論と実際	1・2			1	
	人間基礎科目群	健康科学論	1	1			⑥自由選択 9単位以上(総合基礎科目領域の選択科目及び選択必修科目から選択)
		発達心理学	1	2			
		人間関係論	1	1			
		コミュニケーション論	1・2	1			
		世界の福祉	1・2			2	
		点字の理論と実際	1・2			2	
		手話の理論と実際	1・2			2	
		異文化比較論	1・2			1	
		共生学	1・2			1	
		世界と対話	2			2	
		地域連携の理論と実際	1・2			2	
		ボランティア活動の実際	1・2			1	
		リハビリテーション特別講義Ⅰ	1・2			1	
		リハビリテーション特別講義Ⅱ	1・2			1	
	外国語科目群	英語Ⅰ-1	1	1			①専門基礎科目群(必修) 14単位 ②専門基礎科目群(選択必修) 1単位(専門基礎科目群基礎医学系の選択科目から1単位以上、専門基礎科目群臨床人間学系の選択科目から1単位以上選択) ③専門科目群(必修) 32単位 ④自由選択 52単位以上(専門科目領域の選択科目から選択)
		英語Ⅰ-2	1	1			
		英語Ⅱ-1	2	1			
		英語Ⅱ-2	2	1			
		英語リーディング・ライティング	1・2		1		
		英語リーディング・ライティング(advanced)	1・2・3・4		1		
		英会話	1・2		1		
		英会話(advanced)	1・2・3・4		1		
専門科目領域	専門基礎科目群	基礎医学系	解剖学Ⅰ	1・2		2	
			解剖学Ⅱ	1・2		2	
			解剖学演習	1・2・3・4		1	
			解剖学実習	1・2		1	
			生理学	1・2		2	
			生理学演習	1・2		2	
			生理学実習	2・3		1	
			運動学Ⅰ	1・2		2	

科目区分			科目名	配当年次	単位数			備考
					必修	選択必修	選択	
専門基礎科目群	基礎医学系		運動学Ⅱ	1・2			2	
			運動学実習	2・3			1	
			人間発達学	1・2			2	
			病理学	1・2			1	
			薬学	2・3			1	
			栄養学	2・3・4			2	
			公衆衛生学	1・2			1	
			微生物学・免疫学	2・3			2	
			臨床医学総論	2・3			1	
			整形外科学	2・3			2	
	臨床医学系		神経内科学	2・3			2	
			小児科学	2・3			1	
			内科学	2・3			2	
			リハビリテーション医学	2・3			1	
			精神疾患とその治療Ⅰ	2	2			
			社会学	1	2			
			現代社会と福祉	1	2			
	福祉学系		障害者福祉	2	2			
			高齢者福祉	2・3			2	
			メンタルヘルスの課題と支援Ⅰ	2・3			2	
			メンタルヘルスの課題と支援Ⅱ	2・3			2	
			臨床心理学概論	1	2			
	臨床人間学系		社会・集団・家族心理学	1	2			
			神経・生理心理学	2	2			
			障害者・障害児心理学	2・3			2	
			児童青年心理学	2・3			2	
			臨床人間学スタディーズ	2・3		2		
			臨床社会学スタディーズ	2・3		2		
			ジェンダースタディーズ	2・3		1		
			コミュニケーションスタディーズ	2・3		1		
	専門科目群		ホスピタリティ経営と顧客価値の創造	1	2			
			人体の構造と機能及び疾病	1	2			
			学習・言語心理学	1	2			
			社会調査の基礎	2	2			
			感情・人格心理学	2	2			
			精神疾患とその治療Ⅱ	3	2			
			社会保障Ⅰ	3	2			
			社会保障Ⅱ	3	2			
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	1・2			2	
			ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	1・2			2	
			地域福祉	2・3			2	
			子ども家庭福祉	2・3			2	
			権利擁護を支える法制度	2・3			2	
			貧困に対する支援	2・3			2	
			心理学実験	1・2			2	
			知覚・認知心理学	1・2			2	
			心理学統計法	2・3			2	
			心理学研究法	2・3			2	
			心理的アセスメント	2・3			2	
			心理学的支援法	2・3			2	
			教育・学校心理学	2・3			2	
			産業・組織心理学	2・3			2	
			司法・犯罪心理学	2・3			2	
			健康・医療心理学	2・3			2	
			自己表現とコミュニケーション分析 (Basic)	1・2			2	
			自己表現とコミュニケーション分析 (Advance)	1・2			2	
			自己表現とコミュニケーション分析 (Expert)	2・3			2	
			ストレスマネジメント	1・2			2	

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

科目区分	科目名	配当年次	単位数			備考
			必修	選択必修	選択	
専門科目領域	専門科目群	ストレングスマネジメント	1・2		2	
		イノベーションマネジメント	2・3		2	
		笑い・ユーモアとコミュニケーション	1・2		2	
		個性・性格とコミュニケーション	1・2		2	
		増悪・怒りとコミュニケーション	2・3		2	
		神経科学・脳科学とコミュニケーション	2・3		2	
		ダーク&ミスコミュニケーション	2・3		2	
		ラブ&ジェンダーコミュニケーション	2・3		2	
		デザイン&ライフコミュニケーション	2・3		2	
		アート&デジタルコミュニケーション	2・3		2	
		業界理解とインターンシップⅠ	2		1	
		業界理解とインターンシップⅡ	3		2	
		コミュニケーション・プロジェクトHC-1	2・3		2	
		コミュニケーション・プロジェクトHC-2	2・3		2	
		コミュニケーション・プロジェクトHC-3	2・3		2	
		コミュニケーション・プロジェクトHC-4	2・3		2	
		コミュニケーション・プロジェクトHC-5	2・3		2	
		コミュニケーション・プロジェクトHC-6	2・3		2	
		福祉心理学基盤演習Ⅰ	1	2		
		福祉心理学基盤演習Ⅱ	1	2		
		福祉心理学基盤演習Ⅲ	2	2		
		福祉心理学基盤演習Ⅳ	2	2		
		福祉心理学専門演習Ⅰ	3	2		
		福祉心理学専門演習Ⅱ	3	2		
		福祉心理学専門演習Ⅲ	4	2		
		福祉心理学専門演習Ⅳ	4	2		
		卒業研究	4		4	

(2) 2024年度以前入学生・2024年度以前転学科生／2025年度2, 3年年次転学科生適用

科目区分			配当年次	単位数			備 考
				必修	選択 必修	選択	
総合基礎科目領域	共通基礎科目群	基礎演習Ⅰ	1	1			【卒業所要単位】 □総合基礎科目領域(25単位以上) ①共通基礎科目群(必修) 5単位 ②人間基礎科目群(必修) 5単位 ③人間基礎科目群(選択必修) 1単位(人間基礎科目群の選択必修科目から選択) ④外国語科目群(必修) 4単位 ⑤外国語科目群(選択必修) 1単位(外国語科目群の選択必修科目から選択) ⑥自由選択 9単位以上(総合基礎科目領域の選択科目及び選択必修科目から選択) □専門科目領域(105単位以上) ①専門基礎科目群(必修) 15単位 ②専門基礎科目群(選択必修) 2単位(専門基礎科目群基礎医学系の選択科目から1単位以上、専門基礎科目群臨床人間学系の選択科目から1単位以上選択) ③専門科目群(必修) 28単位 ④自由選択 60単位以上(専門科目領域の選択科目から選択)
		基礎演習Ⅱ	1	1			
		人権と法	1・2			2	
		教育原理	1・2			2	
		経済と経営	1・2			2	
		現代医療史	1・2			1	
		宗教学	1・2			1	
		現代社会と倫理	1・2			1	
		情報リテラシー	1	1			
		基礎数学演習	1			1	
		物理基礎	1			1	
		化学基礎	1			1	
		統計学	1			2	
		心理学と心理的支援(心理学概論)	1	2			
		人間学	1・2			1	
		生命学	1・2			1	
		比較行動学	1・2			2	
		山梨の自然と文化・産業	1・2			2	
		富士山と環境	1・2			2	
		生活健康学	1・2			2	
		スポーツの理論と実際	1・2			1	
	人間基礎科目群	健康科学論	1	1			
		発達心理学	1	2			
		人間関係論	1	1			
		コミュニケーション論	1・2	1			
		世界の福祉	1・2			2	
		点字の理論と実際	1・2			2	
		手話の理論と実際	1・2			2	
		異文化比較論	1・2			1	
		共生学	1・2			1	
		世界と対話	2			2	
		地域連携の理論と実際	1・2			2	
		ボランティア活動の実際	1・2			1	
		リハビリテーション特別講義Ⅰ	1・2			1	
		リハビリテーション特別講義Ⅱ	1・2			1	
	外国語科目群	地域づくりとコミュニケーション	1・2		1		
		ホスピタリティコミュニケーション	1・2		1		
		英語Ⅰ-1	1	1			
		英語Ⅰ-2	1	1			
		英語Ⅱ-1	2	1			
		英語Ⅱ-2	2	1			
		英語リーディング・ライティング	1・2		1		
		英語コミュニケーション	1・2		1		
		英語会話	1・2		1		
		基礎韓国語	1・2		1		
専門科目領域	専門基礎科目群	基礎中国語	1・2		1		
		はじめての韓国語会話	1・2		1		
		はじめての中国語会話	1・2		1		
		解剖学Ⅰ	1			2	
		解剖学Ⅱ	2			2	
		解剖学演習	1・2・3・4			1	
		解剖学実習	1			1	
		生理学	1			2	
		生理学演習	1			2	
		生理学実習	2			1	
		運動学Ⅰ	1			2	

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

科目区分	科目名	配当年次	単位数			備 考
			必修	選択必修	選択	
専門基礎科目群	基礎医学系	運動学Ⅱ	1・2		2	ソーシャルワーク演習(30時間) ソーシャルワーク演習(専門) a (30時間) ソーシャルワーク演習(専門) b (30時間) ソーシャルワーク演習(専門) c (30時間) ソーシャルワーク演習(専門) d (30時間) ソーシャルワーク実習指導 a (30時間) ソーシャルワーク実習指導 b (30時間) ソーシャルワーク実習指導 c (30時間) ソーシャルワーク実習 a (60時間) ソーシャルワーク実習 b (180時間)
		運動学実習	2		1	
		人間発達学	1		2	
		病理学	1		1	
		薬学	2・3		1	
		栄養学	2・3・4		2	
		公衆衛生学	1・2	1		
		感染症対策の実際	1・2	1		
		微生物学・免疫学	2・3		2	
	臨床医学系	臨床医学総論	2		1	
		整形外科学	2		2	
		神経内科学	2		2	
		小児科学	2		1	
		内科学	2		2	
		リハビリテーション医学	2・3		1	
		精神医学と精神医療A(精神疾患とその治療1)	2	2		
	福祉学系	社会福祉の原理と政策 a	1	2		
		社会学と社会システム	1	2		
		障害者福祉	2	2		
		高齢者福祉	2		2	
		現代の精神保健の課題と支援A	2		2	
		現代の精神保健の課題と支援B	2		2	
	臨床人間学系	臨床心理学概論	1	2		
		社会・集団・家族心理学	1	2		
		神経・生理心理学	2	2		
		障害者・障害児心理学	2		2	
		児童青年心理学	2		2	
		臨床人間学スタディーズ	2・3	2		
		臨床社会学スタディーズ	2・3	2		
		ジェンダースタディーズ	2・3	1		
		コミュニケーションスタディーズ	2・3	1		
		チーム医療演習	4	1		
	専門科目群	医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	1	2		
		ソーシャルワークの基盤と専門職	1		2	
		ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	1		2	
		ソーシャルワークの理論と方法 a	1		2	
		ソーシャルワークの理論と方法 b	1		2	
		精神保健福祉の原理 A	1		2	
		社会福祉調査の基礎	2	2		
		地域福祉と包括的支援体制 a	2		2	
		権利擁護を支える法制度	2		2	
		ソーシャルワーク演習	2		2	
		児童・家庭福祉	2		2	
		貧困に対する支援	2		2	
		ソーシャルワークの理論と方法(専門) a	2		2	
		ソーシャルワークの理論と方法(専門) b	2		2	
		ソーシャルワーク演習(専門) a	2		2	
		ソーシャルワーク実習指導 a	2		2	
		ソーシャルワーク実習 a	2		1	
		ソーシャルワークの理論と方法(専門) A	2		2	
		ソーシャルワークの理論と方法(専門) B	2		2	
		精神医学と精神医療B(精神疾患とその治療2)	3	2		
		社会福祉の原理と政策 b	3		2	
		地域福祉と包括的支援体制 b	3		2	
		社会保障 a	3	2		
		社会保障 b	3	2		
		刑事司法と福祉	3		2	
		福祉サービスの組織と経営	3		2	
		保健医療と福祉	3		2	
		ソーシャルワーク演習(専門) b	3		2	

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

科目区分	科目名	配当年次	単位数			備 考
			必修	選択必修	選択	
専門科目領域	専門科目群	ソーシャルワーク演習(専門) c	3		2	ソーシャルワーク演習(専門)A(30 時間)
		ソーシャルワーク実習指導 b	3		2	ソーシャルワーク演習(専門)B(30 時間)
		精神障害リハビリテーション論	3		2	ソーシャルワーク演習(専門)C(30 時間)
		精神保健福祉制度論	3		2	ソーシャルワーク実習指導 A(30 時間)
		精神保健福祉の原理B	3		2	ソーシャルワーク実習指導 B(30 時間)
		ソーシャルワーク演習(専門) A	3		2	ソーシャルワーク実習指導 C(30 時間)
		ソーシャルワーク実習指導A	3		2	ソーシャルワーク実習 A(120 時間)
		ソーシャルワーク実習 b	3・4		4	ソーシャルワーク実習 B(90 時間)
		ソーシャルワーク演習(専門) d	4		2	心理演習 1 (30 時間) 心理演習 2 (30 時間) 心理実習 1 (80 時間) 心理実習 2 (80 時間)
		ソーシャルワーク実習指導 c	4		2	
		ソーシャルワーク演習(専門) B	4		2	
		ソーシャルワーク演習(専門) C	4		2	
		ソーシャルワーク実習指導B	4		2	
		ソーシャルワーク実習指導C	4		2	
		ソーシャルワーク実習 A	4		2	
		ソーシャルワーク実習 B	4		2	
		心理学実験 1	1		1	
		知覚・認知心理学	1		2	
		学習・言語心理学	1	2		
		心理学統計法	2		2	
		心理学実験 2	2		1	
		感情・人格心理学	2	2		
		健康・医療心理学	2		2	
		コミュニケーション演習	2		1	
		公認心理師の職責	3		2	
		心理学研究法	3		2	
		心理的アセスメント	3		2	
		心理学的支援法	3		2	
		福祉心理学	3		2	
		教育・学校心理学	3		2	
		司法・犯罪心理学	3		2	
		産業・組織心理学	3		2	
		関係行政論	3		2	
		心理演習 1	3		1	
		心理実習 1	3		2	
		心理演習 2	4		1	
		心理実習 2	4		2	
		ダーク&ミスコミュニケーション	2・3		1	
		ラブ&ジェンダーコミュニケーション	2・3		1	
		デザイン&ライフコミュニケーション	2・3		1	
		アート&デジタルコミュニケーション	2・3		1	
		コミュニケーション・プロジェクト HC-1	2・3		2	
		コミュニケーション・プロジェクト HC-2	2・3		2	
		コミュニケーション・プロジェクト HC-3	2・3		2	
		コミュニケーション・プロジェクト HC-4	2・3		2	
		コミュニケーション・プロジェクト HC-5	2・3		2	
		コミュニケーション・プロジェクト HC-6	2・3		2	
		福祉心理学基盤演習Ⅰ	1	1		
		福祉心理学基盤演習Ⅱ	1	1		
		福祉心理学基盤演習Ⅲ	2	2		
		福祉心理学基盤演習Ⅳ	2	2		
		福祉心理学専門演習Ⅰ	3	2		
		福祉心理学専門演習Ⅱ	3	2		
		福祉心理学専門演習Ⅲ	4	2		
		福祉心理学専門演習Ⅳ	4	2		
		卒業研究	4		4	

※ 2 年次転学科生については、専門科目領域 専門科目群 福祉心理学基盤演習Ⅰおよび福祉心理学基盤演習Ⅱが教育課程表から除外されます。

※ 3, 4 年次転学科生については、専門科目領域 専門科目群 福祉心理学基盤演習Ⅰ、福祉心理学基盤演習Ⅱ、福祉心理学基盤演習Ⅲ、および福祉心理学基盤演習Ⅳが教育課程表から除外されます。

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

(3) 編入学生適用

科目区分		科目名	配当年次	単位数			備 考
				必修	選択必修	選択	
総合基礎科目領域	共通基礎科目群	基礎演習Ⅰ	3			1	【卒業所要単位】 □総合基礎科目領域(2 5 単位以上) ①共通基礎科目群(必修) 2 単位 ②人間基礎科目群(必修) 3 単位 ③人間基礎科目群(選択必修) 1 単位(人間基礎科目群の選択必修科目から選択) ④自由選択 1 9 単位以上(総合基礎科目領域の選択科目及び選択必修科目から選択)
		基礎演習Ⅱ	3			1	
		人権と法	3			2	
		教育原理	3			2	
		経済と経営	3			2	
		現代医療史	3			1	
		宗教学	3			1	
		現代社会と倫理	3			1	
		情報リテラシー	3			1	
		基礎数学演習	3			1	
		物理基礎	3			1	
		化学基礎	3			1	
		統計学	3			2	
		心理学と心理的支援(心理学概論)	3	2			
		人間学	3			1	
		生命学	3			1	
		比較行動学	3			2	
		山梨の自然と文化・産業	3			2	
		富士山と環境	3			2	
		生活健康学	3			2	
		スポーツの理論と実際	3			1	
	人間基礎科目群	健康科学論	3	1			専門科目領域(1 0 5 単位以上) ①専門基礎科目群(必修) 1 1 単位 ②専門科目群(必修) 1 4 単位 ③自由選択 8 0 単位以上(専門科目領域の選択科目から選択)
		発達心理学	3	2			
		人間関係論	3			1	
		コミュニケーション論	3			1	
		世界の福祉	3			2	
		点字の理論と実際	3			2	
		手話の理論と実際	3			2	
		異文化比較論	3			1	
		共生学	3			1	
		世界と対話	3			2	
		地域連携の理論と実際	3			2	
		ボランティア活動の実際	3			1	
		リハビリテーション特別講義Ⅰ	3			1	
		リハビリテーション特別講義Ⅱ	3			1	
	外国語科目群	地域づくりとコミュニケーション	3		1		
		ホスピタリティコミュニケーション	3		1		
		英語Ⅰ-1	3			1	
		英語Ⅰ-2	3			1	
		英語Ⅱ-1	3			1	
		英語Ⅱ-2	3			1	
		英語リーディング・ライティング	3			1	
		英語コミュニケーション	3			1	
		英語会話	3			1	
		基礎韓国語	3			1	
		基礎中国語	3			1	
		はじめての韓国語会話	3			1	
		はじめての中国語会話	3			1	
専門科目領域	基礎医学系	解剖学Ⅰ	3			2	
		解剖学Ⅱ	3			2	
		解剖学演習	3・4			1	
		解剖学実習	3			1	
		生理学	3			2	
		生理学演習	3			2	
		生理学実習	3			1	
		運動学Ⅰ	3			2	

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

科目区分			科目名	配当年次	単位数			備 考
					必修	選択必修	選択	
専門科目領域	専門基礎科目群	基礎医学系	運動学Ⅱ	3			2	ソーシャルワーク演習(30 時間) ソーシャルワーク演習(専門) a (30 時間) ソーシャルワーク演習(専門) b (30 時間) ソーシャルワーク演習(専門) c (30 時間) ソーシャルワーク演習(専門) d (30 時間) ソーシャルワーク実習指導 a (30 時間) ソーシャルワーク実習指導 b (30 時間) ソーシャルワーク実習指導 c (30 時間) ソーシャルワーク実習 a (60 時間) ソーシャルワーク実習 b (180 時間)
			運動学実習	3			1	
			人間発達学	3			2	
			病理学	3			1	
			薬学	3			1	
			栄養学	3・4			2	
			公衆衛生学	3			1	
			感染症対策の実際	3			1	
			微生物学・免疫学	3			2	
		臨床医学系	臨床医学総論	3			2	
			整形外科	3			2	
			神経内科学	3			2	
			小児科学	3			1	
			内科学	3			2	
			リハビリテーション医学	3			1	
			精神医学と精神医療 A(精神疾患とその治療 1)	3	2			
		福祉学系	社会福祉の原理と政策 a	3	2			
			社会学と社会システム	3	2			
			障害者福祉	3	2			
			高齢者福祉	3			2	
			現代の精神保健の課題と支援 A	3			2	
			現代の精神保健の課題と支援 B	3			2	
		臨床人間学系	臨床心理学概論	3	2			
			社会・集団・家族心理学	3			2	
			神経・生理心理学	3			2	
			障害者・障害児心理学	3			2	
			児童青年心理学	3			2	
			臨床人間学スタディーズ	3			2	
			臨床社会学スタディーズ	3			2	
			ジェンダースタディーズ	3			1	
			コミュニケーションスタディーズ	3			1	
			チーム医療演習	4	1			
	専門科目群		医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	3	2			
			ソーシャルワークの基盤と専門職	3			2	
			ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	3			2	
			ソーシャルワークの理論と方法 a	3			2	
			ソーシャルワークの理論と方法 b	3			2	
			精神保健福祉の原理 A	3			2	
			社会福祉調査の基礎	3	2			
			地域福祉と包括的支援体制 a	3			2	
			権利擁護を支える法制度	3			2	
			ソーシャルワーク演習	3			2	
			児童・家庭福祉	3			2	
			貧困に対する支援	3			2	
			ソーシャルワークの理論と方法(専門) a	3			2	
			ソーシャルワークの理論と方法(専門) b	3			2	
			ソーシャルワーク演習(専門) a	3			2	
			ソーシャルワーク実習指導 a	3			2	
			ソーシャルワーク実習 a	3			1	
			ソーシャルワークの理論と方法(専門) A	3			2	
			ソーシャルワークの理論と方法(専門) B	3			2	
			精神医学と精神医療 B(精神疾患とその治療 2)	3・4	2			
			社会福祉の原理と政策 b	3・4			2	
			地域福祉と包括的支援体制 b	3・4			2	
			社会保障 a	3			2	
			社会保障 b	3			2	
			刑事司法と福祉	3・4			2	
			福祉サービスの組織と経営	3・4			2	
			保健医療と福祉	3・4			2	
			ソーシャルワーク演習(専門) b	4			2	

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

科目区分	科目名	配当年次	単位数			備 考
			必修	選択必修	選択	
専門科目領域	専門科目群	ソーシャルワーク演習(専門) c	4		2	ソーシャルワーク演習(専門)A(30 時間)
		ソーシャルワーク実習指導 b	4		2	ソーシャルワーク演習(専門)B(30 時間)
		精神障害リハビリテーション論	3・4		2	ソーシャルワーク演習(専門)C(30 時間)
		精神保健福祉制度論	3		2	ソーシャルワーク実習指導A(30 時間)
		精神保健福祉の原理B	3		2	ソーシャルワーク実習指導B(30 時間)
		ソーシャルワーク演習(専門) A	4		2	ソーシャルワーク実習指導C(30 時間)
		ソーシャルワーク実習指導A	3		2	ソーシャルワーク実習A(120 時間)
		ソーシャルワーク実習 b	3・4		4	ソーシャルワーク実習B(90 時間)
		ソーシャルワーク演習(専門) d	4		2	
		ソーシャルワーク実習指導 c	4		2	心理演習 1 (30 時間)
		ソーシャルワーク演習(専門) B	4		2	心理演習 2 (30 時間)
		ソーシャルワーク演習(専門) C	4		2	心理実習 1 (80 時間)
		ソーシャルワーク実習指導B	4		2	心理実習 2 (80 時間)
		ソーシャルワーク実習指導C	4		2	
		ソーシャルワーク実習A	4		2	
		ソーシャルワーク実習B	4		2	
		心理学実験 1	3		1	
		知覚・認知心理学	3		2	
		学習・言語心理学	3		2	
		心理学統計法	3		2	
		心理学実験 2	3		1	
		感情・人格心理学	3		2	
		健康・医療心理学	3		2	
		コミュニケーション演習	3		1	
		公認心理師の職責	3・4		2	
		心理学研究法	3		2	
		心理的アセスメント	3・4		2	
		心理学的支援法	3		2	
		福祉心理学	3		2	
		教育・学校心理学	3		2	
		司法・犯罪心理学	3・4		2	
		産業・組織心理学	3・4		2	
		関係行政論	3・4		2	
		心理演習 1	3		1	
		心理実習 1	3		2	
		心理演習 2	4		1	
		心理実習 2	4		2	
		ダーク&ミスコミュニケーション	3・4		1	
		ラブ&ジェンダーコミュニケーション	3・4		1	
		デザイン&ライフコミュニケーション	3・4		1	
		アート&デジタルコミュニケーション	3・4		1	
		コミュニケーション・プロジェクト HC-1	3・4		2	
		コミュニケーション・プロジェクト HC-2	3・4		2	
		コミュニケーション・プロジェクト HC-3	3・4		2	
		コミュニケーション・プロジェクト HC-4	3・4		2	
		コミュニケーション・プロジェクト HC-5	3・4		2	
		コミュニケーション・プロジェクト HC-6	3・4		2	
		福祉心理学基盤演習Ⅰ	3		1	
		福祉心理学基盤演習Ⅱ	3		1	
		福祉心理学基盤演習Ⅲ	3		2	
		福祉心理学基盤演習Ⅳ	3		2	
		福祉心理学専門演習Ⅰ	3	2		
		福祉心理学専門演習Ⅱ	3	2		
		福祉心理学専門演習Ⅲ	4	2		
		福祉心理学専門演習Ⅳ	4	2		
		卒業研究	4		4	

2. 3 進級・卒業・学位

1) 単位

(1) 単位とは

単位は、各授業科目にそれぞれ設定されており、当該授業科目を履修しその試験に合格した者又は試験に代わる適切な方法を経て合格基準を満たした者に対して与えられます。

大学を卒業するためには、在学期間内に学科別に設定された卒業に必要な教育課程の所要単位を修得しなければなりません。

(2) 単位の算定基準

各授業科目に係る単位の算定基準は、次のとおりです。

- ・ 講義及び演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とします。
- ・ 実験、実習及び実技については、30時間から45時間の授業をもって1単位とします。
- ・ 一つの授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二つ以上の方法を併用して行う場合は、その組み合わせに応じて、実験、実習及び実技の算定基準を考慮して単位数を算定します。
- ・ 卒業研究等の授業科目については、必要な学修等を考慮して単位数を算定します。

2) 進級

2020年度より健康科学部のすべての学科において、各年次に進級するうえで判定制度が実施されることになりました。それぞれの学科では次のとおり進級に必要な条件(進級要件)が定められています。なお、進級要件を満たすことができなかった学生は、次の年次に進むことができず、現に在籍する年次に留まります(留年)。

(1) 進級要件

i リハビリテーション学科

①当該年度のGPAが1.0以上であること

②当該年次に配当されている専門科目領域に属する必修科目の全てに合格していること

※①と②の両方を満たすことが進級要件となります。

【理学療法学コース 専門科目領域 1～3年次 必修科目一覧】

科目区分		1年次		2年次		3年次	
専門科目領域	専門基礎科目群	解剖学Ⅰ 解剖学実習 生理学演習 運動学Ⅱ 病理学	解剖学Ⅱ 生理学 運動学Ⅰ 人間発達学	生理学実習 薬学 臨床医学総論 神経内科学 内科学 リハビリテーション医学	運動学実習 栄養学 整形外科学 小児科学 精神医学 就労支援サービス		
	専門科目群	理学療法概論 理学療法演習Ⅰ-2	理学療法演習Ⅰ-1 見学実習	運動解剖学 理学療法評価学 理学療法演習Ⅱ-1 運動器系理学療法評価学演習 内部障害系理学療法評価学演習 日常生活活動学 地域理学療法学 検査測定実習	臨床運動学 理学療法評価学実習 理学療法演習Ⅱ-2 神経系理学療法評価学演習 義肢装具学 地域理学療法学実習	理学療法研究法 クリニカルリーゼニング 運動療法学 運動器系理学療法実習 内部障害系理学療法実習 義肢装具学実習 小児理学療法学 評価実習	理学療法管理学 理学療法治療学 理学療法演習Ⅲ 神経系理学療法実習 日常生活活動学実習 物理療法学 予防理学療法学

II 健康科学部 [2. カリキュラム]

【作業療法学コース 専門科目領域 1～3年次 必修科目一覧】

(1) 2024年度以降入学生適用

科目区分		1年次		2年次		3年次	
専門科目領域	専門基礎科目群	解剖学Ⅰ 解剖学実習 生理学演習 運動学Ⅱ 病理学	解剖学Ⅱ 生理学 運動学Ⅰ 人間発達学	生理学実習 薬学 臨床医学総論 神経内科学 内科学 リハビリテーション医学 神経心理学	運動学実習 栄養学 整形外科 小児科学 精神医学 就労支援サービス		
	専門科目群	作業療法概論 作業療法評価学	基礎作業学 臨床実習Ⅰ(見学実習)	作業療法演習Ⅰ-1 身体作業療法評価学演習 発達作業療法評価学演習 作業療法演習Ⅰ-2 精神障害作業療法治療学	研究法概論 精神作業療法評価学演習 日常生活評価学演習 身体障害作業療法治療学	基礎作業学演習 老年期作業療法学 高次脳機能障害治療学 精神障害作業療法治療学演習 作業療法演習Ⅱ-1 義肢装具学 地域作業療法学 臨床実習Ⅲ(評価実習)	作業療法管理学 発達障害作業療法治療学演習 身体障害作業療法治療学演習 日常生活活動学演習 作業療法演習Ⅱ-2 地域生活支援学 臨床実習Ⅱ(地域実習)

(2) 2023年度入学生適用

科目区分		1年次		2年次		3年次	
専門科目領域	専門基礎科目群	解剖学Ⅰ 解剖学実習 生理学演習 病理学	解剖学Ⅱ 生理学 運動学Ⅰ	生理学実習 運動学実習 薬学 臨床医学総論 神経内科学 内科学 リハビリテーション医学 神経心理学	運動学Ⅱ 人間発達学 栄養学 整形外科 小児科学 精神医学 就労支援サービス		
	専門科目群	作業療法概論 作業療法評価学	基礎作業学 臨床実習Ⅰ(見学実習)	作業療法演習Ⅰ-1 身体作業療法評価学演習 発達作業療法評価学演習 作業療法演習Ⅰ-2 精神障害作業療法治療学	研究法概論 精神作業療法評価学演習 日常生活評価学演習 身体障害作業療法治療学	基礎作業学演習 老年期作業療法学 高次脳機能障害治療学 精神障害作業療法治療学演習 作業療法演習Ⅱ-1 義肢装具学 地域作業療法学 臨床実習Ⅲ(評価実習)	作業療法管理学 発達障害作業療法治療学演習 身体障害作業療法治療学演習 日常生活活動学演習 作業療法演習Ⅱ-2 地域生活支援学 臨床実習Ⅱ(地域実習)

ii 理学療法学科

- ①当該年度のGPAが1.0以上であること
 - ②当該年次に配当されている専門科目領域に属する必修科目の全てに合格していること
- ※①と②の両方を満たすことが進級要件となります。

【理学療法学科 専門科目領域 1～3年次 必修科目一覧】

(1) 2020年度から2022年度入学生適用

科目区分		1年次		2年次		3年次	
専門科目領域	専門基礎科目群	解剖学Ⅰ 解剖学実習 生理学演習 運動学Ⅱ 病理学	解剖学Ⅱ 生理学 運動学Ⅰ 人間発達学	生理学実習 薬学 臨床医学総論 神経内科学 内科学 リハビリテーション医学	運動学実習 栄養学 整形外科 小児科学 精神医学 就労支援サービス		
	専門科目群	理学療法概論 理学療法演習Ⅰ-2	理学療法演習Ⅰ-1 見学実習	運動解剖学 理学療法評価学 理学療法演習Ⅱ-1 運動器系理学療法評価学演習 内部障害系理学療法評価学演習 理学療法治療学 日常生活活動学 地域理学療法学 検査測定実習	臨床運動学 理学療法評価学実習 理学療法演習Ⅱ-2 神経系理学療法評価学演習 クリニカルリーズニング 運動療法学 義肢装具学 地域理学療法学実習	理学療法研究法 理学療法演習Ⅲ 神経系理学療法学実習 日常生活活動学実習 物理療法学 予防理学療法学	理学療法管理学 運動器系理学療法学実習 内部障害系理学療法学実習 義肢装具学実習 小児理学療法学 評価実習

(2) 2016年度から2019年度入学生適用

科目区分		1年次		2年次		3年次
専門科目領域	専門基礎科目群	解剖学Ⅰ 生理学 運動学Ⅰ 運動生理学 病理学	解剖学実習 生理学演習 運動学Ⅱ 人間発達学 臨床医学総論	解剖学Ⅱ 運動学実習 内科学 小児科学	生理学実習 整形外科学 神経内科学 精神医学Ⅰ	リハビリテーション医学※
	専門科目群	理学療法演習Ⅰ-1 理学療法概論	理学療法演習Ⅰ-2 臨床実習Ⅰ	理学療法演習Ⅱ-1 理学療法診断学 理学療法評価学実習 運動解剖学	理学療法演習Ⅱ-2 理学療法評価学 運動療法学 臨床実習Ⅱ	理学療法演習Ⅲ-1 物理療法学 内部障害系理学療法学実習 義肢装具学実習 運動器系理学療法学 神経系理学療法学 日常生活活動学 臨床運動学 高齢者理学療法学 臨床実習Ⅲ

※リハビリテーション医学の配当年次は2・3年次ですが、進級要件では3年次の必修科目として取り扱います。(通常は2年次で履修します。)

iii 作業療法学科

①当該年度のGPAが1.0以上であること

②当該年次に配当されている専門科目領域に属する必修科目の全てに合格していること

※①と②の両方を満たすことが進級要件となります。

【作業療法学科 専門科目領域 1～3年次 必修科目一覧】

2020年度から2022年度入学生適用

科目区分		1年次		2年次		3年次
専門科目領域	専門基礎科目群	解剖学Ⅰ 解剖学実習 生理学 生理学演習 病理学	解剖学Ⅱ 生理学 運動学Ⅰ	生理学実習 運動学実習 薬学 臨床医学総論 神経内科学 内科学 リハビリテーション医学 神経心理学	運動学Ⅱ 人間発達学 栄養学 整形外科学 小児科学 精神医学 就労支援サービス	
	専門科目群	作業療法概論 作業療法評価学	基礎作業学 臨床実習Ⅰ(見学実習)	作業療法演習Ⅰ-1 身体作業療法評価学演習 発達作業療法評価学演習 作業療法演習Ⅰ-2 精神障害作業療法治療学	研究法概論 精神作業療法評価学演習 日常生活評価学演習 身体障害作業療法治療学	基礎作業学演習 老年期作業療法学 高次脳機能障害治療学 精神障害作業療法治療学演習 作業療法演習Ⅱ-1 義肢装具学 地域作業療法学 臨床実習Ⅲ(評価実習)

II 健康科学部 [2. カリキュラム]

iv 人間コミュニケーション学科

当該年度のGPAが1.5以上であること

(2) 進級判定対象年次・判定時期

進級の可否は、学生の所属に応じてそれぞれの進級要件に基づき学科と教務委員会の審査を経て、その審査結果に基づき健康科学部教授会において判定します。判定を行う年次及び時期は、次のとおりです。

年 次 : 1年次・2年次・3年次(4年次は卒業の判定となります。)

時 期 : 毎年度末

(3) 進級の認定

進級の認定は、進級判定の結果に基づき健康科学部学部長が行います。

(4) 留年した学生の履修

進級判定により進級が否と判定された学生は、現に在籍する年次に留まります。当該学生は、翌年度、留まった年次で前年度にD評価となった専門科目領域に属する必修科目を改めて履修しなければなりません。そのほかに履修できる授業科目は、留まった年次に配当される未だ修得(合格)していない授業科目に限られます。在籍する年次よりも上位の年次に配当されている授業科目は、履修することができません。

(例：1年次に専門科目領域の必修科目に不合格があり進級することができなかった場合は、2年次以上に配当される授業科目を履修することができません。)

3) 卒業

卒業の要件は、次のとおりです。次の要件を全て満たした者に卒業を認定します。

- ・ 休学期間を除き4年以上（編入学生は、2年以上）の在学年数を経ていること。
- ・ 教育課程の所要単位を修めていること。
- ・ 納入すべき学費が全て完納されていること。

なお、各学科の卒業に必要な教育課程の所要単位は、次の（1）から（3）の表に示すとおりです。

（1）リハビリテーション学科

i 2023年度以降入学生適用

① 理学療法学コース

授業科目区分	授業科目内容と単位数		
総合基礎科目領域	共通基礎科目群	(必修)	8 単位
	人間基礎科目群	(必修)	2 単位
	外国語科目群	(必修)	4 単位
		(選択必修)	1 単位
	自由選択		10 単位 以上
	計		25 単位 以上
専門科目領域	専門基礎科目群	(必修)	35 単位
		(選択必修)	1 単位
	専門科目群	(必修)	64 単位
	自由選択		5 単位 以上
	計		105 単位 以上
単位数合計			130 単位 以上

② 作業療法学コース

授業科目区分	授業科目内容と単位数		
総合基礎科目領域	共通基礎科目群	(必修)	8 単位
	人間基礎科目群	(必修)	2 単位
	外国語科目群	(必修)	4 単位
		(選択必修)	1 単位
	自由選択		10 単位 以上
	計		25 単位 以上
専門科目領域	専門基礎科目群	(必修)	37 単位
		(選択必修)	1 単位
	専門科目群	(必修)	66 単位
	自由選択		1 単位 以上
	計		105 単位 以上
単位数合計			130 単位 以上

II 健康科学部 [2. カリキュラム]

(2) 理学療法学科

i 2020年度から2022年度入学生適用

授業科目区分	授業科目内容と単位数		
総合基礎科目領域	共通基礎科目群	(必修)	8 単位
	人間基礎科目群	(必修)	2 単位
	外国語科目群	(必修)	4 単位
		(選択必修)	1 単位
	自由選択		10 単位 以上
	計		25 単位 以上
専門科目領域	専門基礎科目群	(必修)	35 単位
		(選択必修)	1 単位
	専門科目群	(必修)	64 単位
	自由選択		5 単位 以上
	計		105 単位 以上
単位数合計			130 単位 以上

ii 2016年度から2019年度入学生適用

授業科目区分	授業科目内容と単位数		
総合基礎科目領域	共通基礎科目群	(必修)	8 単位
	人間基礎科目群	(必修)	2 単位
	外国語科目群	(必修)	4 単位
		(選択必修)	1 単位
	自由選択		10 単位 以上
	計		25 単位 以上
専門科目領域	専門基礎科目群	(必修)	32 単位
	専門科目群	(必修)	61 単位
	自由選択		12 単位 以上
	計		105 単位 以上
単位数合計			130 単位 以上

(3) 作業療法学科 (2020年度から2022年度入学生適用)

授業科目区分	授業科目内容と単位数		
総合基礎科目領域	共通基礎科目群	(必修)	8 単位
	人間基礎科目群	(必修)	2 単位
	外国語科目群	(必修)	4 単位
		(選択必修)	1 単位
	自由選択		10 単位 以上
	計		25 単位 以上
専門科目領域	専門基礎科目群	(必修)	37 単位
		(選択必修)	1 単位
	専門科目群	(必修)	66 単位
	自由選択		1 単位 以上
	計		105 単位 以上
単位数合計			130 単位 以上

(4) 人間コミュニケーション学科

① 2025年度入学生・1年次転学科生適用

授業科目区分	授業科目内容と単位数			
総合基礎科目領域	共通基礎科目群	(必修)	5	単位
	人間基礎科目群	(必修)	5	単位
		(選択必修)	1	単位
	外国語科目群	(必修)	4	単位
		(選択必修)	1	単位
	自由選択		9	単位 以上
	計		25	単位 以上
専門科目領域	専門基礎科目群	(必修)	14	単位
		(選択必修)	1	単位
	専門科目群	(必修)	32	単位
	自由選択		52	単位 以上
	計		99	単位 以上
単位数合計			124	単位 以上

② 2022年度から2024年度入学生・2024年度以前1年次転学科生適用

授業科目区分	授業科目内容と単位数			
総合基礎科目領域	共通基礎科目群	(必修)	5	単位
	人間基礎科目群	(必修)	5	単位
		(選択必修)	1	単位
	外国語科目群	(必修)	4	単位
		(選択必修)	1	単位
	自由選択		9	単位 以上
	計		25	単位 以上
専門科目領域	専門基礎科目群	(必修)	15	単位
		(選択必修)	2	単位
	専門科目群	(必修)	28	単位
	自由選択		60	単位 以上
	計		105	単位 以上
単位数合計			130	単位 以上

注：専門科目領域 専門基礎科目群の選択必修科目は、基礎医学系から1単位以上、臨床人間学系から1単位以上履修するものとする。

③ 2年次転学科生適用

授業科目区分	授業科目内容と単位数			
総合基礎科目領域	共通基礎科目群	(必修)	5	単位
	人間基礎科目群	(必修)	5	単位
		(選択必修)	1	単位
	外国語科目群	(必修)	4	単位
		(選択必修)	1	単位
	自由選択		9	単位 以上
	計		25	単位 以上
専門科目領域	専門基礎科目群	(必修)	15	単位
		(選択必修)	2	単位
	専門科目群	(必修)	26	単位
	自由選択		62	単位 以上
	計		105	単位 以上
単位数合計			130	単位 以上

注：専門科目領域 専門基礎科目群の選択必修科目は、基礎医学系から1単位以上、臨床人間学系から1単位以上履修するものとする。

II 健康科学部 [2. カリキュラム]

④ 3年次転学科生適用

授業科目区分	授業科目内容と単位数		
総合基礎科目領域	共通基礎科目群	(必修)	5 単位
	人間基礎科目群	(必修)	5 単位
		(選択必修)	1 単位
	外国語科目群	(必修)	4 単位
		(選択必修)	1 単位
	自由選択		9 単位 以上
	計		25 単位 以上
専門科目領域	専門基礎科目群	(必修)	15 単位
		(選択必修)	2 単位
	専門科目群	(必修)	22 単位
	自由選択		66 単位 以上
	計		105 単位 以上
単位数合計			130 単位 以上

注：専門科目領域 専門基礎科目群の選択必修科目は、基礎医学系から1単位以上、臨床人間学系から1単位以上履修するものとする。

⑤ 編入学生適用

授業科目区分	授業科目内容と単位数		
総合基礎科目領域	共通基礎科目群	(必修)	2 単位
	人間基礎科目群	(必修)	3 単位
		(選択必修)	1 単位
	自由選択		19 単位 以上
	計		25 単位 以上
専門科目領域	専門基礎科目群	(必修)	11 単位
	専門科目群	(必修)	14 単位
	自由選択		80 単位 以上
	計		105 単位 以上
単位数合計			130 単位 以上

4) 学位

卒業を認定した者に対して、学士の学位を授与します。学士の学位は、次の区分によるものとします。

学科	和名	英訳名称
リハビリテーション学科 理学療法学コース	学士（理学療法学）	Bachelor of Physical Therapy
リハビリテーション学科 作業療法学コース	学士（作業療法学）	Bachelor of Occupational Therapy
理学療法学科	学士（理学療法学）	Bachelor of Physical Therapy
作業療法学科	学士（作業療法学）	Bachelor of Occupational Therapy
人間コミュニケーション学科	学士（福祉心理学）	Bachelor of Welfare and Psychology

5) 目標とする資格

目標とする資格は次の表のとおりです。

学科名	資 格
リハビリテーション学科 理学療法学コース	理 学 療 法 士【国家資格】
リハビリテーション学科 作業療法学コース	作 業 療 法 士【国家資格】
理学療法学科	理 学 療 法 士【国家資格】
作業療法学科	作 業 療 法 士【国家資格】
人間コミュニケーション学科 ※2022年度から2024年度入学生、 2025年度編入学生	社 会 福 祉 士【国家資格】 精神保健福祉士【国家資格】 公 認 心 理 師【国家資格】(学部要件)

注1：国家資格については卒業時に国家試験受験資格を取得

注2：公認心理師は国家試験受験資格の学部要件のみ

2. 4 資格指定科目等と健康科学部開講授業科目

国家資格については、受験又は取得する際に、それぞれ修めなければならない科目（指定科目等）及び単位が定められています。

次の 1) から 5) の表は、各資格の指定科目等に対し健康科学部で開講する授業科目がどのように設定されているのかを表します。

1) 理学療法士養成施設「指定基準科目」と健康科学部の開講授業科目対照表

(1) リハビリテーション学科 理学療法学コース 2025年度以降入学生適用

指定基準科目			健康科学部開講授業科目				
教 育 内 容		単位数	備 考	科 目 名	単位数		
					必修	選択必修	選択
基礎分野	科学的思考の基盤	14		基礎演習Ⅰ	1		
				基礎演習Ⅱ	1		
				情報リテラシー	1		
				基礎数学演習	1		
				物理基礎	1		
				化学基礎	1		
				統計学	2		
				心理学と心理的支援(心理学概論)			2
				英語Ⅰ-1	1		
				英語Ⅰ-2	1		
				英語Ⅱ-1	1		
				英語Ⅱ-2	1		
				英語リーディング・ライティング		1	
				英語リーディング・ライティング (advanced)		1	
				英会話		1	
				英会話 (advanced)		1	
	人間と生活	14		人権と法			2
				教育原理			2
				経済と経営			2
				現代医療史			1
				宗教学			1
				現代社会と倫理			1
				人間学			1
				生命学			1
				比較行動学			2
				山梨の自然と文化・産業			2
				富士山と環境			2
				生活健康学			2
				日本語表現法			1
				スポーツの理論と実際			1
				健康科学論	1		
				点字の理論と実際			2
				手話の理論と実際			2
				異文化比較論			1
				共生学			1
				世界と対話			2
	ボランティア活動の実際			1			
	社会の理解			人間関係論	1		
				コミュニケーション論			1
				臨床人間学スタディーズ		2	
				臨床社会学スタディーズ		2	
				ジェンダースタディーズ		1	
				コミュニケーションスタディーズ		1	
					14	10	33

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

指定基準科目				健康科学部開講授業科目			
教 育 内 容		単位数	備考	科 目 名	単位数		
					必修	選択必修	選択
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	12		解剖学Ⅰ	2		
				解剖学Ⅱ	2		
				解剖学演習			1
				解剖学実習	1		
				生理学	2		
				生理学演習	2		
				生理学実習	1		
				運動学Ⅰ	2		
				運動学Ⅱ	2		
				運動学実習	1		
				人間発達学	2		
				バイオメカニクス			2
				微生物学・免疫学			2
				発達心理学			2
				臨床心理学			2
				神経心理学			2
				児童青年心理学			2
				障害者心理学			2
				社会心理学			2
					17	0	17
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	14	栄養、薬理、医用画像、救急救命及び予防の基礎を含む。	病理学	1		
				薬学	1		
				栄養学	2		
				公衆衛生学			1
				臨床医学総論	1		
				整形外科学	2		
				神経内科学	2		
				小児科学	1		
				内科学	2		
				精神医学	2		
					14	0	1
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	4	自立支援、就労支援、地域包括ケアシステム及び多職種連携の理解を含む。	世界の福祉			2
				リハビリテーション特別講義Ⅰ			1
				リハビリテーション特別講義Ⅱ			1
				リハビリテーション医学	1		
				現代社会と福祉Ⅰ			2
				社会保障論Ⅰ			2
				就労支援サービス	2		
				精神保健学Ⅰ			2
				精神保健学Ⅱ			2
				高齢者福祉			2
				介護福祉			2
				障害者福祉			2
				チーム医療演習	1		
					4	0	18
専門分野	基礎理学療法学	6		理学療法概論	2		
				理学療法演習Ⅰ・1	1		
				理学療法演習Ⅰ・2	1		
				運動解剖学	2		
				臨床運動学	2		
				理学療法研究法	1		
				卒業研究			4
					9	0	4
	理学療法管理学	2	※1	理学療法管理学	2		
					2	0	0

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

指定基準科目				健康科学部開講授業科目			
教 育 内 容		単位数	備 考	科 目 名	単位数		
					必修	選択 必修	選択
専門 分野	理学療法評価学	6	医用画像の評 価を含む。	理学療法評価学	2		
				理学療法評価学実習	1		
				理学療法演習Ⅱ・1	1		
				理学療法演習Ⅱ・2	1		
				運動器系理学療法評価学演習	1		
				神経系理学療法評価学演習	1		
				内部障害系理学療法評価学演習	1		
				クリニカルリーズニング	1		
					9	0	0
	理学療法治療学	20	喀痰(かくた ん)等の吸引を 含む。	理学療法治療学	2		
				運動療法学	2		
				理学療法演習Ⅲ	1		
				運動器系理学療法学実習	1		
				神経系理学療法学実習	1		
				内部障害系理学療法学実習	1		
				日常生活活動学	2		
				日常生活活動学実習	1		
				義肢装具学	2		
				義肢装具学実習	1		
				物理療法学	2		
				小児理学療法学	2		
				理学療法演習Ⅳ	1		
				理学療法特論	2		
				マニュアルセラピー			2
				地域生活支援学			2
				高次脳機能障害治療学			2
				スポーツリハビリテーション学			2
	スポーツ医学			1			
					21	0	9
	地域理学療法学	3		地域連携の理論と実際			2
				社会理論と社会システム			2
				地域理学療法学	2		
				予防理学療法学	1		
					3	0	4
	臨床実習	20	※ 2	見学実習	1		
				地域理学療法学実習	1		
				検査測定実習	1		
				評価実習	6		
				総合臨床実習	11		
				20	0	0	

※2 臨床実習前の評価及び臨床実習後の評価を含む。実習時間の3分の2以上は医療提供施設において行うこと。また、医療提供施設において行う実習時間のうち2分の1以上は病院又は診療所において行うこと。通所リハビリテーション又は訪問リハビリテーションに関する実習を1単位以上行うこと。

(2) リハビリテーション学科 理学療法学科コース 2023年度から2024年度入学生適用

指定基準科目				健康科学部開講授業科目				
教 育 内 容		単位数	備考	科 目 名	単位数			
					必修	選択必修	選択	
基礎分野	科学的思考の基盤	14		基礎演習Ⅰ	1			
				基礎演習Ⅱ	1			
				情報リテラシー	1			
				基礎数学演習	1			
				物理基礎	1			
				化学基礎	1			
				統計学	2			
				心理学と心理的支援(心理学概論)			2	
				英語Ⅰ-1	1			
				英語Ⅰ-2	1			
				英語Ⅱ-1	1			
				英語Ⅱ-2	1			
				英語リーディング・ライティング		1		
				英語コミュニケーション		1		
				英語会話		1		
				基礎韓国語		1		
				基礎中国語		1		
				はじめての韓国語会話		1		
				はじめての中国語会話		1		
	人間と生活			人権と法				2
				教育原理				2
				経済と経営				2
				現代医療史				1
				宗教学				1
				現代社会と倫理				1
				人間学				1
				生命学				1
				比較行動学				2
				山梨の自然と文化・産業				2
				富士山と環境				2
				生活健康学				2
				スポーツの理論と実際				1
				健康科学論	1			
				点字の理論と実際				2
				手話の理論と実際				2
				異文化比較論				1
				共生学				1
				世界と対話				2
				ボランティア活動の実際				1
	社会の理解			人間関係論	1			
				コミュニケーション論				1
				臨床人間学スタディーズ			2	
				臨床社会学スタディーズ			2	
				ジェンダースタディーズ			1	
				コミュニケーションスタディーズ			1	
						14	13	32

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

指定基準科目				健康科学部開講授業科目			
教 育 内 容		単位数	備考	科 目 名	単位数		
					必修	選択必修	選択
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	12		解剖学Ⅰ	2		
				解剖学Ⅱ	2		
				解剖学演習			1
				解剖学実習	1		
				生理学	2		
				生理学演習	2		
				生理学実習	1		
				運動学Ⅰ	2		
				運動学Ⅱ	2		
				運動学実習	1		
				人間発達学	2		
				バイオメカニクス			2
				微生物学・免疫学			2
				発達心理学			2
				臨床心理学			2
				神経心理学			2
				児童青年心理学			2
				障害者心理学			2
				社会心理学			2
					17	0	17
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	14	栄養、薬理、医用画像、救急救命及び予防の基礎を含む。	病理学	1		
				薬学	1		
				栄養学	2		
				公衆衛生学			1
				臨床医学総論	1		
				整形外科学	2		
				神経内科学	2		
				小児科学	1		
				内科学	2		
	精神医学	2					
					14	0	1
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	4	自立支援、就労支援、地域包括ケアシステム及び多職種連携の理解を含む。	世界の福祉			2
				リハビリテーション特別講義Ⅰ			1
				リハビリテーション特別講義Ⅱ			1
				リハビリテーション医学	1		
				現代社会と福祉Ⅰ			2
				社会保障論Ⅰ			2
				就労支援サービス	2		
				精神保健学Ⅰ			2
				精神保健学Ⅱ			2
				高齢者福祉			2
				介護福祉			2
				障害者福祉			2
				チーム医療演習	1		
					4	0	18
専門分野	基礎理学療法学	6		理学療法概論	2		
				理学療法演習Ⅰ-1	1		
				理学療法演習Ⅰ-2	1		
				運動解剖学	2		
				臨床運動学	2		
				理学療法研究法	1		
				卒業研究			4
					9	0	4
	理学療法管理学	2	※1	理学療法管理学	2		
					2	0	0

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

指定基準科目				健康科学部開講授業科目			
教 育 内 容		単位数	備 考	科 目 名	単位数		
					必修	選択必修	選択
専門分野	理学療法評価学	6	医用画像の評価を含む。	理学療法評価学	2		
				理学療法評価学実習	1		
				理学療法演習Ⅱ-1	1		
				理学療法演習Ⅱ-2	1		
				運動器系理学療法評価学演習	1		
				神経系理学療法評価学演習	1		
				内部障害系理学療法評価学演習	1		
				クリニカルリーズニング	1		
					9	0	0
	理学療法治療学	20	喀痰(かくたん)等の吸引を含む。	理学療法治療学	2		
				運動療法学	2		
				理学療法演習Ⅲ	1		
				運動器系理学療法学実習	1		
				神経系理学療法学実習	1		
				内部障害系理学療法学実習	1		
				日常生活活動学	2		
				日常生活活動学実習	1		
				義肢装具学	2		
				義肢装具学実習	1		
				物理療法学	2		
				小児理学療法学	2		
				理学療法演習Ⅳ	1		
				理学療法特論	2		
				マニュアルセラピー			2
				地域生活支援学			2
				高次脳機能障害治療学			2
				スポーツリハビリテーション学			2
	スポーツ医学			1			
					21	0	9
	地域理学療法学	3		地域連携の理論と実際			2
				社会理論と社会システム			2
				地域理学療法学	2		
				予防理学療法学	1		
					3	0	4
	臨床実習	20	※ 2	見学実習	1		
				地域理学療法学実習	1		
				検査測定実習	1		
				評価実習	6		
				総合臨床実習	11		
					20	0	0

※2 臨床実習前の評価及び臨床実習後の評価を含む。実習時間の3分の2以上は医療提供施設において行うこと。また、医療提供施設において行う実習時間のうち2分の1以上は病院又は診療所において行うこと。通所リハビリテーション又は訪問リハビリテーションに関する実習を1単位以上行うこと。

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

(3) 理学療法学科 2020年度から2022年度入学生適用

指定基準科目			健康科学部開講授業科目				
教 育 内 容		単位数	備考	科 目 名	単位数		
					必修	選択必修	選択
基礎分野	科学的思考の基盤	14		基礎演習Ⅰ	1		
				基礎演習Ⅱ	1		
				情報リテラシー	1		
				基礎数学演習	1		
				物理基礎	1		
				化学基礎	1		
				統計学	2		
				心理学			2
				英語Ⅰ-1	1		
				英語Ⅰ-2	1		
				英語Ⅱ-1	1		
				英語Ⅱ-2	1		
				英語リーディング・ライティング		1	
				英語コミュニケーション		1	
				英語会話		1	
				基礎韓国語		1	
				基礎中国語		1	
				はじめての韓国語会話		1	
				はじめての中国語会話		1	
	人間と生活	14		人権と法			2
				教育原理			2
				経済と経営			2
				現代医療史			1
				宗教学			1
				現代社会と倫理			1
				人間学			1
				生命学			1
				比較行動学			2
				山梨の自然と文化・産業			2
				富士山と環境			2
				生活健康学			2
				スポーツの理論と実際			1
				健康科学論	1		
				点字の理論と実際			2
				手話の理論と実際			2
				異文化比較論			1
				共生学			1
				世界と対話			2
				ボランティア活動の実際			1
	社会の理解			人間関係論	1		
				コミュニケーション論			1
				臨床人間学スタディーズ		2	
				臨床社会学スタディーズ		2	
				ジェンダースタディーズ		1	
				コミュニケーションスタディーズ		1	
					14	13	32

Ⅱ 健康科学部 〔2. カリキュラム〕

指定基準科目				健康科学部開講授業科目			
教 育 内 容		単位数	備考	科 目 名	単位数		
					必修	選択必修	選択
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	12		解剖学Ⅰ	2		
				解剖学Ⅱ	2		
				解剖学演習			1
				解剖学実習	1		
				生理学	2		
				生理学演習	2		
				生理学実習	1		
				運動学Ⅰ	2		
				運動学Ⅱ	2		
				運動学実習	1		
				人間発達学	2		
				バイオメカニクス			2
				微生物学・免疫学			2
				発達心理学			2
				臨床心理学			2
				神経心理学			2
				児童青年心理学			2
				障害者心理学			2
				社会心理学			2
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	14	栄養、薬理、医用画像、救急救命及び予防の基礎を含む。	病理学	1		
				薬学	1		
				栄養学	2		
				公衆衛生学			1
				臨床医学総論	1		
				整形外科学	2		
				神経内科学	2		
				小児科学	1		
				内科学	2		
				精神医学	2		
					14	0	1
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	4	自立支援、就労支援、地域包括ケアシステム及び多職種連携の理解を含む。	世界の福祉			2
				リハビリテーション特別講義Ⅰ			1
				リハビリテーション特別講義Ⅱ			1
				リハビリテーション医学	1		
				現代社会と福祉Ⅰ			2
				社会保障論Ⅰ			2
				就労支援サービス	2		
				精神保健学Ⅰ			2
				精神保健学Ⅱ			2
				高齢者福祉			2
				介護福祉			2
				障害者福祉			2
				チーム医療演習	1		
専門分野	基礎理学療法学	6		理学療法概論	2		
				理学療法演習Ⅰ・1	1		
				理学療法演習Ⅰ・2	1		
				運動解剖学	2		
				臨床運動学	2		
				理学療法研究法	1		
				卒業研究			4
	理学療法管理学	2	※1	理学療法管理学	2		
					2	0	0

※1 職場管理、理学療法教育及び職業倫理を含む。

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

指定基準科目				健康科学部開講授業科目			
教 育 内 容		単位数	備 考	科 目 名	単位数		
					必修	選択 必修	選択
専門 分野	理学療法評価学	6	医用画像の評 価を含む。	理学療法評価学	2		
				理学療法評価学実習	1		
				理学療法演習Ⅱ・1	1		
				理学療法演習Ⅱ・2	1		
				運動器系理学療法評価学演習	1		
				神経系理学療法評価学演習	1		
				内部障害系理学療法評価学演習	1		
				クリニカルリーズニング	1		
					9	0	0
	理学療法治療学	20	喀痰(かくた ん)等の吸引を 含む。	理学療法治療学	2		
				運動療法学	2		
				理学療法演習Ⅲ	1		
				運動器系理学療法学実習	1		
				神経系理学療法学実習	1		
				内部障害系理学療法学実習	1		
				日常生活活動学	2		
				日常生活活動学実習	1		
				義肢装具学	2		
				義肢装具学実習	1		
				物理療法学	2		
				小児理学療法学	2		
				理学療法演習Ⅳ	1		
				理学療法特論	2		
				マニュアルセラピー			2
				地域生活支援学			2
				高次脳機能障害治療学			2
				スポーツ理学療法学			2
	スポーツ医学			1			
					21	0	9
	地域理学療法学	3		地域連携の理論と実際			2
				社会理論と社会システム			2
				地域理学療法学	2		
				予防理学療法学	1		
					3	0	4
	臨床実習	20	※ 2	見学実習	1		
				地域理学療法学実習	1		
				検査測定実習	1		
				評価実習	6		
				総合臨床実習	11		
					20	0	0

※2 臨床実習前の評価及び臨床実習後の評価を含む。実習時間の3分の2以上は医療提供施設において行うこと。また、医療提供施設において行う実習時間のうち2分の1以上は病院又は診療所において行うこと。通所リハビリテーション又は訪問リハビリテーションに関する実習を1単位以上行うこと。

(4) 理学療法学科 2016年度から2019年度入学生適用

指定基準科目				健康科学部開講授業科目							
教 育 内 容		単位数	備考	科 目 名	単位数						
					必修	選択必修	選択				
基礎分野	科学的思考の基盤	14		基礎演習Ⅰ	1						
				基礎演習Ⅱ	1						
				日本語演習			1				
				コンピュータリテラシー			1				
				基礎数学演習			1				
				統計学	2						
				生活と物理	2						
				生命科学			2				
				心理学	2						
				心理学理論と心理的支援			2				
				英語Ⅰ-1	1						
				英語Ⅰ-2	1						
				英語Ⅱ-1	1						
				英語Ⅱ-2	1						
				英語リーディング・ライティング		1					
				英語コミュニケーション		1					
				英語会話		1					
				基礎中国語		1					
				基礎韓国語		1					
	人間と生活		健康と運動				2				
			生活健康学				2				
			スポーツの理論と実際				1				
			生命倫理学				2				
			哲学				2				
			山梨の自然と文化・産業				2				
			富士山と環境				2				
			高齢者の生活と歴史				1				
			点字の理論と実際				2				
			手話の理論と実際				2				
			ボランティア論				2				
			ボランティア活動の実際				1				
			公衆衛生学				1				
			リハビリテーション特別講義Ⅰ				1				
リハビリテーション特別講義Ⅱ				1							
					12	5	31				
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	12		解剖学Ⅰ	2						
				解剖学Ⅱ	2						
				解剖学演習			1				
				解剖学実習	1						
				生理学	2						
				生理学演習	2						
				生理学実習	1						
				運動学Ⅰ	2						
				運動学Ⅱ	2						
				運動学実習	1						
				運動生理学	2						
				人間発達学	2						
				微生物学・免疫学			2				
				発達心理学			2				
				児童心理学			2				
				青年心理学			2				
				高齢者心理学			2				
				障害者心理学			2				
				社会心理学			2				
				神経心理学			2				
				バイオメカニクス			2				
				バイオメカニクス演習			1				
				薬理学			2				
				栄養学			2				
									19	0	24

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

指定基準科目				健康科学部開講授業科目			
教 育 内 容		単位数	備考	科 目 名	単位数		
					必修	選択必修	選択
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	12		病理学	2		
				臨床医学総論	1		
				整形外科学	2		
				内科学	2		
				神経内科学	2		
				小児科学	1		
				リハビリテーション医学	1		
				精神医学Ⅰ	2		
				精神医学Ⅱ			2
					13	0	2
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	2		健康とリハビリテーション	2		
				医療と福祉			2
				国際福祉論			2
				社会保障論Ⅰ			2
				現代社会と福祉Ⅰ			2
				精神保健学Ⅰ			2
				精神保健学Ⅱ			2
				高齢者福祉			2
				介護福祉			2
				障害者福祉			2
					2	0	18
専門分野	基礎理学療法学	6		理学療法演習Ⅰ-1	1		
				理学療法演習Ⅰ-2	1		
				理学療法概論	2		
				理学療法用語論			2
				運動解剖学	2		
				臨床運動学	2		
				理学療法研究法			1
				卒業研究			4
					8	0	7
	理学療法評価学	5		理学療法演習Ⅱ-1	1		
				理学療法演習Ⅱ-2	1		
				理学療法診断学	2		
				理学療法評価学	2		
				理学療法評価学実習	1		
					7	0	0
	理学療法治療学	20		物理療法学	1		
				運動療法学	2		
				理学療法演習Ⅲ-1	1		
				理学療法演習Ⅲ-2	1		
				内部障害系理学療法学	2		
				内部障害系理学療法実習	1		
				義肢装具学実習	1		
				理学療法治療学	2		
				運動器系理学療法学	2		
				運動器系理学療法実習	1		
				神経系理学療法学	2		
				神経系理学療法実習	1		
				日常生活活動学	2		
				日常生活活動学実習	1		
				高齢者理学療法学	1		
				神経筋促通治療学			1
				小児理学療法学			2
				スポーツ医科学			1
				スポーツ理学療法学			2
				マニユアルセラピー			2
				高次脳機能障害治療学			1
				職業関連活動学			1
				理学療法特論	2		
				理学療法演習Ⅳ	1		
					24	0	10

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

指定基準科目				健康科学部開講授業科目			
教 育 内 容		単位数	備考	科 目 名	単位数		
					必修	選択必修	選択
専門分野	地域理学療法学	4		ユニバーサル環境論			1
				社会理論と社会システム			2
				地域連携の理論と実際			2
				福祉用具論			2
				理学療法マネジメント	1		
				地域理学療法学	1		
				義肢装具学	2		
					4	0	7
	臨床実習	18	実習時間の3分の2以上は病院又は診療所において行うこと。	臨床実習Ⅰ	1		
				臨床実習Ⅱ	2		
				臨床実習Ⅲ	5		
				臨床実習Ⅳ	10		
					18	0	0

II 健康科学部 [2. カリキュラム]

2) 作業療法士養成施設「指定基準科目」と健康科学部の開講授業科目対照表

(1) リハビリテーション学科 作業療法学コース 2025年度以降入学生適用

指定基準科目				健康科学部開講授業科目			
教 育 内 容		単位数	備考	科 目 名	単位数		
					必修	選択 必修	選択
基礎分野	科学的思考の基盤	14		基礎演習Ⅰ	1		
				基礎演習Ⅱ	1		
				情報リテラシー	1		
				基礎数学演習	1		
				物理基礎	1		
				化学基礎	1		
				統計学	2		
				心理学と心理的支援（心理学概論）			2
				英語Ⅰ-1	1		
				英語Ⅰ-2	1		
				英語Ⅱ-1	1		
				英語Ⅱ-2	1		
				英語リーディング・ライティング		1	
				英語リーディング・ライティング（advanced）		1	
				英会話		1	
				英会話（advanced）		1	
	人間と生活	14		人権と法			2
				教育原理			2
				経済と経営			2
				現代医療史			1
				宗教学			1
				現代社会と倫理			1
				人間学			1
				生命学			1
				比較行動学			2
				山梨の自然と文化・産業			2
				富士山と環境			2
				生活健康学			2
				日本語表現法			1
				スポーツの理論と実際			1
				健康科学論	1		
				点字の理論と実際			2
				手話の理論と実際			2
				異文化比較論			1
				共生学			1
				世界と対話			2
				ボランティア活動の実際			1
	社会の理解			人間関係論	1		
				コミュニケーション論			1
				臨床人間学スタディーズ		2	
				臨床社会学スタディーズ		2	
				ジェンダースタディーズ		1	
				コミュニケーションスタディーズ		1	
					14	10	33

Ⅱ 健康科学部 〔2. カリキュラム〕

指定基準科目				健康科学部開講授業科目			
教 育 内 容	単位数	備考	科 目 名	単位数			
				必修	選択必修	選択	
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	12	解剖学Ⅰ	2			
			解剖学Ⅱ	2			
			解剖学演習				1
			解剖学実習	1			
			生理学	2			
			生理学演習	2			
			生理学実習	1			
			運動学Ⅰ	2			
			運動学Ⅱ	2			
			運動学実習	1			
			人間発達学	2			
			微生物学・免疫学				2
			発達心理学				2
			臨床心理学				2
			神経心理学	2			
			児童青年心理学				2
			障害者心理学				2
			社会心理学				2
				19	0		13
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	14	病理学	1			
			薬学	1			
			栄養学	2			
			公衆衛生学				1
			臨床医学総論	1			
			整形外科学	2			
			神経内科学	2			
			小児科学	1			
			内科学	2			
			精神医学	2			
				14	0		1
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	4	世界の福祉				2
			リハビリテーション特別講義Ⅰ				1
			リハビリテーション特別講義Ⅱ				1
			リハビリテーション医学	1			
			現代社会と福祉Ⅰ				2
			社会保障論Ⅰ				2
			就労支援サービス	2			
			精神保健学Ⅰ				2
			精神保健学Ⅱ				2
			高齢者福祉				2
			介護福祉				2
			障害者福祉				2
			チーム医療演習	1			
				4	0		18
専門分野	基礎作業療法学	5	作業療法概論	2			
			基礎作業学	2			
			作業療法演習Ⅰ－Ⅰ	1			
			研究法概論	1			
			基礎作業学演習	1			
			卒業研究				4
				7	0		4
	作業療法管理学	2	※1	作業療法管理学	2		
				2	0		0

※1 職場管理、作業療法教育及び職業倫理を含む。

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

指定基準科目				健康科学部開講授業科目			
教 育 内 容		単位数	備 考	科 目 名	単位数		
					必修	選択必修	選択
専門分野	作業療法評価学	5	医用画像の評価を含む。	作業療法評価学	2		
				身体作業療法評価学演習	2		
				精神作業療法評価学演習	2		
				発達作業療法評価学演習	1		
				日常生活評価学演習	1		
				作業療法演習Ⅰ－2	1		
					9	0	0
	作業療法治療学	19	喀痰(かくたん)等の吸引を含む。	身体障害作業療法治療学	2		
				精神障害作業療法治療学	2		
				老年期作業療法学	2		
				発達障害作業療法治療学演習	1		
				高次脳機能障害治療学	2		
				身体障害作業療法治療学演習	2		
				精神障害作業療法治療学演習	2		
				日常生活活動学演習	1		
				作業療法演習Ⅱ・1	1		
				作業療法演習Ⅱ・2	1		
				義肢装具学	2		
				作業療法学特論	1		
				スポーツ医学			1
				スポーツリハビリテーション学			2
	マニュアルセラピー			2			
					19	0	5
	地域作業療法学	4		地域連携の理論と実際			2
				社会理論と社会システム			2
				地域生活支援学	2		
				地域作業療法学	2		
				生活環境学演習			1
					4	0	5
	臨床実習	22	※2	臨床実習Ⅰ(見学実習)	1		
				臨床実習Ⅱ(地域実習)	1		
				臨床実習Ⅲ(評価実習)	5		
				臨床実習Ⅳ(総合実習)	9		
				臨床実習Ⅴ(総合実習)	9		
				25	0	0	

(2) リハビリテーション学科 作業療法学コース 2023年度から2024年度入学生適用

指定基準科目			健康科学部開講授業科目						
教 育 内 容		単位数	備考	科 目 名	単位数				
					必修	選択必修	選択		
基礎分野	科学的思考の基盤	14		基礎演習Ⅰ	1				
				基礎演習Ⅱ	1				
				情報リテラシー	1				
				基礎数学演習	1				
				物理基礎	1				
				化学基礎	1				
				統計学	2				
				心理学と心理的支援(心理学概論)			2		
				英語Ⅰ-1	1				
				英語Ⅰ-2	1				
				英語Ⅱ-1	1				
				英語Ⅱ-2	1				
				英語リーディング・ライティング		1			
				英語コミュニケーション		1			
				英語会話		1			
				基礎韓国語		1			
				基礎中国語		1			
				はじめての韓国語会話		1			
				はじめての中国語会話		1			
	人間と生活			人権と法			2		
				教育原理			2		
				経済と経営			2		
				現代医療史			1		
				宗教学			1		
				現代社会と倫理			1		
				人間学			1		
				生命学			1		
				比較行動学			2		
				山梨の自然と文化・産業			2		
				富士山と環境			2		
				生活健康学			2		
				スポーツの理論と実際			1		
				健康科学論	1				
				点字の理論と実際			2		
				手話の理論と実際			2		
				異文化比較論			1		
				共生学			1		
				世界と対話			2		
				ボランティア活動の実際			1		
				社会の理解		人間関係論	1		
						コミュニケーション論			1
						臨床人間学スタディーズ		2	
	臨床社会学スタディーズ					2			
	ジェンダースタディーズ					1			
	コミュニケーションスタディーズ					1			
						14	13	32	

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

指定基準科目				健康科学部開講授業科目			
教 育 内 容		単位数	備 考	科 目 名	単位数		
					必修	選択必修	選択
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	12		解剖学Ⅰ	2		
				解剖学Ⅱ	2		
				解剖学演習			1
				解剖学実習	1		
				生理学	2		
				生理学演習	2		
				生理学実習	1		
				運動学Ⅰ	2		
				運動学Ⅱ	2		
				運動学実習	1		
				人間発達学	2		
				微生物学・免疫学			2
				発達心理学			2
				臨床心理学			2
				神経心理学	2		
				児童青年心理学			2
				障害者心理学			2
				社会心理学			2
					19	0	13
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	14	栄養、薬理、医用画像、救急救命及び予防の基礎を含む。	病理学	1		
				薬学	1		
				栄養学	2		
				公衆衛生学			1
				臨床医学総論	1		
				整形外科学	2		
				神経内科学	2		
				小児科学	1		
				内科学	2		
				精神医学	2		
					14	0	1
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	4	自立支援、就労支援、地域包括ケアシステム及び多職種連携の理解を含む。	世界の福祉			2
				リハビリテーション特別講義Ⅰ			1
				リハビリテーション特別講義Ⅱ			1
				リハビリテーション医学	1		
				現代社会と福祉Ⅰ			2
				社会保障論Ⅰ			2
				就労支援サービス	2		
				精神保健学Ⅰ			2
				精神保健学Ⅱ			2
				高齢者福祉			2
				介護福祉			2
				障害者福祉			2
				チーム医療演習	1		
					4	0	18
専門分野	基礎作業療法学	5		作業療法概論	2		
				基礎作業学	2		
				作業療法演習Ⅰ－Ⅰ	1		
				研究法概論	1		
				基礎作業学演習	1		
				卒業研究			4
	作業療法管理学	2	※1	作業療法管理学	2	0	4
					2	0	0

※1 職場管理、作業療法教育及び職業倫理を含む。

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

指定基準科目				健康科学部開講授業科目			
教 育 内 容		単位数	備考	科 目 名	単位数		
					必修	選択必修	選択
専門分野	作業療法評価学	5	医用画像の評価を含む。	作業療法評価学	2		
				身体作業療法評価学演習	2		
				精神作業療法評価学演習	2		
				発達作業療法評価学演習	1		
				日常生活評価学演習	1		
				作業療法演習Ⅰ－Ⅱ	1		
					9	0	0
	作業療法治療学	19	喀痰(かくだん)等の吸引を含む。	身体障害作業療法治療学	2		
				精神障害作業療法治療学	2		
				老年期作業療法学	2		
				発達障害作業療法治療学演習	1		
				高次脳機能障害治療学	2		
				身体障害作業療法治療学演習	2		
				精神障害作業療法治療学演習	2		
				日常生活活動学演習	1		
				作業療法演習Ⅱ-Ⅰ	1		
				作業療法演習Ⅱ-Ⅱ	1		
				義肢装具学	2		
				作業療法学特論	1		
				スポーツ医学			1
				スポーツリハビリテーション学			2
	マニュアルセラピー			2			
					19	0	5
	地域作業療法学	4		地域連携の理論と実際			2
				社会理論と社会システム			2
				地域生活支援学	2		
				地域作業療法学	2		
				生活環境学演習			1
					4	0	5
	臨床実習	22	※2	臨床実習Ⅰ(見学実習)	1		
				臨床実習Ⅱ(地域実習)	1		
				臨床実習Ⅲ(評価実習)	5		
				臨床実習Ⅳ(総合実習)	9		
				臨床実習Ⅴ(総合実習)	9		
				25	0	0	

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

(3) 作業療法学科 2020年度から2022年度入学生適用

指定基準科目			健康科学部開講授業科目					
教 育 内 容		単位数	備考	科 目 名	単位数			
					必修	選択必修	選択	
基礎分野	科学的思考の基盤	14		基礎演習Ⅰ	1			
				基礎演習Ⅱ	1			
				情報リテラシー	1			
				基礎数学演習	1			
				物理基礎	1			
				化学基礎	1			
				統計学	2			
				心理学			2	
				英語Ⅰ-1	1			
				英語Ⅰ-2	1			
				英語Ⅱ-1	1			
				英語Ⅱ-2	1			
				英語リーディング・ライティング		1		
				英語コミュニケーション		1		
				英語会話		1		
				基礎韓国語		1		
				基礎中国語		1		
				はじめての韓国語会話		1		
				はじめての中国語会話		1		
	人間と生活			人権と法				2
				教育原理				2
				経済と経営				2
				現代医療史				1
				宗教学				1
				現代社会と倫理				1
				人間学				1
				生命学				1
		比較行動学					2	
		山梨の自然と文化・産業					2	
		富士山と環境					2	
		生活健康学					2	
		スポーツの理論と実際					1	
		健康科学論		1				
		点字の理論と実際					2	
		手話の理論と実際					2	
		異文化比較論					1	
		共生学					1	
		世界と対話					2	
		ボランティア活動の実際					1	
	社会の理解		人間関係論	1				
			コミュニケーション論				1	
			臨床人間学スタディーズ			2		
			臨床社会学スタディーズ			2		
			ジェンダースタディーズ			1		
			コミュニケーションスタディーズ			1		
					14	13	32	

※2 臨床実習前の評価及び臨床実習後の評価を含む。実習時間の3分の2以上は医療提供施設において行うこと。また、医療提供施設において行う実習時間のうち2分の1以上は病院又は診療所において行うこと。通所リハビリテーション又は訪問リハビリテーションに関する実習を1単位以上行うこと。

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

指定基準科目				健康科学部開講授業科目				
教 育 内 容		単位数	備考	科 目 名	単位数			
					必修	選択必修	選択	
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	12		解剖学Ⅰ	2			
				解剖学Ⅱ	2			
				解剖学演習			1	
				解剖学実習	1			
				生理学	2			
				生理学演習	2			
				生理学実習	1			
				運動学Ⅰ	2			
				運動学Ⅱ	2			
				運動学実習	1			
				人間発達学	2			
				微生物学・免疫学			2	
				発達心理学			2	
				臨床心理学			2	
				神経心理学	2			
				児童青年心理学			2	
				障害者心理学			2	
				社会心理学			2	
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	14	栄養、薬理、医用画像、救急救命及び予防の基礎を含む。	病理学	1			
				薬学	1			
				栄養学	2			
				公衆衛生学			1	
				臨床医学総論	1			
				整形外科学	2			
				神経内科学	2			
				小児科学	1			
				内科学	2			
	精神医学	2						
						14	0	1
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	4	自立支援、就労支援、地域包括ケアシステム及び多職種連携の理解を含む。	世界の福祉			2	
				リハビリテーション特別講義Ⅰ			1	
				リハビリテーション特別講義Ⅱ			1	
				リハビリテーション医学	1			
				現代社会と福祉Ⅰ			2	
				社会保障論Ⅰ			2	
				就労支援サービス	2			
				精神保健学Ⅰ			2	
				精神保健学Ⅱ			2	
				高齢者福祉			2	
				介護福祉			2	
				障害者福祉			2	
				チーム医療演習	1			
						4	0	18
専門分野	基礎作業療法学	5		作業療法学概論	2			
				基礎作業学	2			
				作業療法演習Ⅰ－Ⅰ	1			
				研究法概論	1			
				基礎作業学演習	1			
				卒業研究			4	
						7	0	4
	作業療法管理学	2	※1	作業療法管理学	2			
					2	0	0	

※1 職場管理、作業療法教育及び職業倫理を含む。

Ⅱ 健康科学部 [2. カリキュラム]

指定基準科目				健康科学部開講授業科目			
教 育 内 容		単位数	備 考	科 目 名	単位数		
					必修	選択必修	選択
専 門 分 野	作業療法評価学	5	医用画像の評価を含む。	作業療法評価学	2		
				身体作業療法評価学演習	2		
				精神作業療法評価学演習	2		
				発達作業療法評価学演習	1		
				日常生活評価学演習	1		
				作業療法演習Ⅰ－Ⅱ	1		
					9	0	0
	作業療法治療学	19	喀痰(かくたん)等の吸引を含む。	身体障害作業療法治療学	2		
				精神障害作業療法治療学	2		
				老年期作業療法学	2		
				発達障害作業療法治療学演習	1		
				高次脳機能障害治療学	2		
				身体障害作業療法治療学演習	2		
				精神障害作業療法治療学演習	2		
				日常生活活動学演習	1		
				作業療法演習Ⅱ・Ⅰ	1		
				作業療法演習Ⅱ・Ⅱ	1		
				義肢装具学	2		
				作業療法学特論	1		
				スポーツ医学			1
				スポーツ理学療法学			2
	マニュアルセラピー			2			
					19	0	5
	地域作業療法学	4		地域連携の理論と実際			2
				社会理論と社会システム			2
				地域生活支援学	2		
				地域作業療法学	2		
				生活環境学演習			1
					4	0	5
	臨床実習	22	※2	臨床実習Ⅰ(見学実習)	1		
				臨床実習Ⅱ(地域実習)	1		
				臨床実習Ⅲ(評価実習)	5		
				臨床実習Ⅳ(総合実習)	9		
				臨床実習Ⅴ(総合実習)	9		
				25	0	0	

※2 臨床実習前の評価及び臨床実習後の評価を含む。実習時間の3分の2以上は医療提供施設において行うこと。また、医療提供施設において行う実習時間のうち2分の1以上は病院又は診療所において行うこと。通所リハビリテーション又は訪問リハビリテーションに関する実習を1単位以上行うこと。

3) 社会福祉士受験「指定科目」と健康科学部の開講授業科目対照表

※人間コミュニケーション学科入学生(2022年度から2024年度)・転学科生(2024年度以前/2025年度2,3年次)・編入学生

指定科目 科 目 名	健康科学部開講授業科目 科 目 名	単位数		
		必修	選択必修	選択
医学概論	医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	2		
心理学と心理的支援	心理学と心理的支援(心理学概論)	2		
社会学と社会システム	社会学と社会システム	2		
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策a	2		
	社会福祉の原理と政策b			2
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	2		
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職			2
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)			2
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法a			2
	ソーシャルワークの理論と方法b			2
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワークの理論と方法(専門)a			2
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)b			2
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制a			2
	地域福祉と包括的支援体制b			2
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営			2
社会保障	社会保障a ※1	2		
	社会保障b ※1	2		
高齢者福祉	高齢者福祉			2
障害者福祉	障害者福祉	2		
児童・家庭福祉	児童・家庭福祉			2
貧困に対する支援	貧困に対する支援			2
保健医療と福祉	保健医療と福祉			2
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度			2
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉			2
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習			2
ソーシャルワーク演習(専門)	ソーシャルワーク演習(専門)a			2
	ソーシャルワーク演習(専門)b			2
	ソーシャルワーク演習(専門)c			2
	ソーシャルワーク演習(専門)d			2
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導a			2
	ソーシャルワーク実習指導b			2
	ソーシャルワーク実習指導c			2
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習a			1
	ソーシャルワーク実習b			4

※1 編入学生において「社会保障a」「社会保障b」は選択科目として扱われる。

II 健康科学部 [2. カリキュラム]

4) 精神保健福祉士受験「指定科目」と健康科学部の開講授業科目対照表

※人間コミュニケーション学科入学生（2022年度から2024年度）・転学科生（2024年度以前／2025年度2、3年次）・編入学生

指定科目 科 目 名	健康科学部開講授業科目 科 目 名	単位数		
		必修	選択 必修	選択
医学概論	医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	2		
心理学と心理的支援	心理学と心理的支援(心理学概論)	2		
社会学と社会システム	社会学と社会システム	2		
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策 a	2		
	社会福祉の原理と政策 b			2
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制 a			2
	地域福祉と包括的支援体制 b			2
社会保障	社会保障 a ※1	2		
	社会保障 b ※1	2		
障害者福祉	障害者福祉	2		
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度			2
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉			2
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	2		
精神医学と精神医療	精神医学と精神医療 A(精神疾患とその治療 1)	2		
	精神医学と精神医療 B(精神疾患とその治療 2)	2		
現代の精神保健の課題と支援	現代の精神保健の課題と支援 A			2
	現代の精神保健の課題と支援 B			2
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職			2
精神保健福祉の原理	精神保健福祉の原理 A			2
	精神保健福祉の原理 B			2
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法 a			2
	ソーシャルワークの理論と方法 b			2
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワークの理論と方法(専門) A			2
	ソーシャルワークの理論と方法(専門) B			2
精神障害リハビリテーション論	精神障害リハビリテーション論			2
精神保健福祉制度論	精神保健福祉制度論			2
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習			2
ソーシャルワーク演習(専門)	ソーシャルワーク演習(専門) A			2
	ソーシャルワーク演習(専門) B			2
	ソーシャルワーク演習(専門) C			2
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導 A			2
	ソーシャルワーク実習指導 B			2
	ソーシャルワーク実習指導 C			2
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習 A			2
	ソーシャルワーク実習 B			2

※1 編入学生において「社会保障 a」「社会保障 b」は選択科目として扱われる。

5) 公認心理師受験「指定科目」(学部要件)と健康科学部の開講授業科目対照表

※人間コミュニケーション学科入学生(2022年度から2024年度)・転学科生(2024年度以前/2025年度2,3年次)・編入学生

指定科目 科 目 名	健康科学部開講授業科目 科 目 名	単位数		
		必修	選択 必修	選択
公認心理師の職責	公認心理師の職責			2
心理学概論	心理学と心理的支援(心理学概論)	2		
臨床心理学概論	臨床心理学概論	2		
心理学研究法	心理学研究法			2
心理学統計法	心理学統計法			2
心理学実験	心理学実験 1			1
	心理学実験 2			1
知覚・認知心理学	知覚・認知心理学 ※1			2
学習・言語心理学	学習・言語心理学 ※1	2		
感情・人格心理学	感情・人格心理学 ※1	2		
神経・生理心理学	神経・生理心理学 ※1	2		
社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学 ※1	2		
発達心理学	発達心理学	2		
障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学			2
心理的アセスメント	心理的アセスメント			2
心理学的支援法	心理学的支援法			2
健康・医療心理学	健康・医療心理学			2
福祉心理学	福祉心理学			2
教育・学校心理学	教育・学校心理学			2
司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学			2
産業・組織心理学	産業・組織心理学			2
人体の構造と機能及び疾病	医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	2		
精神疾患とその治療	精神医学と精神医療A(精神疾患とその治療1)	2		
	精神医学と精神医療B(精神疾患とその治療2)	2		
関係行政論	関係行政論			2
心理演習	心理演習 1			1
	心理演習 2			1
心理実習	心理実習 1 または心理実習 2 ※2			2

※1 編入学生において「知覚・認知心理学」「学習・言語心理学」「感情・人格心理学」「神経・生理心理学」「社会・集団・家族心理学」は選択科目として扱われる。

※2 「心理実習1」「心理実習2」は履修時期と履修クラス設定の違いであり、どちらか1つを履修する。

3. 履修の手引き

3. 履修の手引き

3. 1 授業実施に関する事項

1) 学期

授業の実施は1年間を「前期」と「後期」の2期に分けて行います。各学期の予定は、「学年歴」を参照してください。

2) 授業時間

一時限の授業時間を90分として、次の表に従って授業を実施しています。

時 限	1	2	3	4	5
開 始	9 : 0 0	1 0 : 4 0	1 3 : 0 0	1 4 : 4 0	1 6 : 2 0
終 了	1 0 : 3 0	1 2 : 1 0	1 4 : 3 0	1 6 : 1 0	1 7 : 5 0

3) 各種必要事項の伝達方法

授業に関する必要事項は、全てA棟1階屋外掲示板及び事務室カウンター前掲示板にてお知らせします。また、必要に応じて大学ホームページ内学内掲示板においてもお知らせします。

掲示物の見落としによる不利益については、学生個人の責任となりますので、必ず1日1回以上掲示板を見るよう習慣づけてください。

なお、電話による各種問い合わせには、内容により対応します。

主に下記事項について、お知らせします。

- ・ 各種手続きに関する情報（手続方法・期間 等）
- ・ 授業の開講に関する情報（休講、補講実施、時限変更 等）
- ・ 試験に関する情報（試験日程、試験課題 等）

4) 休講

天候や大学の都合により、授業を休講（休み）にすることがあります。休講についてのお知らせは、「3）各種必要事項の伝達方法」のとおり対応します。

◆ 授業科目個別の休講

担当教員の都合や授業実施に係る調整などにより各授業科目個別に休講が生じた場合は、原則として学内の掲示板にてお知らせします。なお、必要に応じて本学ホームページにおいてもお知らせします。

◆ 天候等により通学が困難となったときの全学的な休講

次の場合において、公共交通機関の一部が運休となり、または自動車等による通学が著しく困難となったときは、その状況に合わせて全学的に休講することがあります。当該休講は、本学ホームページにてお知らせします。

- | |
|---|
| <p>① 山梨県下において大雨、暴風、暴風雪若しくは大雪の特別警報又は大雨、洪水、暴風、暴風雪若しくは大雪の警報が発令されたとき。</p> <p>② 山梨県下において地震その他の自然現象に起因する災害等が発生したとき。</p> |
|---|

等

※ 1 学生間のうわさ等で判断せず、不明確な場合は事務室窓口にお問い合わせください。

※ 2 当日の連絡も多いので注意してください。

5) 補講

授業が休講になった場合は、休講分の授業を補うため補講を行います。また、授業の進行上の都合によっても補講を行う場合があります。補講の実施については、「3) 各種必要事項の伝達方法」のとおり掲示板にて行います。

6) 閉講

履修者少数又は教育課程の変更等により当該年度に授業科目を開講することが困難であると判断した場合は、閉講することがあります。

7) 授業の出席基準

授業は、全ての回に出席することが前提です。出席状況は学生自身が管理してください。

出席回数が総授業回数の3分の2（科目名に演習又は実習を含む授業科目については5分の4）に満たない場合は、当該授業科目の履修を放棄したものとみなし、試験の受験資格を失います。したがって、当該授業科目の試験を受験できないため、単位も修得できませんので注意してください。

8) 欠席等の取り扱い

(1) 遅刻

病気、その他の理由により授業を遅刻する場合は、授業開始20分まで出席として認められます。遅刻した者の出席は、当該回の出席を0.5回として計算します。

(2) 早退

病気、その他の理由により授業を早退する場合は、当該授業科目の担当教員に申し出てください。早退した者の出席は、当該回の出席を0.5回として計算します。ただし、授業の出席時間が45分に満たない場合は欠席扱いとします。

(3) 1週間以上の欠席

病気、その他の理由により授業を1週間以上欠席する場合は、事前又は事後1週間以内に「欠席届」に必要事項を記入の上、事務室窓口に提出してください。

(4) 公欠となる欠席

公欠とは、授業を欠席、遅刻又は早退をしたものと取り扱わないことをいいます。

次の理由により授業を欠席、遅刻又は早退し所定の手続を経た者は、公欠として取り扱います。この場合、授業の欠席日数には含めませんが、公欠を含めた欠席回数が総授業回数

3分の1(科目名に演習・実習を含む授業科目は5分の1)を超えた場合は補習を行います。

手続きについては、事前又は事後1週間以内に「公欠願」に必要事項を記入の上、各必要書類を添えて事務室窓口に提出してください。

【公欠となる欠席等の理由】

- ① 学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症の罹患
申請に必要な書類：罹患証明書*（本学指定様式）又は医師の診断書
※ 罹患証明書の様式は、本学ホームページの下記場所からダウンロードできます。
【アクセス先】大学ホームページ » キャンパスライフ » 学生生活 » 保健室
- 認められる欠席日数：学校保健安全法施行規則第19条に規定する出席停止の期間（主な感染症）
- ◇第一種
エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。）及び特定鳥インフルエンザ（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成十年法律第百十四号）第六条第三項第六号に規定する特定鳥インフルエンザをいう。次号及び第十九条第二号イにおいて同じ。）

◇第二種
インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く。）、百日咳せき、麻しん、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱、新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。次条第二号チにおいて同じ。）、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎

◇第三種
コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎その他の感染症

◇その他
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第六条第七項から第九項までに規定する新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症
- *出席停止期間は、症状により個人差がありますので医師の指示に従ってください。
*学内または学外において感染を防止するため、出席停止期間中は、登校及び友人等との接触は避けてください。
- ② 公共交通機関の遅延
申請に必要な書類：当該交通機関の発行する遅延証明書
認められる欠席日数：欠席した当該授業の回
- ③ 天災またはその他災害による被害
申請に必要な書類：官公庁による被災証明書
認められる欠席日数：被害を受けた日から授業の出席が見込める日まで
- ④ 親族の死亡または危篤
申請に必要な書類：保護者・保証人等による証明書
認められる欠席日数：
- | | |
|-----------------|-------|
| 配偶者 | 10日以内 |
| 父母・子 | 7日以内 |
| 祖父母・孫・兄弟姉妹 | 3日以内 |
| 曾祖父母・曾孫・伯叔父母・甥姪 | 1日以内 |
- (※) 移動に伴い授業に出席することが困難である場合は、上記の日数に片道1日を限度に移動に要する日数を加えることができます。この場合は、上記必要書類に加えて移動が必要な理由を証明する書類を提出してください。

- ⑤ 就職試験の受験
申請に必要な書類：就職試験を証明するもの（試験日時、場所等の案内）
認められる欠席日数：当該就職試験が実施される日数
（※）移動に伴い授業に出席することが困難である場合は、上記の日数に片道1日を限度に移動に要する日数を加えることができます。この場合は、上記必要書類に加えて移動が必要な理由を証明する書類を提出してください。
（※）企業等説明会・インターンシップ・セミナー・見学への参加は、公欠に認められません。
- ⑥ 本学が認める諸行事への参加
申請に必要な書類：依頼書 等
認められる欠席日数：本学が認める日数
〈主な行事〉

・全国レベルの大会等に参加する課外活動	
・学外において行われる各種行事	
・援助活動	など
- ⑦ ①から⑥のほか本学が認めるもの
申請に必要な書類：欠席等の理由を証明する書類
認められる欠席日数：本学が認める日数

9) オフィスアワー

健康科学部では、学生からの授業内容等の質問や各種相談に応じる「オフィスアワー」の時間を設けています。各教員のオフィスアワーの時間帯は、シラバスを参照してください。

10) 授業中における注意事項

次の事項に注意してください。

- ① 授業中の私語は慎んでください。
- ② 授業中のスマートフォン・携帯電話の使用は禁止します。また、音が鳴らないように電源を切る若しくはマナーモードに設定するなどしてください。
- ③ 無断で教室を退室しないでください。

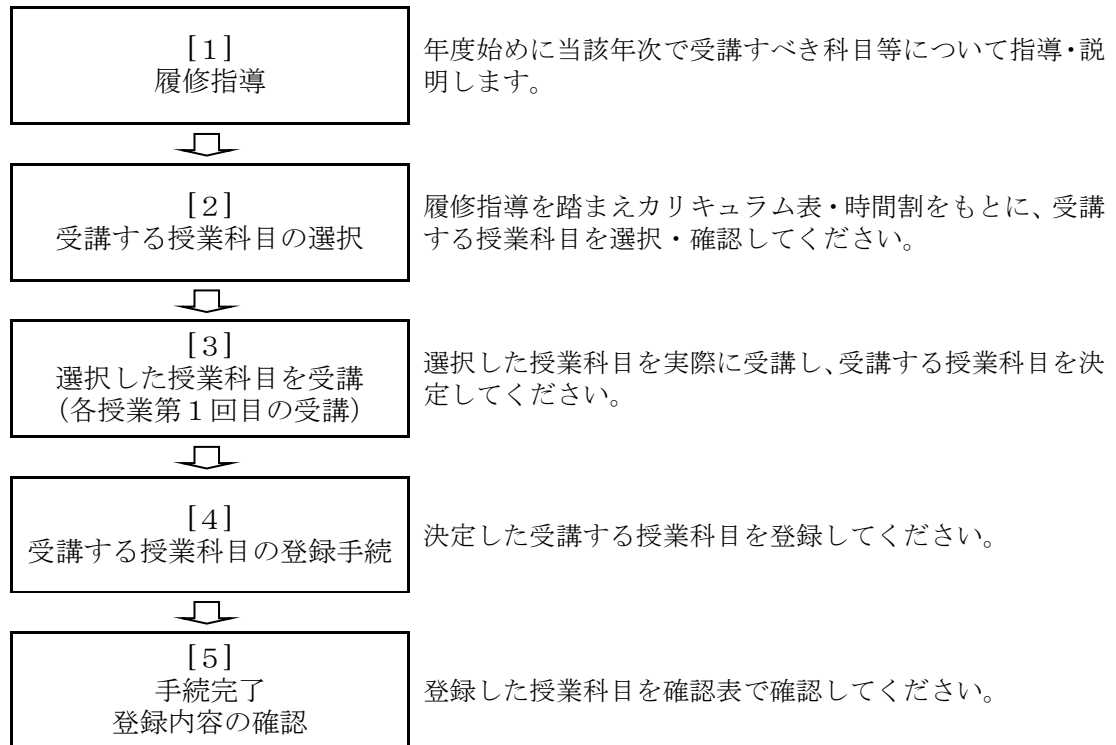
3. 2 授業科目の履修

1) 履修登録の方法

(1) 履修登録とは

履修登録とは、受講する授業科目を登録することです。登録することにより、授業科目を受講することができます。(注：登録をしない授業科目は受講することができません。)

(2) 履修登録の流れ



(3) 履修放棄

履修登録した授業科目について、出席回数が総授業回数の3分の2（科目名に演習又は実習を含む授業科目については5分の4）に満たない場合は、その授業科目の履修を放棄したものとみなされます。

履修登録した授業科目を自ら放棄する場合は、試験の受験資格を満たしている場合に限り、当該授業科目の定期試験日の前日までであれば履修の放棄を申し出ることができます。

2025年度入学生からGPA計算式に履修放棄の成績評価「K」が含まれます。2024年度までの入学生については、履修放棄の成績評価「K」はGPA計算式に含まれません。

(4) 履修取消

履修登録した授業科目のうち選択科目については、所定の手続きを経ることにより履修の取消を認めることがあります。履修の取消が認められた授業科目は、当初から履修手続きをしなかったものとして取り扱われます。ただし、履修放棄の基準に達した授業科目については、履修の取消は認められませんので、履修放棄とみなされる前に手続きを行うように注意してください。

II 健康科学部 [3. 履修の手引き]

2) 履修要件

(1) 授業科目

各学科における授業科目は、第II章 健康科学部 P6～38 の表のとおりです。

(2) 必修・選択の別

各授業科目は、「必修科目」「選択必修科目」「選択科目」の3種類に分けられます。

それぞれの説明は次のとおりです。

科目の種類	説 明
必修科目	必ず履修しなければならない授業科目です。
選択必修科目	当該授業科目のうち授業科目の区分ごとに定められた単位数分の授業科目を選択し履修しなければならない授業科目です。 (区分別に履修要件が定められているものもあります。)
選択科目	任意に選択して履修することができる授業科目です。

(3) 配当年次

各授業科目には、それぞれ受講が望ましい年次「配当年次」が設定されます。

原則として表示されている数字以上の年次で受講することができます。

【例】

科目名	配当年次	単位数		
		必修	選択必修	選択
臨床人間学スタディーズ	2・3		2	

2年次以上の学生が履修することができます。(4年次の学生も履修可能)

(4) 履修登録の制限 (CAP制)

学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修し、予習や復習など授業以外の自学自習の時間を確保できるように、1年間に履修登録できる授業科目の数を次の表のとおり単位で制限しています。

学 期	単位数
前 期	24単位まで
後 期	24単位まで
年 間	48単位まで

(5) 他学科授業科目の受講

他学科で開講される授業科目の受講については、担当教員の許可を受けた上で受講してください。なお、卒業に必要な単位としては、16単位まで認めることができます。

3) 履修モデル (参考例)

履修登録の参考とするための履修モデルを示します。本履修モデルは、あくまでも参考例であり、課程修了のための最小限の履修単位数を示しています。履修登録上限単位数 (年間 48 単位) の範囲内で積極的に履修してください。

II 健康科学部 [3. 履修の手引き]

(1) リハビリテーション学科 理学療法学コース／理学療法学科

i リハビリテーション学科 理学療法学コース 2023年度以降入学生適用

年次	総合基礎科目領域		専門科目領域	
1年次	基礎演習Ⅰ (1) 情報リテラシー (1) 物理基礎 (1) 統計学 (2) 人間関係論 (1)	基礎演習Ⅱ (1) 基礎数学演習 (1) 化学基礎 (1) 健康科学論 (1)	解剖学Ⅰ (2) 解剖学実習 (1) 生理学演習 (2) 運動学Ⅱ (2) 病理学 (1)	解剖学Ⅱ (2) 生理学 (2) 運動学Ⅰ (2) 人間発達学 (2)
	英語Ⅰ－1 (1)	英語Ⅰ－2 (1)	理学療法概論 (2) 理学療法演習Ⅰ－2 (1)	理学療法演習Ⅰ－1 (1) 見学実習 (1)
	外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から10単位分の授業科目を選んで履修)		(必要に応じて選択科目を履修)	
2年次	英語Ⅱ－1 (1)	英語Ⅱ－2 (1)	生理学実習 (1) 薬学 (1) 臨床医学総論 (1) 神経内科学 (2) 内科学 (2) リハビリテーション医学 (1)	運動学実習 (1) 栄養学 (2) 整形外科学 (2) 小児科学 (1) 精神医学 (2) 就労支援サービス (2)
	(必要に応じて選択科目を履修)		専門基礎科目群臨床人間学系、選択必修科目から1科目を選択 運動解剖学 (2) 理学療法評価学 (2) 理学療法演習Ⅱ－1 (1) 運動器系理学療法評価学演習 (1) 内部障害系理学療法評価学演習 (1) 日常生活活動学 (2) 地域理学療法学 (2) 検査測定実習 (1)	
	(必要に応じて選択科目を履修)		(必要に応じて選択科目を履修)	
3年次	(必要に応じて選択科目を履修)		理学療法研究法 (1) クリニカルリーディング (1) 運動療法学 (2) 運動器系理学療法実習 (1) 内部障害系理学療法実習 (1) 義肢装具学実習 (1) 小児理学療法学 (2) 評価実習 (6)	理学療法管理学 (2) 理学療法治療学 (2) 理学療法演習Ⅲ (1) 神経系理学療法実習 (1) 日常生活活動学実習 (1) 物理療法学 (2) 予防理学療法学 (1)
	(必要に応じて選択科目を履修)		(この他に選択科目から5単位分の授業科目を選んで履修)	
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)		チーム医療演習 (1) 理学療法特論 (2)	理学療法演習Ⅳ (1) 総合臨床実習 (11)
	(必要に応じて選択科目を履修)		(必要に応じて選択科目を履修)	

※ () 内の数字は単位数を表す。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域			計
	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
1年次	12 単位	1 単位	10 単位	21 単位	—	—	44 単位
2年次	2 単位	—	—	43 単位	1 単位	—	46 単位
3年次	—	—	—	20 単位	—	5 単位	25 単位
4年次	—	—	—	15 単位	—	—	15 単位
合計	14 単位	1 単位	10 単位	99 単位	1 単位	5 単位	130 単位

ii 理学療法学科 2020年度から2022年度入学生適用

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
1年次	基礎演習Ⅰ (1) 基礎演習Ⅱ (1) 情報リテラシー (1) 基礎数学演習 (1) 物理基礎 (1) 化学基礎 (1) 統計学 (2) 健康科学論 (1) 人間関係論 (1) 英語Ⅰ－1 (1) 英語Ⅰ－2 (1) 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から10単位分の授業科目を選んで履修)	解剖学Ⅰ (2) 解剖学Ⅱ (2) 解剖学実習 (1) 生理学 (2) 生理学演習 (2) 運動学Ⅰ (2) 運動学Ⅱ (2) 人間発達学 (2) 病理学 (1) 理学療法概論 (2) 理学療法演習Ⅰ－1 (1) 理学療法演習Ⅰ－2 (1) 見学実習 (1) (必要に応じて選択科目を履修)
2年次	英語Ⅱ－1 (1) 英語Ⅱ－2 (1) (必要に応じて選択科目を履修)	生理学実習 (1) 運動学実習 (1) 薬学 (1) 栄養学 (2) 臨床医学総論 (1) 整形外科学 (2) 神経内科学 (2) 小児科学 (1) 内科学 (2) 精神医学 (2) リハビリテーション医学 (1) 就労支援サービス (2) 専門基礎科目群臨床人間学系、選択必修科目から1科目を選択 運動解剖学 (2) 臨床運動学 (2) 理学療法評価学 (2) 理学療法評価学実習 (1) 理学療法演習Ⅱ－1 (1) 理学療法演習Ⅱ－2 (1) 運動器系理学療法評価学演習 (1) 神経系理学療法評価学演習 (1) 内部障害系理学療法評価学演習 (1) クリニカルリーディング (1) 理学療法治療学 (2) 運動療法学 (2) 日常生活活動学 (2) 義肢装具学 (2) 地域理学療法学 (2) 地域理学療法学実習 (1) 検査測定実習 (1) (必要に応じて選択科目を履修)
3年次	(必要に応じて選択科目を履修)	理学療法研究法 (1) 理学療法管理学 (2) 理学療法演習Ⅲ (1) 運動器系理学療法実習 (1) 神経系理学療法実習 (1) 内部障害系理学療法実習 (1) 日常生活活動学実習 (1) 義肢装具学実習 (1) 物理療法学 (2) 小児理学療法学 (2) 予防理学療法学 (1) 評価実習 (6) (この他に選択科目から5単位分の授業科目を選んで履修)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	チーム医療演習 (1) 理学療法演習Ⅳ (1) 理学療法特論 (2) 総合臨床実習 (11) (必要に応じて選択科目を履修)

※ () 内の数字は単位数を表す。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域			計
	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
1年次	12 単位	1 単位	10 単位	21 単位	—	—	44 単位
2年次	2 単位	—	—	43 単位	1 単位	—	46 単位
3年次	—	—	—	20 単位	—	5 単位	25 単位
4年次	—	—	—	15 単位	—	—	15 単位
合 計	14 単位	1 単位	10 単位	99 単位	1 単位	5 単位	130 単位

II 健康科学部 [3. 履修の手引き]

iii 理学療法学科 2016年度から2019年度入学生適用

年次	総合基礎科目領域		専門科目領域	
1年次	基礎演習Ⅰ (1) 統計学 (2) 心理学 (2)	基礎演習Ⅱ (1) 生活と物理 (2) 健康とリハビリテーション (2)	解剖学Ⅰ (2) 生理学 (2) 運動学Ⅰ (2) 運動生理学 (2) 病理学 (2)	解剖学実習 (1) 生理学演習 (2) 運動学Ⅱ (2) 人間発達学 (2) 臨床医学総論 (1)
	英語Ⅰ－1 (1)	英語Ⅰ－2 (1)		
	外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から3単位分の授業科目を選んで履修)		理学療法演習Ⅰ－1 (1) 理学療法演習Ⅰ－2 (1) 理学療法概論 (2) 臨床実習Ⅰ (1) (必要に応じて選択科目を履修)	
2年次	英語Ⅱ－1 (1)	英語Ⅱ－2 (1)	解剖学Ⅱ (2) 運動学実習 (1) 内科学 (2) 小児科学 (1) 精神医学Ⅰ (2)	生理学実習 (1) 整形外科学 (2) 神経内科学 (2) リハビリテーション医学 (1)
	(この他に選択科目から3単位分の授業科目を選んで履修)		理学療法演習Ⅱ－1 (1) 理学療法演習Ⅱ－2 (1) 理学療法診断学 (2) 理学療法評価学 (2) 理学療法評価学実習 (1) 運動療法学 (2) 運動解剖学 (2) 臨床実習Ⅱ (2) (この他に選択科目から7単位分の授業科目を選んで履修)	
3年次	(選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)		理学療法演習Ⅲ－1 (1) 理学療法演習Ⅲ－2 (1) 物理療法学 (1) 内部障害系理学療法学 (2) 内部障害系理学療法学実習 (1) 義肢装具学 (2) 義肢装具学実習 (1) 理学療法治療学 (2) 運動器系理学療法学 (2) 運動器系理学療法学実習 (1) 神経系理学療法学 (2) 神経系理学療法学実習 (1) 日常生活活動学 (2) 日常生活活動学実習 (1) 臨床運動学 (2) 理学療法マネジメント (1) 高齢者理学療法学 (1) 地域理学療法学 (1) 臨床実習Ⅲ (5) (この他に選択科目から5単位分の授業科目を選んで履修)	
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)		理学療法特論 (2) 理学療法演習Ⅳ (1) 臨床実習Ⅳ (10) (必要に応じて選択科目を履修)	

※ () 内の数字は単位数を表す。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域		計
	必修	選択必修	選択	必修	選択	
1年次	12 単位	1 単位	3 単位	23 単位	—	39 単位
2年次	2 単位	—	3 単位	27 単位	7 単位	39 単位
3年次	—	—	4 単位	30 単位	5 単位	39 単位
4年次	—	—	—	13 単位	—	13 単位
合計	14 単位	1 単位	10 単位	93 単位	12 単位	130 単位

(2) リハビリテーション学科 作業療法学コース／作業療学科

i リハビリテーション学科 作業療法学コース 2024年度以降入学生適用

年次	総合基礎科目領域		専門科目領域	
1年次	基礎演習Ⅰ (1) 情報リテラシー (1) 物理基礎 (1) 統計学 (2) 人間関係論 (1)	基礎演習Ⅱ (1) 基礎数学演習 (1) 化学基礎 (1) 健康科学論 (1)	解剖学Ⅰ (2) 解剖学実習 (1) 生理学演習 (2) 運動学Ⅱ (2) 病理学 (1)	解剖学Ⅱ (2) 生理学 (2) 運動学Ⅰ (2) 人間発達学 (2)
	英語Ⅰ－1 (1)	英語Ⅰ－2 (1)	作業療法概論 (2) 作業療法評価学 (2)	基礎作業学 (2) 臨床実習Ⅰ (見学実習) (1)
	外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から10単位分の授業科目を選んで履修)		(必要に応じて選択科目を履修)	
2年次	英語Ⅱ－1 (1)	英語Ⅱ－2 (1)	生理学実習 (1) 運動学実習 (1) 薬学 (1) 臨床医学総論 (1) 神経内科学 (2) 内科学 (2) リハビリテーション医学 (1) 神経心理学 (2)	栄養学 (2) 整形外科学 (2) 小児科学 (1) 精神医学 (2) 就労支援サービス (2)
	(必要に応じて選択科目を履修)		専門基礎科目群臨床人間学系、選択必修科目から1科目を選択 作業療法演習Ⅰ-1 (1) 研究法概論 (1) 身体作業療法評価学演習 (2) 精神作業療法評価学演習 (2) 発達作業療法評価学演習 (1) 日常生活評価学演習 (1) 作業療法演習Ⅰ-2 (1) 身体障害作業療法治療学 (2) 精神障害作業療法治療学 (2) (必要に応じて選択科目を履修)	
3年次	(必要に応じて選択科目を履修)		基礎作業学演習 (1) 老年期作業療法学 (2) 高次脳機能障害治療学 (2) 精神障害作業療法治療学演習 (2) 作業療法演習Ⅱ-1 (1) 義肢装具学 (2) 地域作業療法学 (2) 臨床実習Ⅲ (評価実習) (5)	作業療法管理学 (2) 発達障害作業療法治療学演習 (1) 身体障害作業療法治療学演習 (2) 日常生活活動学演習 (1) 作業療法演習Ⅱ-2 (1) 地域生活支援学 (2) 臨床実習Ⅱ (地域実習) (1)
	(必要に応じて選択科目を履修)		(この他に選択科目から1単位分の授業科目を選んで履修)	
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)		チーム医療演習 (1) 作業療法学特論 (1) 臨床実習Ⅳ (総合実習) (9) 臨床実習Ⅴ (総合実習) (9)	
	(必要に応じて選択科目を履修)		(必要に応じて選択科目を履修)	

※ () 内の数字は単位数を表す。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目			専門科目			計
	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
1年次	12単位	1単位	10単位	19単位	—	—	42単位
2年次	2単位	—	—	37単位	1単位	—	40単位
3年次	—	—	—	27単位	—	1単位	28単位
4年次	—	—	—	20単位	—	—	20単位
合計	14単位	1単位	10単位	103単位	1単位	1単位	130単位

II 健康科学部 [3. 履修の手引き]

ii リハビリテーション学科 作業療法学コース 2023年度入学生適用

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
1年次	基礎演習Ⅰ (1) 基礎演習Ⅱ (1) 情報リテラシー (1) 基礎数学演習 (1) 物理基礎 (1) 化学基礎 (1) 統計学 (2) 健康科学論 (1) 人間関係論 (1) 英語Ⅰ－1 (1) 英語Ⅰ－2 (1) 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から10単位分の授業科目を選んで履修)	解剖学Ⅰ (2) 解剖学Ⅱ (2) 解剖学実習 (1) 生理学 (2) 生理学演習 (2) 運動学Ⅰ (2) 病理学 (1) 作業療法概論 (2) 基礎作業学 (2) 作業療法評価学 (2) 臨床実習Ⅰ (見学実習) (1) (必要に応じて選択科目を履修)
2年次	英語Ⅱ－1 (1) 英語Ⅱ－2 (1) (必要に応じて選択科目を履修)	生理学実習 (1) 運動学Ⅱ (2) 運動学実習 (1) 人間発達学 (2) 薬学 (1) 栄養学 (2) 臨床医学総論 (1) 整形外科学 (2) 神経内科学 (2) 小児科学 (1) 内科学 (2) 精神医学 (2) リハビリテーション医学 (1) 就労支援サービス (2) 神経心理学 (2) 専門基礎科目群臨床人間学系、選択必修科目から1科目を選択 作業療法演習Ⅰ-1 (1) 研究法概論 (1) 身体作業療法評価学演習 (2) 精神作業療法評価学演習 (2) 発達作業療法評価学演習 (1) 日常生活評価学演習 (1) 作業療法演習Ⅰ-2 (1) 身体障害作業療法治療学 (2) 精神障害作業療法治療学 (2) (必要に応じて選択科目を履修)
3年次	(必要に応じて選択科目を履修)	基礎作業学演習 (1) 作業療法管理学 (2) 老年期作業療法学 (2) 発達障害作業療法治療学演習 (1) 高次脳機能障害治療学 (2) 身体障害作業療法治療学演習 (2) 精神障害作業療法治療学演習 (2) 日常生活活動学演習 (1) 作業療法演習Ⅱ-1 (1) 作業療法演習Ⅱ-2 (1) 義肢装具学 (2) 地域生活支援学 (2) 地域作業療法学 (2) 臨床実習Ⅱ (地域実習) (1) 臨床実習Ⅲ (評価実習) (5) (この他に選択科目から1単位分の授業科目を選んで履修)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	チーム医療演習 (1) 作業療法学特論 (1) 臨床実習Ⅳ (総合実習) (9) 臨床実習Ⅴ (総合実習) (9) (必要に応じて選択科目を履修)

※ () 内の数字は単位数を表す。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目			専門科目			計
	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
1年次	12単位	1単位	10単位	19単位	—	—	42単位
2年次	2単位	—	—	37単位	1単位	—	40単位
3年次	—	—	—	27単位	—	1単位	28単位
4年次	—	—	—	20単位	—	—	20単位
合計	14単位	1単位	10単位	103単位	1単位	1単位	130単位

iii 作業療法学科 2020年度から2022年度入学生適用

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
1年次	基礎演習Ⅰ (1) 基礎演習Ⅱ (1) 情報リテラシー (1) 基礎数学演習 (1) 物理基礎 (1) 化学基礎 (1) 統計学 (2) 健康科学論 (1) 人間関係論 (1) 英語Ⅰ－1 (1) 英語Ⅰ－2 (1) 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から10単位分の授業科目を選んで履修)	解剖学Ⅰ (2) 解剖学Ⅱ (2) 解剖学実習 (1) 生理学 (2) 生理学演習 (2) 運動学Ⅰ (2) 病理学 (1) 作業療法概論 (2) 基礎作業学 (2) 作業療法評価学 (2) 臨床実習Ⅰ (見学実習) (1)
2年次	英語Ⅱ－1 (1) 英語Ⅱ－2 (1) (必要に応じて選択科目を履修)	生理学実習 (1) 運動学Ⅱ (2) 運動学実習 (1) 人間発達学 (2) 薬学 (1) 栄養学 (2) 臨床医学総論 (1) 整形外科学 (2) 神経内科学 (2) 小児科学 (1) 内科学 (2) 精神医学 (2) リハビリテーション医学 (1) 就労支援サービス (2) 神経心理学 (2) 専門基礎科目群臨床人間学系、選択必修科目から1科目を選択 作業療法演習Ⅰ-1 (1) 研究法概論 (1) 身体作業療法評価学演習 (2) 精神作業療法評価学演習 (2) 発達作業療法評価学演習 (1) 日常生活評価学演習 (1) 作業療法演習Ⅰ-2 (1) 身体障害作業療法治療学 (2) 精神障害作業療法治療学 (2) (必要に応じて選択科目を履修)
3年次	(必要に応じて選択科目を履修)	基礎作業学演習 (1) 作業療法管理学 (2) 老年期作業療法学 (2) 発達障害作業療法治療学演習 (1) 高次脳機能障害治療学 (2) 身体障害作業療法治療学演習 (2) 精神障害作業療法治療学演習 (2) 日常生活活動学演習 (1) 作業療法演習Ⅱ-1 (1) 作業療法演習Ⅱ-2 (1) 義肢装具学 (2) 地域生活支援学 (2) 地域作業療法学 (2) 臨床実習Ⅱ (地域実習) (1) 臨床実習Ⅲ (評価実習) (5) (この他に選択科目から1単位分の授業科目を選んで履修)
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)	チーム医療演習 (1) 作業療法学特論 (1) 臨床実習Ⅳ (総合実習) (9) 臨床実習Ⅴ (総合実習) (9) (必要に応じて選択科目を履修)

※ () 内の数字は単位数を表す。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目			専門科目			計
	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
1年次	12単位	1単位	10単位	19単位	—	—	42単位
2年次	2単位	—	—	37単位	1単位	—	40単位
3年次	—	—	—	27単位	—	1単位	28単位
4年次	—	—	—	20単位	—	—	20単位
合計	14単位	1単位	10単位	103単位	1単位	1単位	130単位

II 健康科学部 [3. 履修の手引き]

(3) 人間コミュニケーション学科

i 2025年度入学生・1年次転学科生適用

年次	総合基礎科目領域		専門科目領域	
1年次	基礎演習Ⅰ (1) 情報リテラシー (1) 健康科学論 (1) 人間関係論 (1)	基礎演習Ⅱ (1) 心理学概論 (2) 発達心理学 (2) コミュニケーション論 (1)	社会学 (2) 臨床心理学概論 (2) ホスピタリティ経営と顧客価値の創造 (2) 学習・言語心理学 (2) 福祉心理学基盤演習Ⅱ (2)	現代社会と福祉 (2) 社会・集団・家族心理学 (2) 人体の構造と機能及び疾病 (2) 福祉心理学基盤演習Ⅰ (2)
	英語Ⅰ－１ (1) 英語Ⅰ－２ (1)			
	人間基礎科目群中、選択必修科目から1科目を選択 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から9単位分の授業科目を選んで履修)		(この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修)	
2年次	英語Ⅱ－１ (1)	英語Ⅱ－２ (1)	精神疾患とその治療Ⅰ (2) 神経・生理心理学 (2)	障害者福祉 (2)
	(必要に応じて選択科目を履修)		社会福祉調査の基礎 (2) 福祉心理学基盤演習Ⅲ (2)	感情・人格心理学 (2) 福祉心理学基盤演習Ⅳ (2)
			専門基礎科目群臨床人間学系、選択必修科目から1科目を選択 (この他に選択科目から23単位分の授業科目を選んで履修)	
3年次	(必要に応じて選択科目を履修)		精神疾患とその治療Ⅱ (2) 社会保障Ⅱ (2) 福祉心理学専門演習Ⅱ (2)	社会保障Ⅰ (2) 福祉心理学専門演習Ⅰ (2)
			(この他に選択科目から23単位分の授業科目を選んで履修)	
4年次	(必要に応じて選択科目を履修)		福祉心理学専門演習Ⅲ (2)	福祉心理学専門演習Ⅳ (2)
			(この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修)	

※ () 内の数字は単位数を表す。

※ 転学科生については、転学科年次により各自の修得科目及び単位に応じて適宜履修してください。

※ 2年次転学科生については、専門科目領域 福祉心理学基盤演習Ⅰおよび福祉心理学基盤演習Ⅱは履修する必要はありません。

※ 3年次転学科生については、専門科目領域 福祉心理学基盤演習Ⅰ、福祉心理学基盤演習Ⅱ、福祉心理学基盤演習Ⅲおよび福祉心理学基盤演習Ⅳは履修する必要はありません。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域			計
	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
1年次	12単位	2単位	9単位	18単位		2単位	43単位
2年次	2単位	—	—	14単位	1単位	23単位	40単位
3年次	—	—	—	10単位	—	23単位	33単位
4年次	—	—	—	4単位	—	4単位	8単位
合計	14単位	2単位	9単位	46単位	1単位	52単位	124単位

ii 2022年度から2024年度入学生・転学科生（2024年度以前／2025年度2，3年次）適用

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
1年次	基礎演習Ⅰ（1） 情報リテラシー（1） 健康科学論（1） 人間関係論（1） 英語Ⅰ－1（1） 基礎演習Ⅱ（1） 心理学と心理的支援（心理学概論）（2） 発達心理学（2） コミュニケーション論（1） 英語Ⅰ－2（1） 人間基礎科目群中、選択必修科目から1科目を選択 外国語科目群中、選択必修科目から1科目を選択 （この他に選択科目から9単位分の授業科目を選んで履修）	社会福祉原理と政策a（2） 社会学と社会システム（2） 臨床心理学概論（2） 社会・集団・家族心理学（2） 医学概論（人体の構造と機能及び疾病）（2） 学習・言語心理学（2） 福祉心理学基盤演習Ⅰ（1） 福祉心理学基盤演習Ⅱ（1） 専門基礎科目群基礎医学系、選択必修科目から1科目を選択 （この他に選択科目から2単位分の授業科目を選んで履修）
2年次	英語Ⅱ－1（1） 英語Ⅱ－2（1） （必要に応じて選択科目を履修）	精神医学と精神医療A（精神疾患とその治療1）（2） 障害者福祉（2） 神経・生理心理学（2） 社会福祉調査の基礎（2） 感情・人格心理学（2） 福祉心理学基盤演習Ⅲ（2） 福祉心理学基盤演習Ⅳ（2） 専門基礎科目群臨床人間学系、選択必修科目から1科目を選択 （この他に選択科目から24単位分の授業科目を選んで履修）
3年次	（必要に応じて選択科目を履修）	精神医学と精神医療B（精神疾患とその治療2）（2） 社会保障a（2） 社会保障b（2） 福祉心理学専門演習Ⅰ（2） 福祉心理学専門演習Ⅱ（2） （この他に選択科目から30単位分の授業科目を選んで履修）
4年次	（必要に応じて選択科目を履修）	チーム医療演習（1） 福祉心理学専門演習Ⅲ（2） 福祉心理学専門演習Ⅳ（2） （この他に選択科目から4単位分の授業科目を選んで履修）

※（ ）内の数字は単位数を表す。

※ 社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師の受験資格を目指す場合は、P69・70・71に示す授業科目を履修し単位を修得する必要があります。

※ 転学科生については、転学科年次により各自の修得科目及び単位に応じて適宜履修してください。

※ 2年次転学科生については、専門科目領域 福祉心理学基盤演習Ⅰおよび福祉心理学基盤演習Ⅱは履修する必要はありません。

※ 3年次転学科生については、専門科目領域 福祉心理学基盤演習Ⅰ、福祉心理学基盤演習Ⅱ、福祉心理学基盤演習Ⅲおよび福祉心理学基盤演習Ⅳは履修する必要はありません。

「単位の内訳」

年次	総合基礎科目領域			専門科目領域			計
	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	
1年次	12単位	2単位	9単位	14単位	1単位	2単位	40単位
2年次	2単位	—	—	14単位	1単位	24単位	41単位
3年次	—	—	—	10単位	—	30単位	40単位
4年次	—	—	—	5単位	—	4単位	9単位
合計	14単位	2単位	9単位	43単位	2単位	60単位	130単位

II 健康科学部 [3. 履修の手引き]

iii 編入学生適用

※ 単位認定において総合基礎科目領域 18 単位、専門科目領域 30 単位が認められた場合。

年次	総合基礎科目領域	専門科目領域
3 年次	心理学と心理的支援（心理学概論）（2） 健康科学論（1） 発達心理学（2） 人間基礎科目群中、選択必修科目から 1 科目を選択 （この他に選択科目から 1 単位分の授業科目を選んで履修）	精神医学と精神医療 A（精神疾患とその治療 1）（2） 社会福祉雄原理と政策 a（2） 社会学と社会システム（2） 障害者福祉（2） 臨床心理学概論（2） 医学概論（人体の構造と機能及び疾病）（2） 社会福祉調査の基礎（2） 精神医学と精神医療 B（精神疾患とその治療 2）（2） 福祉心理学専門演習Ⅱ（2） 福祉心理学専門演習Ⅰ（2） （この他に選択科目から 21 単位分の授業科目を選んで履修）
4 年次	（必要に応じて選択科目を履修）	チーム医療演習（1） 福祉心理学専門演習Ⅲ（2） 福祉心理学専門演習Ⅳ（2） （この他に選択科目から 29 単位分の授業科目を選んで履修）

※（ ）内の数字は単位数を表す。

※ 社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師の受験資格を目指す場合は、P69・70・71 に示す授業科目を履修し単位を修得する必要があります。

「単位の内訳」

年 次	総合基礎科目領域				専門科目領域			計
	必修	選択必修	選択	認定	必修	選択	認定	
—	—	—	—	18 単位	—	—	30 単位	48 単位
3 年次	5 単位	1 単位	1 単位	—	20 単位	21 単位	—	48 単位
4 年次	—	—	—	—	5 単位	29 単位	—	34 単位
合 計	5 単位	1 単位	1 単位	18 単位	25 単位	50 単位	30 単位	130 単位

4) 既修得単位の認定

入学前に他大学等において修得した授業科目の単位は、以下の方法により認定されることがあります。

(1) 教育課程の所要単位への包括的な単位認定

この単位認定は、本学健康科学部人間コミュニケーション学科に編入学した学生に適用され、短期大学・専門学校等で修得した授業科目の単位を包括的に当該学科における教育課程の所要単位として認定するものです。この方法で認定される単位数の上限は、以下のとおりとなります。なお、認定された単位は、それぞれの科目区分の自由選択の単位として算入されます。

学科	科目区分	包括認定単位数上限
		2024 年度以降編入学
人間コミュニケーション学科	総合基礎科目領域	18 単位まで
	専門科目領域	30 単位まで

(2) 授業科目別の単位認定

この単位認定は、入学前に他大学等において修得した授業科目のうち、本学の授業科目の内容と同等以上のものを本学の授業科目を修得したものとして授業科目別に単位を認定するものです。この単位認定には手続きが必要となりますので、該当する学生は事務室において手続きを行ってください。

5) 授業科目の履修に伴う前提条件

各学科の一部の授業科目では、当該授業科目を履修するために必要な条件が設けられているものがあります。以下に示す授業科目の履修については、指定する授業科目又は単位数等の修得を前提としています。

(1) リハビリテーション学科 理学療法学コース／理学療法学科

i 2020年度以降入学生適用

前提条件のある科目名	指定する授業科目又は単位数等の修得の前提条件
理学療法評価学実習 運動器系理学療法評価学演習 神経系理学療法評価学演習 内部障害系理学療法評価学演習	理学療法評価学の単位を修得していることが履修の要件です。
地域理学療法学実習 検査測定実習	専門基礎科目群および専門科目群の授業科目のうち、2年次終了までに履修することができる必須科目の単位を全て（地域理学療法学実習、検査測定実習を除く）修得していることが履修の要件です。なお、実習中に定めた単位を修得できないことが判明した場合は、地域理学療法学実習及び検査測定実習の単位は認めないこととなっています。
評価実習	専門基礎科目群および専門科目群の授業科目のうち、3年前期の終了までに履修することができる必須科目の単位を全て修得していることが履修の要件です。なお、実習中に定めた単位を修得できないことが判明した場合は、評価実習の単位は認めないこととなっています。
理学療法特論 総合臨床実習	専門基礎科目群および専門科目群の授業科目のうち、3年次終了までに履修することができる必須科目の単位を全て（評価実習を含む）修得していることが履修の要件です。

ii 2016年度から2019年度入学生適用

前提条件のある科目名	指定する授業科目又は単位数等の修得の前提条件
理学療法評価学実習	理学療法評価学および理学療法診断学の単位を修得していることが履修の要件です。
臨床実習Ⅱ	専門基礎科目群および専門科目群の授業科目のうち、2年次終了までに履修することができる必須科目の単位を全て（臨床実習Ⅱを除く）修得していることが履修の要件です。なお、実習中に定めた単位を修得できないことが判明した場合は、臨床実習Ⅱ（検査・測定実習）の単位は認めないこととなっています。
臨床実習Ⅲ	専門基礎科目群および専門科目群の授業科目のうち、3年次終了までに履修することができる必須科目の単位を全て（臨床実習Ⅲを除く）修得していることが履修の要件です。なお、実習中に定めた単位を修得できないことが判明した場合は、臨床実習Ⅲ（評価実習）の単位は認めないこととなっています。
理学療法特論・臨床実習Ⅳ	専門基礎科目群および専門科目群の授業科目のうち、3年次終了までに履修することができる必須科目の単位を全て（臨床実習Ⅲを含む）修得していることが履修の要件です。

(2) リハビリテーション学科 作業療法学コース／作業療学科（2020年度以降入学生適用）

前提条件のある科目名	指定する授業科目又は単位数等の修得の前提条件
作業療法演習Ⅰ-2	作業療法演習Ⅰ-1の単位を修得していることが履修の要件です。
作業療法演習Ⅱ-2	作業療法演習Ⅱ-1の単位を修得していることが履修の要件です。
臨床実習Ⅲ（評価実習）	臨床実習Ⅱ（地域実習）を除く3年生前期までに配当されている卒業に必要な必修、選択必修、選択のすべての科目を履修し単位を修得していることが履修の要件です。
臨床実習Ⅳ（総合実習）	臨床実習Ⅴ（総合実習）および作業療法学特論を除く卒業に必要なすべての科目を履修し単位を修得していることが履修の要件です。
臨床実習Ⅴ（総合実習）	臨床実習Ⅳ（総合実習）および作業療法学特論を除く卒業に必要なすべての科目を履修し単位を修得していることが履修の要件です。

Ⅱ 健康科学部 [3. 履修の手引き]

(3) 人間コミュニケーション学科 2024年度以前入学生・2024年度以前転学科生/2025年度2,3年次転学科生適用

① ソーシャルワーク演習

ソーシャルワーク演習を履修するためには、2年次前期までに以下の2点の要件を満たしていることが必要となります。なお、社会福祉士の国家資格を目指す場合は表1、精神保健福祉士の国家資格を目指す場合は表2、両方の国家資格を目指す場合は表1・表2の両方が対象となります。

要件1：該当科目を履修し単位を取得していること。

要件2：該当科目のGPAが2.8以上であること。

要件1・2のいずれかを満たさなかった場合には、翌年度以降、以下の条件を満たすことによってソーシャルワーク演習の履修を認めます。

(ア)要件1を満たしていない場合には、翌年度の前期終了時に要件1を満たしていること。

(イ)要件2を満たしていない場合には、翌年度、ソーシャルワーク演習開講前に実施される学力評価試験を受け合格すること。

(ウ)上記(ア)(イ)にかかわらず、担当教員による面接指導を継続して受けること。

なお、特別な事由により前述の要件で履修することが困難である学生（例：編入学生・転学科生等）は、単位取得状況等を鑑みて当該授業科目の履修の可否について学科会議で審議します。

表 1

科目区分	科 目 名	配当年次	単位数	要件 1 該当科目 (○で表示)	要件 2 該当科目 (○で表示)
総合基礎科目領域	基礎演習Ⅰ	1	1	○	
	基礎演習Ⅱ	1	1	○	
	情報リテラシー	1	1	○	
	心理学と心理的支援（心理学概論）	1	2	○	○
	健康科学論	1	1	○	
	人間関係論	1	1	○	
	発達心理学	1	2	○	
	英語Ⅰ-1	1	1	○	
	英語Ⅰ-2	1	1	○	
	英語Ⅱ-1	2	1	○	
専門科目領域	社会福祉の原理と政策 a	1	2	○	○
	社会学と社会システム	1	2	○	○
	障害者福祉	2	2	○	○
	高齢者福祉	2	2	○	○
	臨床心理学概論	1	2	○	
	社会・集団・家族心理学	1	2	○	
	医学概論（人体の構造と機能及び疾病）	1	2	○	○
	ソーシャルワークの基盤と専門職	1	2	○	○
	ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	1	2	○	○
	ソーシャルワークの理論と方法 a	1	2	○	○
	ソーシャルワークの理論と方法 b	1	2	○	○
	社会福祉調査の基礎	2	2	○	○
	地域福祉と包括的支援体制 a	2	2	○	○
	児童・家庭福祉	2	2	○	○
	ソーシャルワークの理論と方法（専門） a	2	2	○	○
	学習・言語心理学	1	2	○	
	感情・人格心理学	2	2	○	
	福祉心理学基盤演習Ⅰ	1	1	○	
	福祉心理学基盤演習Ⅱ	1	1	○	
	福祉心理学基盤演習Ⅲ	2	2	○	
合 計			50		

表 2

科目区分	科 目 名	配当年次	単位数	要件 1 該当科目 (○で表示)	要件 2 該当科目 (○で表示)
総合基礎科目領域	基礎演習Ⅰ	1	1	○	
	基礎演習Ⅱ	1	1	○	
	情報リテラシー	1	1	○	
	心理学と心理的支援（心理学概論）	1	2	○	○
	健康科学論	1	1	○	
	人間関係論	1	1	○	
	発達心理学	1	2	○	
	英語Ⅰ-1	1	1	○	
	英語Ⅰ-2	1	1	○	
	英語Ⅱ-1	2	1	○	

II 健康科学部 [3. 履修の手引き]

科目区分	科 目 名	配当年次	単位数	要件1 該当科目 (○で表示)	要件2 該当科目 (○で表示)
専門科目領域	社会福祉の原理と政策 a	1	2	○	○
	社会学と社会システム	1	2	○	○
	障害者福祉	2	2	○	○
	現代の精神保健の課題と支援A	2	2	○	○
	臨床心理学概論	1	2	○	
	社会・集団・家族心理学	1	2	○	
	医学概論（人体の構造と機能及び疾病）	1	2	○	○
	ソーシャルワークの基盤と専門職	1	2	○	○
	ソーシャルワークの理論と方法 a	1	2	○	○
	ソーシャルワークの理論と方法 b	1	2	○	○
	精神保健福祉の原理A	1	2	○	○
	社会福祉調査の基礎	2	2	○	○
	地域福祉と包括的支援体制 a	2	2	○	○
	ソーシャルワークの理論と方法（専門）A	2	2	○	○
	学習・言語心理学	1	2	○	
	感情・人格心理学	2	2	○	
	福祉心理学基盤演習Ⅰ	1	1	○	
	福祉心理学基盤演習Ⅱ	1	1	○	
	福祉心理学基盤演習Ⅲ	2	2	○	
合 計			48		

② コミュニケーション演習

コミュニケーション演習を履修するためには、2 年前期までに表3における以下の 2 点の要件を満たしていることが必要となります。

要件1：該当科目を履修し単位を取得していること。

要件2：該当科目の GPA が 2.8 以上であること。

要件1・2 のいずれかを満たさなかった場合には、翌年度以降、以下の条件を満たすことによってコミュニケーション演習の履修を認めます。

(ア) 要件1 を満たしていない場合には、翌年度の前期終了時に要件1 を満たしていること。

(イ) 要件2 を満たしていない場合には、翌年度、コミュニケーション演習開講前に実施される学力評価試験を受け合格すること。

(ウ) 上記(ア)(イ)にかかわらず、担当教員による面接指導を継続して受けること。

なお、特別な事由により前述の要件で履修することが困難である学生（例：編入学生・転学科生等）は、単位取得状況等を鑑みて当該授業科目の履修の可否について学科会議で審議します。

表 3

科目区分	科 目 名	配当年次	単位数	要件 1 該当科目 (○で表示)	要件 2 該当科目 (○で表示)
総合基礎科目領域	基礎演習Ⅰ	1	1	○	
	基礎演習Ⅱ	1	1	○	
	情報リテラシー	1	1	○	
	心理学と心理的支援（心理学概論）	1	2	○	○
	健康科学論	1	1	○	
	人間関係論	1	1	○	
	発達心理学	1	2	○	○
	英語Ⅰ-1	1	1	○	
	英語Ⅰ-2	1	1	○	
	英語Ⅱ-1	2	1	○	
専門科目領域	社会福祉の原理と政策 a	1	2	○	
	社会学と社会システム	1	2	○	
	障害者福祉	2	2	○	
	臨床心理学概論	1	2	○	○
	社会・集団・家族心理学	1	2	○	○
	障害者・障害児心理学	2	2	○	○
	医学概論（人体の構造と機能及び疾病）	1	2	○	○
	社会福祉調査の基礎	2	2	○	
	心理学実験Ⅰ	1	1	○	○
	知覚・認知心理学	1	2	○	○
	学習・言語心理学	1	2	○	○
	心理学統計法	2	2	○	○
	感情・人格心理学	2	2	○	○
	福祉心理学基盤演習Ⅰ	1	1	○	
	福祉心理学基盤演習Ⅱ	1	1	○	
	福祉心理学基盤演習Ⅲ	2	2	○	
合 計			41		

③ 社会福祉士の国家資格を目指す場合の、ソーシャルワーク演習（専門）・ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習

表 4 に定める科目を履修するためには、ソーシャルワーク演習を履修し単位を取得している必要があります。なお、特別な事由により前述の要件で履修することが困難である学生（例：編入学生・転学科生等）は、単位取得状況等を鑑みて当該授業科目の履修の可否について学科会議で審議します。

表 4

科目区分	科 目 名	配当年次	単位数
専門科目領域	ソーシャルワーク演習（専門） a	2	2
	ソーシャルワーク演習（専門） b	3	2
	ソーシャルワーク演習（専門） c	3	2
	ソーシャルワーク演習（専門） d	4	2
	ソーシャルワーク実習指導 a	2	2
	ソーシャルワーク実習指導 b	3	2
	ソーシャルワーク実習指導 c	4	2
	ソーシャルワーク実習 a	2	1
	ソーシャルワーク実習 b	3・4	4
合 計			19

II 健康科学部 [3. 履修の手引き]

④ 精神保健福祉士の国家資格を目指す場合の、ソーシャルワーク演習（専門）・ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習

表5に定める科目を履修するためには、ソーシャルワーク演習を履修し単位を取得している必要があります。なお、特別な事由により前述の要件で履修することが困難である学生（例：編入学生・転学科生等）は、単位取得状況等を鑑みて当該授業科目の履修の可否について学科会議で審議します。

表5

科目区分	科 目 名	配当年次	単位数
専門科目領域	ソーシャルワーク演習（専門）A	3	2
	ソーシャルワーク演習（専門）B	4	2
	ソーシャルワーク演習（専門）C	4	2
	ソーシャルワーク実習指導A	3	2
	ソーシャルワーク実習指導B	4	2
	ソーシャルワーク実習指導C	4	2
	ソーシャルワーク実習A	4	2
	ソーシャルワーク実習B	4	2
合 計			16

⑤ 心理演習・心理実習

表6に定める科目を履修するためには、コミュニケーション演習を履修し単位を取得している必要があります。なお、特別な事由により前述の要件で履修することが困難である学生（例：編入学生・転学科生等）は、単位取得状況等を鑑みて当該授業科目の履修の可否について学科会議で審議します。

表6

科目区分	科 目 名	配当年次	単位数
専門科目領域	心理演習1	3	1
	心理実習1	3	2
	心理演習2	4	1
	心理実習2	4	2
合 計			(注1)

(注1) 心理実習1および心理実習2は、履修時期と履修クラス設定の違いであり、どちらか1つを履修する。

⑥ 福祉心理学専門演習Ⅰ・Ⅱ

福祉心理学専門演習ⅠまたはⅡを履修するためには、福祉心理学基盤演習Ⅰ、Ⅱ、ⅢおよびⅣの単位を取得している必要があります。ただし、編入学および3・4年次転学科で福祉心理学科に入学した学生は、この限りではありません。

6) カリキュラムの変更に伴う旧カリキュラムの対応

(1) 適用するカリキュラム・卒業要件

適用するカリキュラム及び卒業要件は、基本的に入学時から変わることはありません。

次の表に該当する学生は、科目読替表を参考に授業科目を履修してください。

学科	入学年度・転学科年度	科目読替表 該当ページ
リハビリテーション学科 理学療法学コース	2023年度から2024年度入学生	P100
理学療学科	2016年度から2019年度入学生	P100
リハビリテーション学科 作業療法学コース	2023年度から2024年度入学生	P100
人間コミュニケーション学科	2022年度から2024年度入学生／ 2024年度以前転学科生／ 2025年度2，3年次転学科生	P100

(2) 旧カリキュラムの対応

授業は、基本的に最新のカリキュラムに基づき実施されています。最新のカリキュラムの多くは、旧カリキュラム（変更される前のカリキュラム）の授業科目と同一授業科目で構成されていますが、一部は新旧カリキュラム間で「科目名が異なる授業科目」「単位数が異なる授業科目」「旧カリキュラムには存在しない授業科目」などがあります。そのため旧カリキュラムに対しては、次のような措置が図られます。

① 授業科目の読替え措置

ここでいう授業科目の読替え措置とは、ある旧授業科目に対して、同等の内容をもつ新授業科目をあて、新旧授業科目の間に相互関係を設けて、新授業科目を修得することによって旧授業科目を修得したものとする措置のことです。新旧授業科目間の読替え対応は、P100～101「科目読替表」を確認してください。

② 授業科目の開講措置

カリキュラムの変更に伴い、適用するカリキュラムにおいて一部開講しない授業科目がありますので注意してください。

(3) 旧カリキュラムが適用される学生の履修上の注意事項

① 履修登録

- ※1 履修登録は、適用するカリキュラムに基づき科目読替表及び時間割表を参考に行ってください。
- ※2 読替え措置の対応がある授業科目は、新授業科目と旧授業科目を別々の授業科目として履修することはできません。

② 単位数

- ※1 各授業科目の単位数は、すべて適用するカリキュラムに基づきます。(旧カリキュラムを適用する学生が新旧授業科目間で読替え措置の対応がある授業科目を履修した場合においては、旧授業科目の単位数が適用されます。)

③ 履修年次

- ※ 各授業科目は、基本的に新カリキュラムに合わせて開講されますが、適用するカリキュラムの配当年次に従って履修してください。

④ 各種配付書類の表記

- ※1 「シラバス」は、基本的に新カリキュラムに合わせて作成されています。適用するカリキュラムと科目名・授業内容・単位数・配当年次が異なる場合がありますので科目読替表を確認してください。
- ※2 「成績通知書」「成績証明書」に表示する科目名は、すべて適用するカリキュラムに基づき表示されます。

(4) 科目読替表

科目読替表の見方

科目名 2016年度から 2019年度までの カリキュラム	配当年次	単位数	必修・選択 区 分	新旧カリキュ ラム間の対応	新カリキュラム	
					開 講 科目区分	開 講 科 目 名
国際福祉論	1・2	2	選択	読替措置	総合/人間	世界の福祉
精神医学Ⅰ	2	2	必修	読替措置	専門/専門基礎	精神医学

【1】

【2】

【3】

【4】

【1】「科目名」欄

適用するカリキュラム及び授業科目を表します。

【2】「配当年次」・「単位数」・「必修・選択区分」欄

適用される配当年次、単位数及び必修・選択の区分を表します。

【3】「新旧カリキュラム間の対応」欄

読替措置	新授業科目を修得することによって旧授業科目を修得したものとす る措置が図られる授業科目を表します。
------	--

【4】「新カリキュラム」欄

①開講科目区分

授業科目は、新カリキュラムに合わせて開講されているため、当該年度で開講される科目区分を表します。科目区分を次のとおり略して表示しています。

略称	科目区分
総合/共通	総合基礎科目領域 共通基礎科目群
総合/人間	総合基礎科目領域 人間基礎科目群
総合/外国	総合基礎科目領域 外国語科目群
専門/専門基礎	専門科目領域 専門基礎科目群
専門/理学専門	専門科目領域 専門科目群（理学療法学科）
専門/作業専門	専門科目領域 専門科目群（作業療法学科）
専門/福祉専門	専門科目領域 専門科目群（福祉心理学科）

②開講科目名

当該年度で開講される授業科目の名称を表します。

Ⅱ 健康科学部 [3. 履修の手引き]

① リハビリテーション学科 理学療法学コース

2023年度から2024年度入学生適用カリキュラムに係る読替表

科目区分	科目名 2023年度から 2024年度まで のカリキュラム	配当年次	単位数	必修・選択 区 分	新旧カリキュ ラム間の対応	新カリキュラム	
						開 講 科目区分	開 講 科 目 名
総合/外国語	英語 会話	1・2	1	選択必修	読替措置 ←	総合/外国語	英会話

② 理学療法学科

2016年度から2019年度入学生適用

科目区分	科目名 2016年度から 2019年度までの カリキュラム	配当年次	単位数	必修・選択 区 分	新旧カリキュ ラム間の対応	新カリキュラム	
						開 講 科目区分	開 講 科 目 名
総合/人間	国際福祉論	1・2	2	選択	読替措置 ←	総合/人間	世界の福祉
専門/専門基礎	精神医学Ⅰ	2	2	必修	読替措置 ←	専門/専門基礎	精神医学
専門/専門	物理療法学	3	1	必修	読替措置 ←	専門/理学専門	物理療法学
専門/専門	地域理学療法学	3	1	必修	読替措置 ←	専門/理学専門	地域理学療法学
専門/専門	高齢者理学療法学	3	1	必修	読替措置 ←	専門/理学専門	地域理学療法学
専門/専門	理学療法演習Ⅲ-1	3	1	必修	読替措置 ←	専門/理学専門	理学療法演習Ⅲ
専門/専門	理学療法マネジメント	3	1	必修	読替措置 ←	専門/理学専門	理学療法管理学
専門/専門	スポーツ医科学	3	1	選択	読替措置 ←	専門/理学専門	スポーツ医学

③ リハビリテーション学科 作業療法学コース

2023年度から2024年度入学生適用カリキュラムに係る読替表

科目区分	科目名 2023年度から 2024年度まで のカリキュラム	配当年次	単位数	必修・選択 区 分	新旧カリキュ ラム間の対応	新カリキュラム	
						開 講 科目区分	開 講 科 目 名
総合/外国語	英語 会話	1・2	1	選択必修	読替措置 ←	総合/外国語	英会話

② 人間コミュニケーション学科 (入学生 (2024年度以前)・転学科生 (2024年度以前/2025年度2, 3年次) 適用)

科目区分	科目名 2022年度から2024 年度までのカリキュラム	配当 年次	単位数	必修・選択 区分	新旧カリキュ ラム間の対応	新カリキュラム	
						開 講 科目区分	開 講 科目名
総合/共通	心理学と心理的支援(心理学概論)	1	2	必修	読替措置	← 総合/共通	心理学概論
総合/外国	英語 会話	1・2	1	選択	読替措置	← 総合/外国	英会話
専門/専門基礎	精神医学と精神医療A(精神疾患とその治療1)	2	2	選択	読替措置	← 専門/専門基礎	精神疾患とその治療 I
専門/専門基礎	社会福祉の原理と政策a	1	2	必修	読替措置	← 専門/専門基礎	現代社会と福祉
専門/専門基礎	社会学と社会システム	1	2	必修	読替措置	← 専門/専門基礎	社会学
専門/専門基礎	現代の精神保健の課題と支援A	2	2	必修	読替措置	← 専門/専門基礎	メンタルヘルスの課題と支援 I
専門/専門基礎	現代の精神保健の課題と支援B	2	2	選択	読替措置	← 専門/専門基礎	メンタルヘルスの課題と支援 II
専門/専門	医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	1	2	選択	読替措置	← 専門/専門	人体の構造と機能及び疾病
専門/専門	ソーシャルワークの理論と方法a	1	2	選択	読替措置	← 専門/専門	ソーシャルワークの理論と方法 I
専門/専門	ソーシャルワークの理論と方法b	1	2	選択	読替措置	← 専門/専門	ソーシャルワークの理論と方法 II
専門/専門	社会福祉調査の基礎	2	2	選択	読替措置	← 専門/専門	社会調査の基礎
専門/専門	地域福祉と包括的支援体制a	2	2	必修	読替措置	← 専門/専門	地域福祉
専門/専門	児童・家庭福祉	2	2	必修	読替措置	← 専門/専門	子ども家庭福祉
専門/専門	精神医学と精神医療B(精神疾患とその治療2)	3	2	必修	読替措置	← 専門/専門	精神疾患とその治療 II
専門/専門	社会保障a	3	2	必修	読替措置	← 専門/専門	社会保障 I
専門/専門	社会保障b	3	2	必修	読替措置	← 専門/専門	社会保障 II
専門/専門	心理学実験1	1	1	必修	読替措置	← 専門/専門	心理学実験
専門/専門	ダーク& ミスコミュニケーション	2・3	1	必修	読替措置	← 専門/専門	ダーク& ミスコミュニケーション
専門/専門	ラブ& ジェンダーコミュニケーション	2・3	1	必修	読替措置	← 専門/専門	ラブ& ジェンダーコミュニケーション
専門/専門	デザイン& ライフコミュニケーション	2・3	1	必修	読替措置	← 専門/専門	デザイン& ライフコミュニケーション
専門/専門	アート& デジタルコミュニケーション	2・3	1	必修	読替措置	← 専門/専門	アート& デジタルコミュニケーション
専門/専門	福祉心理学基盤演習 I	1	1	必修	読替措置	← 専門/専門	福祉心理学基盤演習 I
専門/専門	福祉心理学基盤演習 II	1	1	必修	読替措置	← 専門/専門	福祉心理学基盤演習 II

※ 2 年次転学科生については、専門科目領域 専門科目群 福祉心理学基盤演習 I および福祉心理学基盤演習 II が教育課程表から除外されます。

※ 3, 4 年次転学科生については、専門科目領域 専門科目群 福祉心理学基盤演習 I、福祉心理学基盤演習 II、福祉心理学基盤演習 III、および福祉心理学基盤演習 IV が教育課程表から除外されます。

3. 3 試験

1) 試験の種類、方法

(1) 試験の種類

- ① 定期試験：学期末に一定の期間を定めて行う試験
- ② 追試験：公欠、病気、その他のやむを得ない理由により履修登録した授業科目に係る試験を受けることができなかった者に対して行う試験
- ③ 再試験：履修した授業科目に係る定期試験を受けた結果、不合格となった者に対して行う試験

(2) 試験の方法

試験は、筆記試験、実技試験及び口述試験のいずれかにより行います。授業科目により論文又はレポート等の提出をもって試験に代えることがあります。

2) 定期試験

(1) 受験資格

次の条件を全て満たす者に受験資格が与えられます。

- ① 履修登録していること。
- ② 納入すべき学費が完納されていること。
- ③ 出席回数が総授業回数の3分の2以上（科目名に演習又は実習を含む授業科目については5分の4以上）を満たしていること。

(2) 実施時期：学期末

※ 学期途中に終了する授業科目又は集中開講される授業科目等については、定期試験の時期を変更して行うことがあります。

3) 追試験

公欠、病気、その他のやむを得ない理由により履修登録した授業科目に係る次の試験を受けることができなかった者に対して追試験を行います。

(1) 対象試験

- ① 定期試験
- ② 公欠、病気、その他のやむを得ない理由により進級に係る授業科目又はこれに準ずる授業科目の定期試験を受けることができなかった学生に対して行う追試験
- ③ 進級に係る授業科目又はこれに準ずる授業科目の定期試験を受けた結果、不合格になった学生に対して行う再試験

※1 進級に係る授業科目及びこれに準ずる授業科目は次のとおりです。

○リハビリテーション学科 理学療法学科コース/理学療法学科 及びリハビリテーション学科 作業療法学科コース	・・・専門科目領域に属する必修科目
○人間コミュニケーション学科 (2024年度入学生・2025年度編入学生まで)	・・・ソーシャルワーク演習 コミュニケーション演習

※2 上記②、③の試験に対する追試験を欠席した場合は、これ以上の追試験は行いません。

(2) 受験資格

試験の受験資格を満たしており、公欠、病気、その他のやむを得ない理由により「(1) 対象試験」に記載する試験を受けることができなかった者

(3) 実施時期

原則として試験実施後

(4) 受験手続

追試験を受けようとする者は、所定の期日までに次の書類に追試験受験料を添えて事務室窓口へ提出してください。

(5) 提出書類

①追試験受験願

②試験を受けることができなかった理由を証明する書類

理由	証明する書類
①公欠	P96～98「8」欠席等の取り扱い（4）公欠となる欠席」を参照
②病気	医師の診断書 (※通院日、入院日、安静期間等の記載があるもの)
③その他の理由	理由を証明する書類

※③その他の理由による追試験の受験は、審議の上、許可します。

◇追試験受験料：1科目につき1,000円

※注意：「(1) 対象試験」の②及び③に対する追試験は、受けることができなかった試験の受験手続きが済んでいなければ手続きを行うことができません。

4) 再試験

履修した授業科目に係る定期試験を受けた結果、不合格となった者に対して再試験を行います。

※1 定期試験を受けなかった者（追試験を行う者を除く）は、定期試験を受け、不合格となった者とみなします。

※2 追試験又は再試験を受けた結果、不合格になった者に対しては再試験を行いません。

(1) 受験資格

定期試験を受けた結果、不合格となった者

※学生用Webシステムで必ず成績を確認し自身が追試験及び再試験該当者か否か確認してください。

(2) 実施時期

定期試験実施後

(3) 受験手続

再試験を受けようとする者は、所定の期日までに次の書類に再試験受験料を添えて事務室へ提出してください。

◇提出書類：再試験受験願

◇再試験受験料：1科目につき2,000円

5) 試験における注意事項

(1) 試験室への入室・退室

- ① 受験者は、試験開始前までに所定の試験室へ入室し、試験監督者の指示に従って、座席に着席してください。
- ② 試験室への入室は、試験開始後20分まで認められます。
- ③ 試験室からの退室は、試験開始後30分以降から認められます。(退室した者の再入室は、当該試験が終了するまで認められません。)

(2) 受験者の義務

受験者は、試験を受ける際に次の事項を厳守してください。

- ① 試験を受ける際は、試験監督者の指示に従うこと。
- ② 試験中は、学生証を机上に提示すること。
- ③ 試験中は、筆記用具のほか許可された物以外、机上に置かないこと。
- ④ 試験中は、スマートフォン・携帯電話・ウェアラブル端末等の電源を切り、使用しないこと。
- ⑤ 試験中は、私語、物の貸し借りをしないこと。
- ⑥ 試験中は、退室まで許可なく座席を離れないこと。
- ⑦ 不正行為又はこれに紛らわしい行為をしないこと。

(3) 不正行為

試験における不正行為とは、次に該当する行為を指します。不正行為を行った者は、当該学期に履修する全ての授業科目に係る成績評価を不合格とし、本学学則第47条の規定に基づき懲戒の対象とします。

- ① 試験監督者の指示に従わないこと。
- ② 試験の解答に必要な情報を他者から得ること、又は他者に与えること。
- ③ 物を利用し試験の解答に必要な情報を不正に得ること。
- ④ 他者に受験を代行させること、又は他者の受験を代行すること。
- ⑤ その他、明らかに公正な試験の実施を阻害すると認められる行為をすること。

3. 4 成績

1) 成績評価

授業科目の成績は、試験等の成績のほか平常における成績等を総合的に判断し、次表に掲げる基準により評価します。

【成績評価基準】

評 価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績表示	S	A	B	C	D
判定結果	合 格				不合格

※「履修放棄」となった授業科目は評価せず、その記号を「K」で表します。

2) GPAによる成績評価

本学では、GPA (Grade Point Average)

制度を導入しています。成績評価の段階に応じてポイント (GP) を設定し、次表の算出式により平均値 (GPA) を算出します。GPA は、学生の学修の状況と成果を数値として表したものです。

【G P】

評 価	S	A	B	C	D	K
G P	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0	0.0

【G P A計算式】

G P Aは、次の計算式により算出し、計算値は小数点以下第2位を四捨五入する。

① 2025年度以降入学者適用

$$G P A = \frac{(\text{履修登録した授業科目のG P} \times \text{当該授業科目の単位数})}{\text{履修登録した全授業科目の総単位数}}$$

※履修を放棄した科目「K」は、計算に含まれます。

② 2024年度以前入学者適用

$$G P A = \frac{(\text{履修登録した科目数} \times \text{当該科目のG P}) \text{の合計}}{\text{履修登録した科目数の合計 (不合格科目を含む)}}$$

※履修を放棄した科目「K」は、計算に含まれません。

3) 成績の通知

成績の通知は、学期終了後に学生本人および保護者に対して発送します。

健康科学部では、保護者とともに学生の学修支援を行っていくことが教育において有効な取り組みであると考え、教育的な配慮のもと保護者に対し学修状況（成績、出席状況等）を開示しています。なお、保護者への学修状況の開示にあたっては、入学時に提出していただいた「個人情報の取り扱いに関する同意書」に基づき開示しています。

4) 特待生制度

本学では、優秀な人材の育成と学業の奨励に寄与することを目的として、本学に在学する学業成績が特に優れた学生を特待生として選定し、一定額の奨学金を支給しています。

(1) 選考基準

在学中の学業成績優秀者で、他の学生の模範となる者のうち、各学部各学科から推薦された者。

(2) 対象学年

2年次、3年次及び4年次

4. 学生生活の手引き

4. 学生生活の手引き

4. 1 学生生活

1) 学籍関係

(1) 学籍・学籍番号・学生証

学生は、入学と同時に本学に籍が置かれます。この籍のことを「学籍」といいます。

また、学籍の発生と同時に各学生に対し6桁の番号が付与されます。この番号を「学籍番号」といいます。学籍番号は、学生個人を確認する上で重要となります。

学籍番号の構成は次のとおりです。

2 5 P 0 0 1
入学年度 学科、コース 個人番号

入 学 年 度	: 西暦の下2桁
リハビリテーション学科	
理学療法学コース	: P
作業療法学コース	: O
理学療法学科	: P
作業療法学科	: O
人間コミュニケーション学科	: H
個 人 番 号	: 本学で割り振った番号
①新入学生	 0 0 1 ~
②編入学生	 2 0 1 ~
③転学科生	
(1・2年次転学科生)	 3 0 1 ~
(3・4年次転学科生)	 4 0 1 ~
④再入学生	 8 0 1 ~

また、各学生に対して本学健康科学部の学生としての身分を証明する「学生証」が配付されます。

学生証の取り扱いには、次の事項に注意してください。

- ① 本学の学生であることを証明するものであるため、大学の内外を問わず常時携帯してください。
- ② 学生証は、図書館の利用・試験の受験・各種証明書の受け渡し・学割証の発行等で本人確認をする際に必要となります。本学教職員から提示を求められた場合は、速やかに提示してください。
- ③ 学生証を他人に貸与又は譲渡することは禁止されています。
- ④ 学生証を紛失・汚損した場合は、直ちに「学生証再交付願」に手数料1,500円を添えて事務室窓口にて再交付の手続きを行ってください。受け渡しは、願い出のあった日の翌日となります。
- ⑤ 卒業・退学・除籍等により学籍を失った時は、直ちに学生証を事務室窓口に返却してください。

【科目等履修生・研究生・聴講生】

2 5 A 0 0 1
登録年度 学科等 個人番号

登 録 年 度	: 西暦の下2桁
リハビリテーション学科	
理学療法学コース	: P
作業療法学コース	: O
人間コミュニケーション学科	: H
健康科学部	: A
個 人 番 号	: 本学で割り振った番号
i 科目等履修生	 5 0 1 ~
ii 研究生	 6 0 1 ~
iii 聴講生	 7 0 1 ~

(2) 修業年限・在学期間

- ① 修業年限：修業年限は、4年となります。
(3年次編入学の修業年限は、2年となります。)
- ② 在学期間：在学できる期間は、休学期間を除き8年までとなります。
(3年次編入学の在学できる期間は、休学期間を除き4年までとなります。)

(3) 学籍異動と手続き

次の学籍異動を希望する場合は、保護者や所属学科教員と早めに相談した上で、所定の期日までに願い出てください。

異動内容の詳細(退学と除籍の違い等)は、事務室窓口へ問い合わせてください。

i 休 学

病気その他のやむを得ない事情により2ヶ月以上就学することができない者は、学長の許可を得て休学することができます。また、疾病のため就学することが適当でないと学長が認める者については、休学を命ずることがあります。

- ◇ 休学期間：休学できる期間は1年までとなります。ただし、特別な事情がある場合は、引き続き1年を限度に延長を許可する場合があります。通算して3年を超える休学は認められません。

※ 休学期間は在学期間に含まれません。

- ◇ 手 続 き：「休学願」に必要事項を記入の上、事務室窓口に提出してください。

※1 病気又は負傷により休学する場合は、医師の診断書を添付してください。

※2 納入すべき学費を滞納している場合は受理できません。

【手続期限】

①前期から休学を希望する場合	前年度 3月31日まで
②後期から休学を希望する場合	当該年度 9月20日まで
③学期途中で休学を希望する場合	随時

※ ①、②については期限を超えた場合、次学期の学費が発生します。

※ ③については願い出のあった月の翌月からの休学が可能となります。

ii 復 学

休学の理由が消滅又は期間が満了して復学を希望する者は、学長の許可を得て復学するものとします。

- ◇ 手 続 き：「復学願」に必要事項を記入の上、事務室窓口に提出してください。

※1 疾病又は負傷により休学した場合は、医師の診断書を添付してください。

※2 休学中の在籍料等が納入されていない場合は受理できません。

※3 復学の願い出がない場合は除籍となることがあります。

II 健康科学部 [4. 学生生活の手引き]

iii 転学部・転学科

所属する学部・学科から本学部の人間コミュニケーション学科へ転学部・転学科を志願する者は、人間コミュニケーション学科に欠員がある場合において許可することがあります。

◇ 手 続 き：各学期終了後、案内します。

※ 納入すべき学費を滞納している場合は手続きすることができません。

iv 転 学

他大学へ転学を希望する者は、学長の許可を得なければなりません。

◇ 手 続 き：事務室窓口で相談してください。

※ 納入すべき学費を滞納している場合は手続きすることができません。

v 退 学

退学を希望する者は、所定の手続きを経て、学長の許可を受けなければなりません。

◇ 手 続 き：「退学願」に必要事項を記入の上、事務室窓口に提出してください。

※ 納入すべき学費を滞納している場合は受理できません。

【手続期限】

①前期をもって退学を希望する場合	当該年度 9月20日まで
②後期をもって退学を希望する場合	当該年度 3月31日まで
③学期途中で退学を希望する場合	退学を希望する日まで

※ ①、②については期限を超えた場合、次学期の学費が発生します。

※ ③に係る退学日は、基本的に月末となります。

vi 除 籍

除籍とは、大学の意思により強制的に学生としての身分（学籍）を剥奪することです。次の項目に該当する者は、除籍することがあります。

- ① 学則第8条第2項の規定による在学年限を超えた者
- ② 休学の期間が満了し、復学を願い出ない者
- ③ 学則第30条第2項に規定する休学の期間を超えた者
- ④ 授業料その他学費の納付を怠り、催促してもなお納入しない者
- ⑤ 死亡又は行方不明の届出のあった者

2) 学費

各学科の学費は、次のとおりとなります。学費の納入が確認できない場合は、各種書類の発行や試験の受験等ができません。また、除籍の対象となりますので十分注意してください。

なお、納入した学費等は、原則として返還しません。

(単位：円)

学科	学年	前期					後期				年額
		入学金	授業料	施設費	実験実習費		授業料	施設費	実験実習費		
リハビリテーション学科 理学療法学科	1 年次	300,000	450,000	100,000	100,000	950,000	450,000	100,000	100,000	650,000	1,600,000
	2 年次 以降		450,000	100,000	100,000	650,000	450,000	100,000	100,000	650,000	1,300,000
リハビリテーション学科 作業療法学科	1 年次	300,000	450,000	100,000	100,000	950,000	450,000	100,000	100,000	650,000	1,600,000
	2 年次 以降		450,000	100,000	100,000	650,000	450,000	100,000	100,000	650,000	1,300,000
理学療法学科	2 年次 以降		450,000	100,000	100,000	650,000	450,000	100,000	100,000	650,000	1,300,000
作業療法学科	1 年次 以降		450,000	100,000	100,000	650,000	450,000	100,000	100,000	650,000	1,300,000
人間コミュニケーション学科	1 年次/ 編入学	100,000	375,000	100,000	15,000	590,000	375,000	100,000	15,000	490,000	1,080,000
	2 年次 以降		375,000	100,000	15,000	490,000	375,000	100,000	15,000	490,000	980,000

3) 各種必要事項の伝達方法

学生に対する通知・連絡は、A棟1階屋外掲示板と事務室カウンター前掲示板及びB棟・C棟・D棟の各掲示板にてお知らせします。また、掲示板に加え大学ホームページ内学内掲示板及び Teams にも一部掲載します。

掲示物には、授業に関する事項や奨学金等の学生生活に関する事項などの重要な事項が含まれています。見落としによる不利益については、学生個人の責任となりますので、必ず1日1回以上掲示板を見るよう習慣づけてください。

なお、電話による各種問い合わせには、内容により対応します。

4) 通学

(1) 車両通学

自動車、バイク（自動二輪車・原動機付自転車）及び自転車で通学する場合は、下記手続きにより車両通学の許可を得てください。許可を得ていない車両は通学禁止です。駐車場・駐輪場の利用もできません。また、健康科学部では学年によって利用できる駐車場が異なります。1・2・3年生は第1駐車場、4年生は第2駐車場を利用してください。

◇ 手続方法

「車両通学許可願」に必要事項を記入の上、下記の必要書類を添えて事務室窓口に提出してください。

車 種	提 出 書 類
自 動 車	①「車両通学許可願」（事務室窓口で配布） ②「運転免許証」 ③「自動車損害賠償責任保険証明書（自賠責保険証明書）」 ④「任意保険証券」 ⑤「自動車検査証（車検証）」 ※②～⑤は写し
自動二輪車	①「車両通学許可願」（事務室窓口で配布） ②「運転免許証」 ③「自動車損害賠償責任保険証明書（自賠責保険証明書）」 ④「任意保険証券」 ⑤「自動車検査証（250cc 以上）」 ※②～⑤は写し
原動機付自転車	①「車両通学許可願」（事務室窓口で配布） ②「運転免許証」 ③「自動車損害賠償責任保険証明書（自賠責保険証明書）」 ※②③は写し
自 転 車	① 「車両通学許可願」（事務室窓口で配布）

※ 許可を受けた者に対し「車両通学許可証」を交付します。当該許可証は翌日交付となります。

※ 許可を受けている車両を変更する時は、新しい車両に係る提出書類を全て揃えて事務室窓口に提出してください。

※ 車検等で一時的に車両が変更になる場合は、必ず事務室窓口に申し出てください。

◇ 車両通学における注意事項

① 常日頃から安全運転及び運転マナーの向上に努めてください。交通事故には十分注意し、もし事故が発生した時は、速やかに事務室（0555-83-5230）に連絡してください。

② 「車両通学許可証」は外から見えるようにしてください。

自 動 車 の 場 合：ダッシュボード等に外から見える場所に置いてください。

バイク・自転車の場合：通学の際、常に鞆に入れて持参してください。

③ 駐車・駐輪の際は、指定された駐車場、駐輪場に車両を止めてください。自動車の場合、1・2・3年生は第1駐車場、4年生は第2駐車場を利用してください。指定した駐車区域以外（大学周辺道路、駐車場・駐輪場以外の敷地、駐車場内の駐車禁止区域、A棟正面来客用駐車場等）には絶対に駐車しないでください。

現在4年生の車両登録が非常に多く、第2駐車場が満車になる可能性があります。

その際は4年生であっても第1駐車場を利用してもらうことがあります。

バイク・原動機付自転車・自転車の場合は、C棟またはD棟裏の駐輪場を利用してください。なお、車両通学の許可を受けていない学生は、自動車等の通学を認めない他、駐車場および駐輪場を利用できません。

- ④ 積雪および路面凍結時に、やむを得ず自家用車で通学する場合には、必ずスタッドレスタイヤ（冬用タイヤ）を装着してください。雪道をノーマルタイヤで走行すると道路交通法違反となります。
- ⑤ 駐車場内での事故、盗難、火災などによる損害について、本学は一切責任を負いません。
- ⑥ 健康科学部周辺道路への駐停車は迷惑行為となりますので厳禁とします。必ず指定された学生駐車場に駐車してください。

（2）バス通学

健康科学部では、授業時間に合わせて通学用のスクールバスが運行しています。運行コース・停留所・発車時刻については、各自で掲示板・ホームページを確認してください。

また、例年、冬季になると積雪・路面凍結等による交通事故が多発していますので、冬季期間中はスクールバスを利用するよう心掛けてください。

5) 健康管理

学生定期健康診断は、学校保健安全法に基づき毎年1回4月に実施しています。実習などで健康診断証明書の提出が必要な場合があるので、必ず受診しましょう。定期健康診断が未受診の場合、健康診断証明書が発行できません。やむを得ない事情で、定期健康診断を受診できない場合は、事前に保健室にご相談ください。

麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘などのワクチン接種や抗体価確認が実習先の多くの施設で実施されるようになっていきます。1歳以上で2回の予防接種記録がなく、抗体検査で十分な抗体価がない場合はワクチン接種によって免疫を増強しておくことをお勧めします。

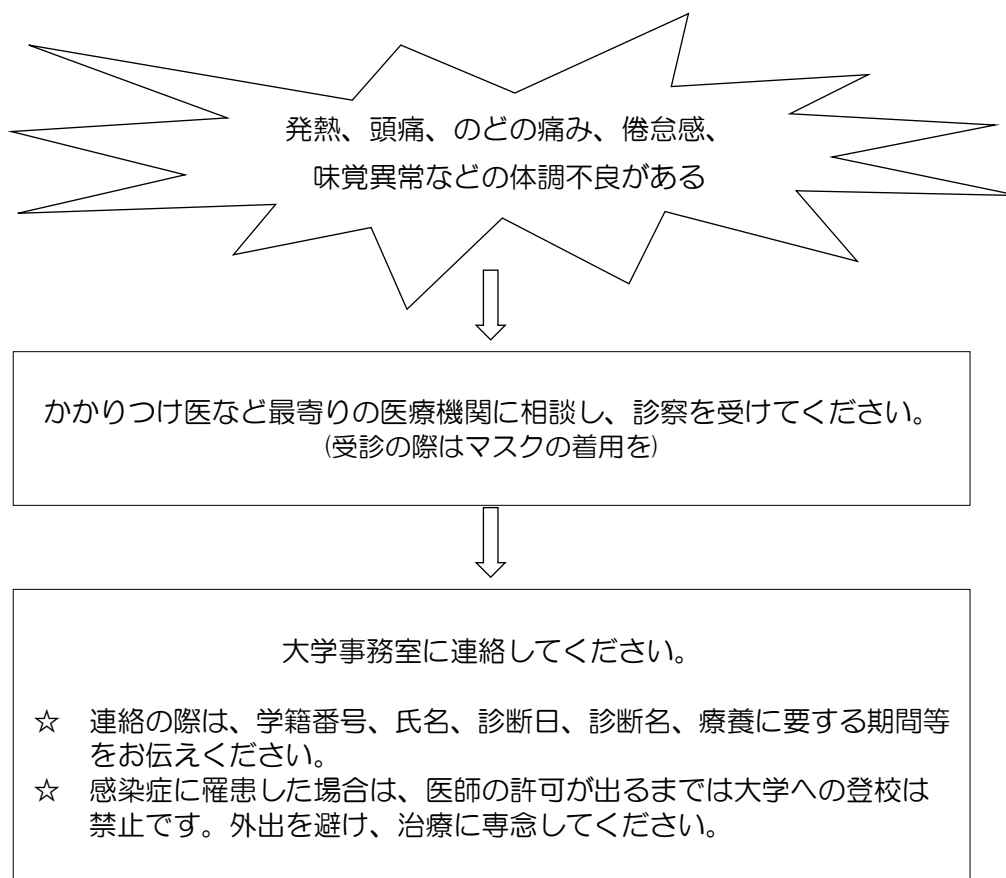
※ワクチン接種の際は、母子健康手帳を持参し、医療機関で記録してもらうようにすると便利です。母子健康手帳のない方も接種証明書をもらい、記録を保管しておきましょう。

Ⅱ 健康科学部 [4. 学生生活の手引き]

学生生活を送るにあたり、次の事項に注意してください。

(1) 感染症罹患時の対応（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザなど）

発熱や体調不良を感じたら、以下のように対応してください。



【罹患証明書のダウンロード先】

[大学ホームページ](#) » [キャンパスライフ](#) » [学生生活](#) » [保健室](#)

※ 新型コロナウイルス感染症への対応については、別途大学ホームページ
に情報を掲載しています。

6) 奨学金

奨学金は、日本学生支援機構のほか自治体、財団などの提供によるものもあります。
 なお、自治体や財団の奨学金は、年度により募集が行われない場合もあります。
 また、各団体で申請方法や給付・貸与の基準も異なるので注意してください。
 各奨学金の概要は以下のとおりです。

(1) 日本学生支援機構奨学金制度

日本学生支援機構が法律に基づき運営している制度です。修学のために貸与及び給付を希望する学生が対象で、健康科学部からの推薦に基づいて同機構が選考し学資の貸与及び給付を行います。なお、選考については成績と父母等学費負担者の収入を基に行います。詳細については、掲示するほか、必要に応じて説明会を開催するなどしてお知らせします。

(2) 自治体奨学金・修学資金制度

全国の都道府県、市町村などが、その出身者等を対象に実施している制度です。奨学金制度が広く一般に大学生等を対象としているのに対し、修学資金制度は理学療法士、作業療法士などの養成施設に在籍する人に対して貸与または給付されており、資格取得後はその自治体内の病院などで一定期間就労すれば、返済免除となるのが大きな特徴です。(自治体によっては免除の無いところもあります。)健康科学部でも、自治体などから提供があった場合には、事務室の掲示板でお知らせするか、資料を配布していますが、情報提供のない自治体や本学の学生が対象とならないケースもありますので、詳細は各自治体に確認してください。

(3) 医療法人等の奨学金制度

全国各地の病院・福祉施設等より、本学の学生に奨学金を提供したいと募集が寄せられることがあります。募集が寄せられた場合は、事務室の掲示板でお知らせします。

7) 学生保険

健康科学部の全学生を対象として入学手続き時に①「学生教育研究災害傷害保険」及び②「学研災付帯賠償責任保険（医学生教育研究賠償責任保険）」への加入をお願いしています。

この保険は正課授業（学外施設での実習を含む）、学校行事、課外活動（大学の認めた学内学生団体の活動）及びその往復途中における不慮の事故における不測の事態に備えるものです。

学外施設での実習においては、患者に対する傷害や高価な機材の破損など不測の事態に備えて、実習科目のとして下記①及び②の保険加入を必須としています。

それぞれの保険の概要は次のとおりです。

(1) 補償の範囲

① 「学生教育研究災害傷害保険」

(1)正課中（実習施設での実習を含む）(2)学校行事中 (3)大学施設内滞留中 (4)大学施設外で大学に届け出た課外活動の実施中 (5)合理的な経路・方法による通学中などに学生本人に生じた傷害（による入院・治療）及び死亡、後遺障害などが補償の範囲に含まれます。「病気」は対象となりません。

II 健康科学部 [4. 学生生活の手引き]

② 「学研災付帯賠償責任保険（医学生教育研究賠償責任保険）」

(1)正課中（実習施設での実習を含む）(2)学校行事中 (3)合理的な経路・方法による通学中などに学生が万が一相手をケガさせたり物を壊したりしたことにより被る法律上の損害賠償を補償します。

※ 通学中の事故で、普段通らない道や、寄り道をした後の事故には保険金が支払われないことがあります。また、自動車やバイク、自転車の無許可通学は、保険金支払いの対象となりません。

(2) 保険金請求手続き方法

- ① 事故が発生したら、直ちに「学生事故報告書」を事務室窓口に提出してください。
- ② 治療期間終了後、事務室窓口で「保険金請求書」（医師の診断書用紙を含む）と「保険金振込先届出書」を受け取り、必要な事項を記入及び証明を得た上で、事務室窓口に再提出してください。
- ③ 請求書を保険会社に送付後、おおむね1カ月以内に保険金が支払われます。

8) 学生支援

(1) 学生相談

学生生活を過ごす中には、一人で考えていても解決できないことがたくさんあります。

本学では、各学部図書館内に学生サポートセンターを設置し、対人関係に関する悩みや就学上の問題など学生の生活全般における悩みついて、個々の秘密を守りながら、じっくり話を聴き、一緒に解決法を見出していきたいと考えています。教員や友人に相談しにくい悩みにも、専門の相談員が対応いたします。「人前で話すのが苦手」、「友達ができない」など、どんな些細なことでも相談に応じますので、気軽に利用してください。

(2) 就職相談

各学部図書館にある学生サポートセンターにおいて、就職に関する指導・相談、求人先の紹介をします。また、求人に関する情報や過去の就職試験に関する情報等については、自由に閲覧できるよう就職情報コーナーを設置していますので、気軽に利用してください。

(3) クラス担任制

健康科学部ではクラス担任制度を設けており、学生のような相談に対し適切な助言や指導等が受けられるよう担任を配置しています。

9) 学生意見箱

健康科学部では、大学に対する学生からの意見・要望を幅広く汲み取るために、学生意見箱を設置しており、学生は随時投函することができます。

原則、毎月寄せられた意見・要望を健康科学部の学生・就職・卒後教育委員会において精査・検討し、記名がある場合は本人に直接その結果を伝達します。（記名がない場合は、掲示等で伝達します。）投書に関するプライバシーは最大限に尊重されますので、利用する際は所属学科・氏名を明記するようにしてください。

10) 表彰・懲戒

(1) 表 彰

品行方正かつ学術優秀な者又は学生として模範的行為があった者については、表彰することがあります。

(2) 懲 戒

本学の規程その他の定め又は学生としての本分に反した者については、懲戒することがあります。

◇ 懲戒の種類：① 戒告

② 停学（※停学の期間は、在学年限に含まれます。）

③ 退学

11) 学生生活における注意事項

大学生活を送るにあたり、次の事項に注意してください。

① 学生個人宛ての私的郵便物等について

学生個人宛ての私的郵便物等は取り扱いませんので、必ず自宅（下宿先）へ送付させるようにしてください。

② 拾得物・遺失物等について

持ち物には必ず学籍番号・氏名を明記してください。また、学内で落し物を拾った場合は、事務室窓口に届けてください。届けられた落し物は事務室で一定期間保管し、持ち主が現れなかった場合は処分します。

また、落し物をした場合は、事務室窓口に申し出てください。届けられているものであれば、本人のものであることを確認した後、引き渡します。

③ 禁煙について

健康科学部では、敷地内での喫煙を全面的に禁止しています。敷地内とは建物の内外・駐車場等を含めます。将来、医療・福祉に携わることをめざす者として禁煙に取り組みましょう。

また、キャンパスでの受動喫煙を防止し、全ての学生・教職員の健康にも配慮するとともに、喫煙習慣を身に付けることのないようにしましょう。

なお、健康科学部は富士箱根伊豆国立公園内にあり、森林に囲まれています。山火事の原因となるタバコの投げ捨て等はやめるとともに、近隣住民の迷惑とならないよう学部周辺でも喫煙しないようにしましょう。

④ Office365 メール、Microsoft Teams の活用について

入学時に、学生全員に個人用のメールアドレスおよび在籍期間に限り利用可能な Office365 アカウント（無料の Microsoft Word、Excel、PowerPoint、OneDrive、Teams 等のサービス）を付与しています。

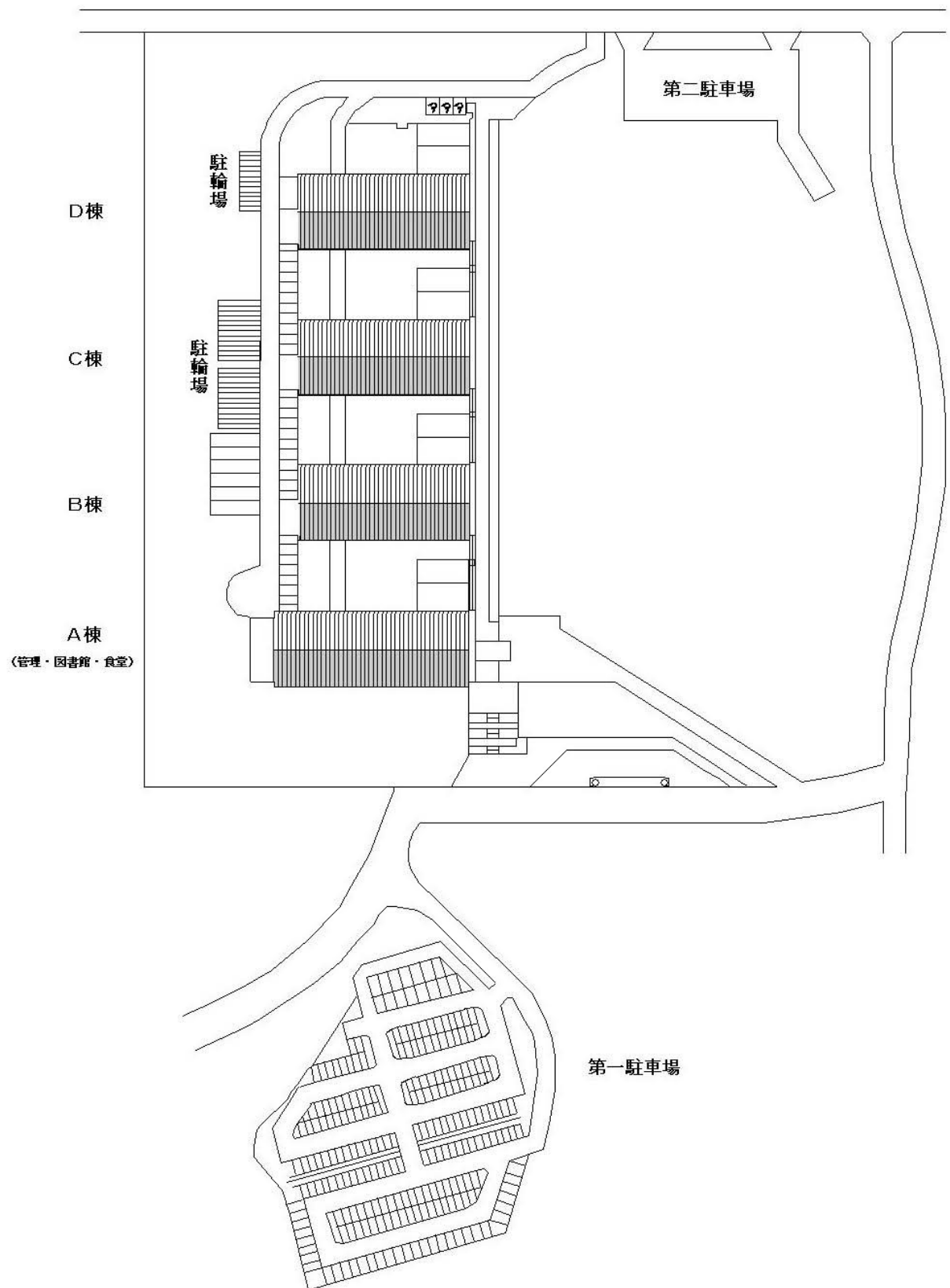
本学を卒業・退学・除籍等により学籍を失った時に、メールアドレスおよびアカウントは削除されます。削除される前に、必要に応じて各自でバックアップ、データ移行を行ってください。削除の時期については大学ホームページを確認してください。削除後は、事務室に依頼されましてもアカウントおよびデータの復旧はできません。ご注意ください。

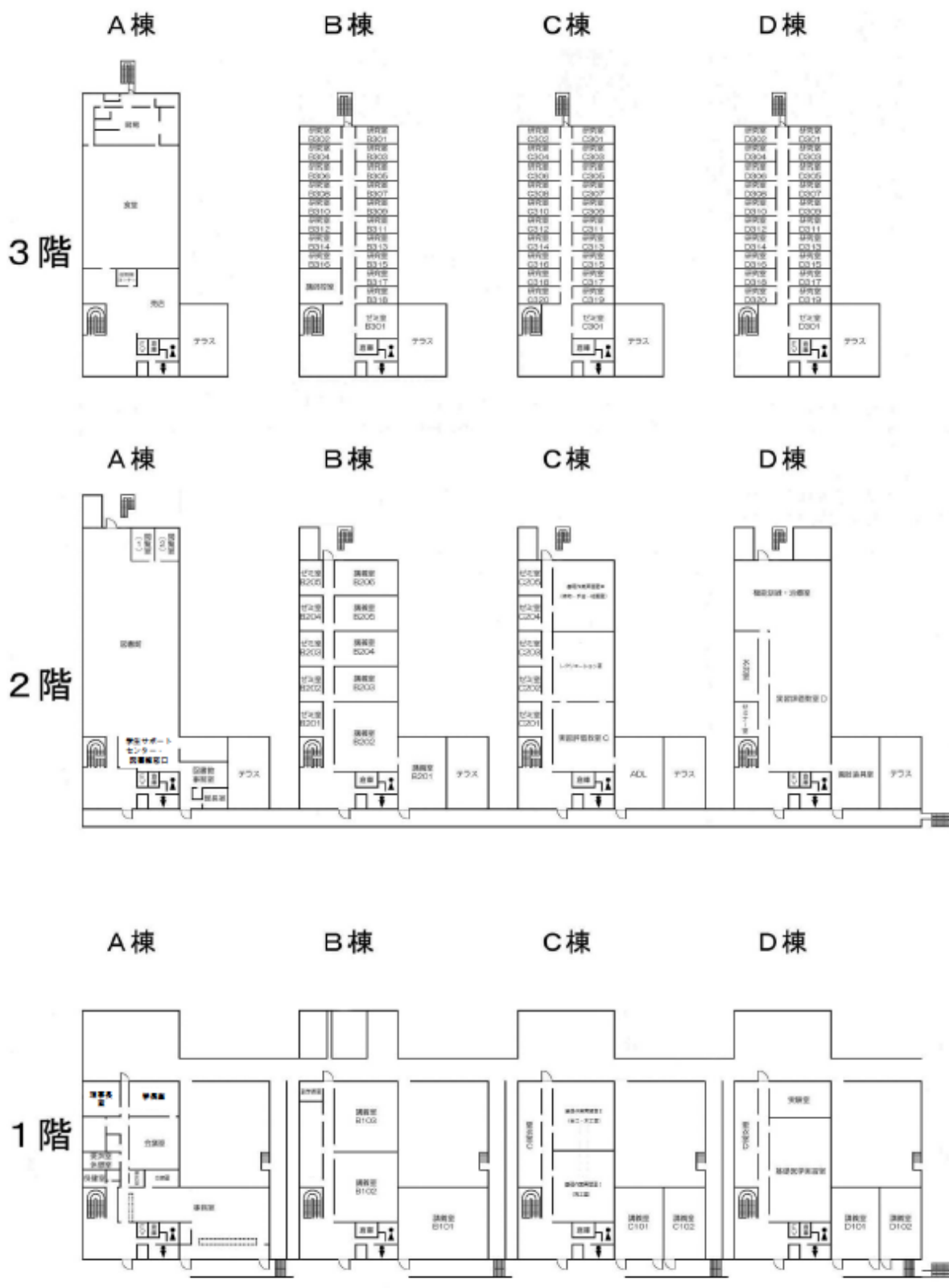
また、遠隔授業の実施に伴い Microsoft Teams を導入しています。メールまたは Teams のチャット機能を利用して大学から連絡事項を伝達する場合がありますので、メールアドレス、パスワードを忘れないようにしてください。一日一回はメールおよび Teams を見るようにしてください。

なお、これまでどおり重要事項は掲示板及びホームページで告知しますのでご注意ください。公欠等の問い合わせは必ず電話で連絡してください。

4. 2 施設の利用

1) キャンパス案内





2) 事務室

(1) 窓口案内

窓 口	主な取扱業務
教務課	①履修登録に関すること ②授業に関すること ③試験に関すること ④教室等の使用に関すること
入試学生課	①車両通学に関すること ②奨学金に関すること ③学外実習に関すること ④各種証明書の発行 など
学生サポートセンター	①学生生活に関すること ②就職に関すること ③ボランティアに関すること など

(2) 窓口受付時間

平日 午前8時45分 ～ 午後5時00分

- ※1 原則、土・日・祝日及び大学が定めた休日は窓口業務を行いませんが、学事日程の都合上、休日に窓口業務を行う日や平日でも窓口業務を行わない日があります。
- ※2 夏期・冬期・春期休業中は、窓口受付時間を変更することがあります。変更がある場合については、事前に掲示板等にてお知らせします。
- ※3 窓口受付時間外の受付は行いませんので、受付期間・時間を厳守してください。
- ※4 事務室に連絡する時は必ず電話でお問合せください。Teams チャットでは対応が出来ない場合があります。

3) 施設利用上の注意事項

施設を利用する際、次の事項に注意してください。

- ① 学部敷地内は、全面禁煙とします。
- ② 学部内での飲酒は、禁止とします。

4) 教室・備品

学生個人又は団体において教室や備品等を使用する場合は、次の手続きを行ってください。
なお、休日に使用する場合は、別の手続きが必要になります。その際は、事務室窓口で相談してください。

(1) 手続方法

「施設・設備等使用届」に必要事項を記入の上、事務室窓口へ提出してください。

(2) 使用上の注意

- ① 教室の使用は、午前8時45分から午後8時00分までとします。
- ② 1時限から5時限の時間帯に教室を使用する場合は、授業等で使用していない教室に限ります。
- ③ 使用後は必ず原状回復してください。
- ④ 備品等を破損した場合は、直ちに事務室まで連絡してください。

5) ロッカー

健康科学部では、無償でロッカーの貸与を行っています。使用を希望する学生は、次の手続きを行ってください。なお、受付期間は掲示にてお知らせします。

(1) 手続方法

「ロッカー借用願」に必要事項を記入の上、事務室窓口に提出してください。

(2) 使用上の注意

- ① ロッカー・ロッカーキーは厳重に管理してください。
- ② ロッカーキーを紛失した場合は、発行手数料 750 円を負担していただきます。
- ③ 盗難にあった場合は、直ちに事務室まで連絡してください。

6) 図書館

(1) 開館時間

午前 9 時 00 分 ～ 午後 6 時 00 分

※ 開館時間に変更になる場合は、図書館ホームページ・X 等でお知らせします。

(2) 休館日

土曜日・日曜日・祝日および大学が定めた休日 など

※ その他必要とする場合は、図書館ホームページ・X 等でお知らせします。

(3) 利用資格

- ① 本学の学生、卒業生、聴講生
- ② 本学の教職員
- ③ その他図書館長が認めた者

※ 入館するには利用証が必要です。

(4) 入退館

利用者は図書館正面で利用証（学生証）を読み込ませて入館します。

退館の際には入り口横のゲートから退出します。

(5) 貸出冊数・期間

学 生：3 冊以内・2 週間以内

教職員：5 冊以内・2 週間以内

(6) 貸出・返却

貸出は、利用者本人が利用証（学生証）で図書館入り口付近の貸出機を利用して行うか、利用証（学生証）を添えてカウンターにお持ちください。

延滞している図書がある時には貸出ができません。

返却は、開館時間内はカウンターに、閉館時はブックポストに入れてください。（利用証は必要ありません。）

(7) 貸出禁止資料

以下の資料は貸出を禁止しています。館内での閲覧のみ可能です。

- ① 「館内」シールが貼られている図書
- ② 禁帯出図書、参考書
- ③ 雑誌（製本雑誌も含む）
- ④ 視聴覚資料（図書に付属しているものは除く）

(8) 視聴覚資料の利用

本館所蔵の視聴覚資料に限り、館内のAVブースで視聴することができます。
学生証を添えてカウンターに申し込んでください。

(9) コピー機の利用

館内の資料に限り、著作権法の範囲内でコピーできます。

【利用料金】

印刷形式	用紙サイズ	1枚あたりの料金
モノクロ・単色・二色	A4・A3・B5・B4	10円
カラー	A4・B5・B4	40円
	A3	70円

(10) 図書館利用に際しての注意事項

① 延滞

返却期限は厳守してください。延滞中は図書の貸し出しができないほか、返却後もペナルティが課され、延滞日数分貸出ができません。

② 紛失

借用した図書を紛失した場合は、現品又は時価にて弁償していただきます。

③ 予約

借りたい図書が貸出中の場合は予約ができます。

予約者には、その図書が返却され次第優先的に貸出します。

7) 保健室

保健室では、心身の健康に関する相談に応じています。また、軽度の擦過傷等の応急処置を行います。室内にはベッドが備え付けてありますので、体調不良の時には一時的にベッドで休養することができます。なお、保健室では薬を渡すことはしませんので、必要な方は自分で準備して携帯するようにしてください。

8) 食堂・売店

健康科学部内に食堂・売店が設けられています。食堂のメニューは、栄養のバランスを考慮して作られています。マナーを守り、他人に迷惑をかけないように利用してください。

4. 3 各種証明書・願届等諸手続

各種証明書の発行手続きまたは各種願・届の手続きは、事務室の窓口で行ってください。窓口受付時間は、平日の午前8時45分から午後5時00分(大学が定めた休日を除く)までです。ただし、夏期・冬期・春期休業期間中は受付時間を変更することがあります。

1) 各種証明書・願届等諸手続一覧

種 別	様 式	交付日	発行手数料	備 考
証明書 申請	在学証明書	翌日	200 円	
	成績証明書	翌日	200 円	
	成績証明書 (英文)	2 週間後	1,000 円	
	卒業証明書	翌日	200 円	
	卒業証明書 (英文)	2 週間後	1,000 円	
	卒業見込証明書	翌日	200 円	
	健康診断証明書	翌日	200 円	
	抗体検査証明書	翌日	200 円	
	在籍期間証明書	翌日	200 円	退学者・除籍者のみ発行
	その他各種証明書	—	200 円	交付に時間がかかります
願	公欠願			
	追試験受験願			受験手数料: 1 科目につき 1,000 円
	再試験受験願			受験手数料: 1 科目につき 2,000 円
	休学願			
	復学願			
	退学願			
	学割証交付願	当日		鉄道等で片道が 100km を越える場合
	車両通学許可願	翌日		
	学生証再交付願	翌日	1,500 円	
	ロッカー借用願	翌日		
	ロッカーキー再交付願	7 日後	750 円	
	掲示・配布物許可願			
	推薦状交付願		200 円	
	履歴書用紙交付願		1 部 150 円	履歴書用紙 各 4 枚 角型 4 号封筒 各 2 枚 長形 3 号封筒 各 2 枚
	実習通学定期券用通学証明書交付願	1 ヶ月後	200 円	
届	欠席届			
	住所変更届			
	保証人変更届			
	改姓・改名届			
	施設・設備等使用届			受付時間は 17 時まで
	学外活動届			
	学外団体加盟届			

※ 交付日が土・日・祝日等の休日の場合は、休み明けが交付日となりますので注意してください。

2) 実習用通学定期券について

学外の実習時に公共交通機関(鉄道・バス)の通学定期乗車券を利用することができます。定期券を購入する為には大学が発行する「通学証明書」が必要になります。手続きには時間がかかりますので、実習が始まる1ヶ月前までに『実習通学定期券用通学証明書交付願』と『実習用通学定期乗車券申請書』を事務室窓口へ提出してください。

＜手続きの流れ＞

- ① 『実習通学定期券用通学証明書交付願』、『実習用通学定期乗車券申請書』に必要事項を記入し事務室窓口へ提出

※『実習通学定期券用通学証明書交付願』による申請1件につき、発行手数料200円が掛かります。

※記入事項に記入漏れや誤りがあると発行までにさらに時間がかかり、定期券使用中であっても使用を中止される恐れがありますので、間違いのないよう注意してください。また、故意的に虚偽の申請が発見された場合、料金を追徴されることもありますので注意してください。

↓

- ② 事務室より鉄道会社等へ申請

↓

- ③ 鉄道会社等より承認された通知が返送された後、学生へ通学証明書の発行

※鉄道会社等によって返送時期が異なりますので申請書は早めに提出してください。申請書の提出が遅くなると実習前に通学証明書を交付できない可能性があります。また、希望があれば実習中の居住先に送付しますので、送付先の住所・宛名を書いた封筒に84円切手を貼って事務室に提出してください。

↓

- ④ 鉄道会社等の定期券発売所にて通学証明書を提示し定期券を購入

事前に最寄り駅に定期券発売所があるかを確認してください。

(最寄り駅に定期券発売所がない場合もありますので注意してください。)

定期券購入の際に学生証の提示を求められる場合がありますので必ず携帯し、係員の請求があった場合には学生証を提示してください。

※その他の注意事項

注1 定期券の購入料金については1ヶ月・3ヶ月・6ヶ月単位となりますが、実際には実習期間内でしか利用できませんので料金を確認してから購入期間を選択してください。

注2 バスの定期券については利用できないバス会社もあります。
その他の詳細は事務室までお問い合わせください。

4. 4 課外活動

課外活動とは、正課の授業以外に学生が自発的に行う諸活動を指します。大学生活において正課授業が第一義ですが、課外活動は人間形成や友人関係を発展させるための大切な機会です。

1) 学生団体の設立

学生団体(クラブ、サークル、その他学友会組織 など)は、原則として学友会が管理運

II 健康科学部 [4. 学生生活の手引き]

営しています。新たに設立する際には、学友会が定める所定の手続きを踏んでください。

2) 体育館、グラウンド、テニスコートの使用

健康科学部では、体育館、グラウンド、テニスコート等の施設がないため、学生個人または学生団体の活動で町営施設等を利用する場合は、個人または団体で富士河口湖町の町営施設等に申請し利用してください。

3) 学外活動

学生個人又は団体で学外において本学の名称（学章も含む。）を用いて活動する場合は、原則として事前に「学外活動届」に必要書類を添付して事務室窓口に提出してください。

4) 課外活動に係る掲示・配布物

学生個人又は団体の課外活動において学内掲示板を利用する場合は、次の手続きを行ってください。

(1) 手続方法

- ① 掲示できるサイズ、枚数はA4判以下、2枚まで。
- ② 「掲示・配布物許可願」に掲示を希望する用紙とそのコピーを添付して事務室窓口に提出し、掲示物に許可を受けたことを示すスタンプを押してもらってください。
- ③ 掲示物は、指定する場所に掲示してください。

(2) 掲示場所

B棟1階正面入口横の学生専用掲示板 他

(3) 掲示期間

許可を受けた日から1か月以内

(4) 注意事項

- ① 無許可の掲示物が掲示されている場合、撤去します。
- ② 商業目的など学内掲示の趣旨に沿わないものは、掲示を許可しない場合があります。
- ③ 掲示期間を過ぎた掲示物は、申請者が責任をもって撤去してください。

4. 5 その他

1) 宿舎

健康科学部では、富士河口湖町、地域宿舎提供者の三者で「健康科学大学宿舎組合」を結成し、価格、間取、設備、環境等の諸条件を考慮した宿舎物件の紹介をいたします。

なお、宿舎組合が扱う物件等で不明な点がある場合は、お気軽に健康科学大学宿舎組合（080-6753-3345）にお問い合わせください。

2) アルバイト

学生生活中のアルバイトは、経済的側面だけでなく、人格形成等の面でも有意義な場合がありますが、学生の本分である学業の妨げにならないように注意してください。アルバイトの求人票は、A棟1階事務室内にて紹介していますが、学生各自が労働条件等について確認し責任を持って対応してください。